

赤十字概論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：SBRC100

○角田敦彦

■ 授業の目的

国際赤十字・赤新月運動の歴史、活動、理念の学びを通して人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養う。

■ 到達目標

1. 国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について理解し、説明できる。
2. 赤十字と国際人道法の基本的な内容や赤十字標章の正しい使い方について自分の言葉で説明できる。
3. 人道と人権の概念の理解を深め、人間尊重の文化について自分なりの意見を持つことができる。
4. 学習した内容を元に他者に赤十字の概要を説明できる。

■ 学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。科目担当者の実務経験から、人道支援に関する具体的な事例を取り上げ、映像等も交えて紹介する。

特に授業参加者は自らの問題意識を高め、積極的な質疑、発言を行うことが期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス：授業の進め方について 国際赤十字・赤新月運動の起源とアンリ・デュナン 事前学修：[30分] 国際赤十字運動に関する記事等を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	国際赤十字のしくみと活動 事前学修：[30分] 国際赤十字に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	日本赤十字社のしくみと活動 事前学修：[30分] 日本赤十字社の組織・活動に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	赤十字運動の基本原則：人道 公平 中立 独立 奉仕 単一 世界性 事前学修：[30分] 赤十字運動の基本原則について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	戦争の歴史と国際人道法 事前学修：[30分] 国際人道法に関する参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	現代の武力紛争と赤十字及び国際人道法 事前学修：[30分] 現代の武力紛争の特徴について資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	赤十字標章の意味と適正な使用 事前学修：[30分] 赤十字標章について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	国際社会における赤十字の役割 事前学修：[30分] 現代の人道危機に関する報道記事などを検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

■教科書

授業の中で、適宜資料を提示する。

■参考書、参考資料等

デュナン, H (1959). ソルフェリーノの思い出. 日本赤十字社

井上忠男(2015). 戦争と国際人道法. 東信堂

枘居孝・森正尚(2014). 新版 世界と日本の赤十字. 東信堂

ピクテ, J (1979/2006). 解説 赤十字基本原則. 東信堂

その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、実施後 7 日以降 21 日以内に Glexa 上で、正答及び解説の掲示により行う。

■他の授業科目との関連

赤十字国際活動論、赤十字国際活動論演習は、赤十字概論を基礎に、より発展的な内容を取り扱う。

■成績評価の仕方

1. 授業への取組み 20 % 2. 試験または課題レポートの提出 80 %

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。または随時、電子メールで質問を受け付ける。

赤十字国際活動論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」国際貢献 「3」探求 科目ナンバー：
SBRC300

○角田敦彦

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

赤十字国際活動論演習

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3・4年次 開講期：前期 対応DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」関係 科目ナンバー：SBRC301

○角田敦彦

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

生命倫理

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」擁護 「2」探求 「3」実践 科目ナンバー：SBHU350

■ 授業の目的

生命倫理・医療倫理・看護倫理に関わる主要な見解・主張を理解する。またそれらに対する別の立場からの反論を吟味することを通じて、自らの考えや立場を根拠に基づいて表現できるようになる。本講義では事例をもとに医療現場における倫理的ジレンマを学び、個々の患者の意思決定の場面でどのように最善の選択を見出してゆけば良いのか、根拠に基づいて考える能力を身につける。

■ 到達目標

1. 生命倫理・医療倫理・看護倫理における主要な論点について説明できる。
2. 現代の医療現場における主要な倫理的ジレンマを理解し、自らの考えや立場を根拠に基づいて表現することができる。
3. 患者の意思決定支援における看護師の役割を理解し、患者の価値観を尊重した意思決定支援のあり方を説明・実践できる。

■ 学習の進め方

・授業は基本的に講義形式で進める。授業内で、適宜学生同士がディスカッションする時間も設ける。
・授業終了後にコメントシートを提出してもらい、優れたコメントや、共有した方がよい疑問点に関しては次の授業内で紹介する。他のが学生がどのように考えたのかを知ることで自身の学びを深めてもらう。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	生命倫理とは何か。なぜそれが必要なのか、事例をもとに考える。 事前学修：[15 分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義	田村未希
2	生命倫理とは何か。倫理の 4 原則について 事前学修：[15 分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	田村未希
3	脳死と臓器移植に関する諸問題 事前学修：[15 分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
4	生殖補助医療に関する諸問題 事前学修：[15 分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
5	再生医療に関する諸問題 事前学修：[15 分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
6	人生の最終段階における医療の問題：延命医療について 事前学修：[15 分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
7	人生の最終段階における医療の問題：AD と ACP について 事前学修：[15 分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
8	医療現場における倫理的ジレンマと臨床倫理の考え方：情報共有=合意モデルに基づく意思決定支援 事前学修：[15 分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
9	倫理原則とケアの倫理：人間の傷つきやすさをどのように考えるか 事前学修：[15 分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
10	モデル事例検討：精神疾患をもつ患者との関わり 事前学修：[30 分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15 分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希

No	内容	形式	教員
11	モデル事例検討：治療の中止を求める患者との関わり 事前学修：[30分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希
12	モデル事例検討：社会的にも困難を抱える患者との関わり 事前学修：[30分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希
13	モデル事例検討：予告告知のあり方をめぐって 事前学修：[30分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希
14	モデル事例検討：医療者・患者家族の間に意見の対立があるケースをめぐって 事前学修：[30分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希
15	まとめ：人間尊重を原則とした意思決定支援と看護のあり方 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希

■教科書

特に用いない。授業内で資料を配布する。

■参考書、参考資料等

会田薫子(2019年)、『長寿時代の医療・ケア——エンドオブライフの論理と倫理』、ちくま新書

盛永審一郎・長島隆編(2012年)『看護学生のための医療倫理』、丸善出版

石垣靖子・清水哲郎編(2012年)、『臨床倫理ベーシックレッスン—身近な事例から倫理的問題を学ぶ』、日本看護協会出版会

赤林朗編(2017年)『入門・医療倫理Ⅰ』改訂版、勁草書房

■フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■他の授業科目との関連

2年次開講の「哲学と倫理」を履修しておくことにより深く学ぶことができます。

■成績評価の仕方

授業への取り組み 40%、期末の筆記試験 60%。

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。また随時、LMS や電子メールでも質問を受け付ける。

哲学と倫理

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」擁護 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHU250

○田村未希

■ 授業の目的

哲学及び倫理思想全般を扱うのではなく、「看護」という人間の行為を哲学的及び倫理的に考えるための手がかりとして、看護の営みを考えるための哲学と倫理の思想を学び、看護がいかなる人間の営みなのか、またいかなる営みであるべきなのかを、現象学的哲学に基づく代表的な看護理論と、「ケアの倫理」の思想に基づいて考える。文化や価値観が多様化する中で一人ひとりの人間を個として総合的に理解し尊重しつつ行われる「看護」とはどのようなものであるべきかについて、自ら考える基礎的能力を身につける。

■ 到達目標

- ・「現象学的看護理論」と「ケアの倫理」の考え方にに基づいて、患者を尊重するとはいかなることであるのかを説明できるようになる。
- ・ただ疾患を診るのではなく、患者をトータルに診るとはどのようなことなのか説明できるようになる。それに基づいて今後あるべき看護について自ら探求する能力を身につける。

■ 学習の進め方

- ・授業は基本的に講義形式で進める。授業内で、適宜学生同士がディスカッションする時間も設ける。
- ・事前学習では教科書の指定箇所を読み、理解した要点と疑問点を書き出しておく。
- ・授業終了後にコメントシートを提出してもらい、優れたコメントや、共有した方がよい疑問点に関しては次の授業内で紹介する。他のが学生がどのように考えたのかを知ることで自身の学びを深めてもらう。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「現象学的看護理論」とは何か：「疾患」と「病い」 事前学修：[15分] 教科書の第1章を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。詳しくは授業内で指示する。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義	田村未希
2	「現象学的看護理論」とは何か：フッサールの現象学 事前学修：[15分] 教科書の第2章を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
3	医学の視点と患者の経験 事前学修：[15分] 教科書の第3章を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
4	ベナー／ルーベルの現象学的人間観①：身体的知性 事前学修：[15分] 教科書の第4章第1節を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
5	ベナー／ルーベルの現象学的人間観②：背景の意味 事前学修：[15分] 教科書の第4章第2節を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
6	ベナー／ルーベルの現象学的人間観③：気遣い・関心／状況 事前学修：[15分] 教科書の第4章第3節を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
7	ベナー／ルーベルの現象学的人間観④：時間性 事前学修：[15分] 教科書の第4章第5節を読み、 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
8	患者をトータルに診るとはどのようなことか 事前学修：[15分] 教科書の第5章を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義／ディスカッション	田村未希

■ 教科書

榊原哲也(2018年).『医療ケアを問い直す―患者をトータルにみることの現象学』. 筑摩書房.

■ 参考書、参考資料等

授業内で適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、提出締め切りから 4 週間以内に、採点後のレポート返却と解説資料の配布を通じて行う。返却は LMS を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

初学者向けの内容ですので、とくに前提知識は必要ありません。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 60 %、期末レポート 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。また随時、LMS または電子メールでも質問を受け付ける。

心理学概論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHU100

○遠藤公久

■ 授業の目的

本講義では、人間の認知、感情、行動の諸特徴の基本的な心のしくみについて、ライフサイクルという時間と心の発達のある方について、そして社会とのかかわりについて、心理学の基本的知識を理解し、心理臨床あるいは看護・介護にどのようにつながるかについても考察する。

■ 到達目標

1. 人の心のしくみについて理解する。
2. 人の心の発達について理解する。
3. 人の心と社会とのかかわりについて理解する。

■ 学習の進め方

1. 各単元ごとに、具体例を挙げながらわかりやすく講義形式によって説明する。基本的に毎回視聴覚教材を用いる。
2. 毎回授業の課題と感想(あれば不明な点)について記述を求め、質問には次の講義冒頭に説明する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：心を科学するとは 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] 配布資料に目を通しておく	講義	遠藤
2	心のしくみ1：感覚と知覚(錯覚はなぜ起こるのか) 事前学修：[15分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
3	心のしくみ2：記憶と忘却(どのように覚え、忘れるのか、効率的な覚え方とは) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
4	心のしくみ3：学習1(人が縁起をかつぐのはなぜか) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
5	心のしくみ4：学習2(人はなぜ攻撃するのか) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
6	心のしくみ5：感情と動機(感情はなぜ生れるか？ 意欲を高めるにはどうすればよいか) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
7	心の発達1：心が発達するとは？ 事前学修：[15分] 教科書に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
8	心の発達2：乳児期(赤ちゃんの能力はすごい！) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
9	心の発達3：幼児・児童期(子どもの世界観ってどうなっているの？) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
10	心の発達4：青年期(アイデンティティに悩む若者、悩まない若者) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
11	心の発達5：中年期・老年期(中年期の危機って？ 老いても発達するとは？) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	心と社会1：対人関係の心理(人の印象はどう作られるのか、魅力的な人とは?) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
13	心と社会2：対人関係の心理2(愛すること、信じること、でもときに危険な思い込みも) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
14	心と社会3：集団心理(集団にいるときの心理の光と影) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
15	心と社会4：災害心理学(災害時の「こころのケア」とは) 事前学修：[15分] 教科書(該当する章)に目を通しておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤

■ 教科書

遠藤公久 (2019) 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する 弘文堂

■ 参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

レポートの結果については、後期授業前にいつでも返却可能です。返却希望者は研究室まで来てください。

■ 他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はない

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10%) 2. 課題(30%) 3. レポート(60%)で総合的に判断する。

■ オフィスアワー・研究室等

金曜日 12:30 - 13:00 遠藤(404 研究室) メール：k-endo@redcross.ac.jp

臨床心理学

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHU251

○遠藤公久

■ 授業の目的

本授業では、自己について学び、適応との関連について理解する。また、心の健康を理解するうえで重要な個人差の側面(性格や知能)そしてストレスの心理学について理解する。さらに、医療心理学の側面から、カウンセリングの基礎と医療コミュニケーションの基礎について学ぶ。

■ 到達目標

1. 自己の認知的、情緒的側面、そして行動的側面について説明できる。
2. 人格や知能と心の健康について理解し、ストレスと適応行動との関連について説明できる。
3. 医療場面における心理的支援として、コミュニケーションやカウンセリングの基本的考えについて理解し説明できる。

■ 学習の進め方

基本的に講義形式と課題への取り組みから構成される。授業と関連する課題に取り組むことで、授業理解を深めると共に、自己理解につなげる。また、その課題をもとに、レポートにまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	I-1 自己の心理学1：自己概念、自己意識と適応との関係について 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
2	I-2 自己の心理学2：自己評価と自尊感情(自分を正しく評価すること、自分を好きになること)と適応 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
3	I-3 自己の心理学3：見せる自分と見せない自分(自己呈示と自己開示)そして心身の健康 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
4	II-1 心の健康の心理学1：性格の考え方 (性格理論について) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
5	II-2 心の健康の心理学2：性格のアセスメント (YG 性格検査と Big Five Inventory を中心に) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
6	II-3 心の健康の心理学3：性格の形成とその人らしさ(発達障害も含めて) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
7	III-1 医療コミュニケーション1：傾聴と敬聴(聴くことの基本)とそれに対応した基本的技法 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論それに	遠藤
8	III-2 医療コミュニケーション2：自他にとって望ましい伝え方(アサーションの基本) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[10分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤

■ 教科書

遠藤公久 (2019) 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する 弘文堂

■ 参考書、参考資料等

適宜配布する

■ フィードバックの仕方

レポート結果は、3月中にいつでも返却しますので、希望者は研究室まで来てください。

■ 他の授業科目との関連

この授業履修希望者は、心理学概論を履修していることが望ましい。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10%) 2. 毎回のコメント(30%) 3. レポート(60%)によって行なう。

■ オフィスアワー・研究室等

月曜日 12:30~13:00 遠藤公久(404 研究室) メール: k-endo@redcross.ac.jp

教育学概論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBHU252

○渋谷 真樹

■ 授業の目的

教育学の基礎知識(概論)を理解し、日常生活や医療・看護への応用について考えることを目的とする。

■ 到達目標

- 1 人間を教育的に理解することができる。
- 2 学習者の多様な生涯発達を支援する原理と方法について説明できる。
- 3 日常生活や医療・看護への応用について考えることができる。

■ 学習の進め方

AL 講義・演習

受講生は皆、教育に関する経験や意見をもっている。この授業では、それらをもとに、教育に対する問いを立て、講義や討論、小レポートの作成などを通して、その問いに接近していく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 看護大学で教育学を学ぶ意義 事前学修：[30分] 教育をめぐって、印象に残っている体験を記述する。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
2	教育目的論・本質論 事前学修：[30分] 教育の目的について、自分なりの考えを記述する。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
3	西洋の教育思想史 事前学修：[30分] 西洋の教育思想家をひとり選んで、概要を調べる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
4	日本の教育思想史 事前学修：[30分] 日本の教育思想家をひとり選んで、概要を調べる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
5	教育制度論 事前学修：[30分] 現代日本の教育制度の概要を調べる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
6	教育法規・教育行政論 事前学修：[30分] 教育基本法の概要を調べる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
7	発達段階・発達課題論 事前学修：[30分] 子ども期の発達の概要を調べる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
8	学習理論 事前学修：[30分] 自分自身の学習体験を振り返って記述する。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
9	教育課程論・教育評価論 事前学修：[30分] 小学校の学習指導要領を調べる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷

No	内容	形式	教員
10	教育方法論 事前学修：[30分] 印象に残っている授業について記述する。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
11	特別支援教育論 事前学修：[30分] 現代日本の特別支援教育の概要を調べる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
12	モラル教育論 事前学修：[30分] 現代日本の学校における「道徳」の位置づけについて調べる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
13	生と死の教育 事前学修：[30分] 命をめぐる教育実践について調べる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
14	教育の社会学 事前学修：[30分] 現代日本における教育課題を列挙する。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
15	ふりかえり・まとめ 事前学修：[30分] これまでの授業の資料やノートを整理し、ふりかえる。 事後学修：[30分] 小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷

■ 教科書

教科書は使用しない。
授業中に関連資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

木村元・小玉重夫・船橋一男(2019). 教育学をつかむ [改訂版]. 有斐閣

■ フィードバックの仕方

小レポートには学期中に Glexa 上でコメントするとともに、次回以降の授業に反映させる。
最終レポートは、2月末までに Glexa 上でフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

看護教育学系の科目の基礎に位置づく科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(50%):小レポートや討論への参加状況から評価する。
最終レポート(50%)
最終的には、受講の状況と成果を総合的に判断して評価するので、Glexa 上の配点と異なることがある。

■ オフィスアワー・研究室等

授業の前後に研究室で質問を受け付ける。随時、eメール(m-shibuya@redcross.ac.jp)でも受け付ける。

現代教育論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 科目ナンバー：SBHU400

○山崎裕二

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

身体運動理論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHU150

○白井美穂

■ 授業の目的

身体運動やスポーツを習慣化し健康を維持・向上させていくことは、社会で活躍するためにも、自身が人生を豊かに過ごすためにも必要なことである。また、医療職者は高齢化が進む日本において人々が健康長寿に向かうよう、医療・福祉、地域、教育の現場で各年齢に適した健康管理方法を指導、実践する役割を担っている。本講義では、身体運動やスポーツを、安全に、効果的に、楽しく実施するために必要な基本的知識を学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・身体運動やスポーツを習慣化し、健康維持・向上していくための具体的な手段と方法を習得する。
- ・医療従事者として健康と運動について自らの考えを述べられる。
- ・医療・福祉・地域・教育の場で各年齢、環境に適した健康管理法を提案できる知識と技術を習得する。

■ 学習の進め方

基本的に講義形式で行うが、演習も含まれる。

基本的に対面の授業であるが、状況により、遠隔授業で行う場合もある。

社会情勢や学生の習得の度合いにより授業内容が変更になる場合がある。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[10分] 健康と運動についての自身のイメージをノートに記入する。 事後学修：[10分] 授業を受けて事前学習で行ったイメージについて振り返り、感想をノートに記入する。	講義	白井
2	オリンピックについて 事前学修：[10分] オリンピックについて印象に残っている場面をノートに記入する。 事後学修：[10分] 授業で皆の意見を聞いて感想を記入する。	講義・演習	白井
3	健康と運動①自分に必要な活動量 事前学修：[20分] 健康と運動について自分自身で普段から気を付けていること、または実践していることをノートに記入する。 事後学修：[20分] 授業を受けて自ら実践したい、気を付けていきたいと思った点を健康と運動をテーマに記入する。	講義	白井
4	健康と運動②運動処方の作成 事前学修：[20分] 自分自身の健康について考え、または家族、身近な人の健康についてノートに記入する。 事後学修：[20分] 運動処方を作成する。	講義・演習	白井
5	健康と栄養①自分に必要な栄養素 事前学修：[20分] 自分が普段どのような食事をしているか振り返り、ノートに記入する。 事後学修：[20分] 授業を受けて、実践してみたい食事法を実践し、感想をノートに記入する。	講義	白井
6	健康と栄養②栄養バランスの取れた食事 事前学修：[20分] 一汁三菜のメニューをノートに図も含め記入してくる。 事後学修：[20分] 自分自身の健康や家族や周囲の人の健康と栄養について考察し、ノートに記入する。	講義・演習	白井
7	障害のある人と運動 事前学修：[20分] 障害をもつひとの運動と健康について調べ、ノートに記入する。 事後学修：[20分] 医療従事者として障害のある人と運動について自らの考えをノートに記入する。	講義	白井
8	まとめ 事前学修：[20分] これまでの講義を振り返り、興味があったこと、深めたいことをノートに記入する。 事後学修：[20分] 講義を受けて、今後自分自身で実践していきたい事をノートに記入する。	講義・演習	白井

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

適宜プリントを配布する。

■ フィードバックの仕方

授業用ノートおよびレポートのフィードバックのコメントを授業時に行う。

■ 他の授業科目との関連

身体運動実技の内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 50 %、レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

随時、電子メールで質問を受け付ける。

身体運動実技

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHU101

○白井美穂

■ 授業の目的

運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高め、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれらの享受能力に気づきを与えることができるプログラムを提供できる能力を身につけることができることを目的とする。

■ 到達目標

- ①健康なこころとからだを維持、増進、管理できる能力を身につける。
- ②身体運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる能力を身につける。

■ 学習の進め方

基本的に演習の授業です。その他、レポートや振り返りなど講義形式をとる場合があります。
集中講義です。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[10分] 健康について興味のあることをまとめてくる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	講義	白井
2	体ほぐし・ストレッチ 事前学修：[10分] ストレッチについて調べる 事後学修：[10分] 自宅でストレッチを実践する	演習	白井
3	体ほぐし・ストレッチポール 事前学修：[10分] ストレッチポールについて調べる 事後学修：[10分] 自宅でストレッチを実践する	演習	白井
4	ヨガ①肩こり、リラックスヨガ 事前学修：[10分] 肩こり解消法を調べる 事後学修：[10分] ヨガの歴史について調べる。また、ヨガを行った感想を Glexa 内にレポートで提出する。	演習	白井
5	ヨガ②朝ヨガ、寝る前のヨガ 事前学修：[10分] ヨガを行う 事後学修：[10分] ヨガを継続して行ってみての感想を Glexa 内に提出する	演習	白井
6	ヨガ③代謝アップヨガ 事前学修：[10分] ヨガを行う 事後学修：[10分] 将来、医療従事者として働く際にヨガがどのような場面で行かされるのか調べて Glexa 上に提出する	演習	白井
7	ピラティス①体幹を鍛える 事前学修：[10分] ヨガを行う 事後学修：[10分] ピラティスの歴史について調べて Glexa 内に提出する	演習	白井
8	ピラティス②お腹を鍛える 事前学修：[10分] ピラティスを行う 事後学修：[10分] ピラティスを行ってみての感想を Glexa 上に提出する	演習	白井
9	インディアカ 事前学修：[10分] インディアカについて調べる 事後学修：[10分] インディアカを行ってみての感想を Glexa 内に提出する	演習	白井
10	インディアカ 事前学修：[10分] インディアカの作戦を考える 事後学修：[10分] インディアカを行ってみての感想を Glexa 内に提出する	演習	白井
11	ダンベル体操 事前学修：[10分] ダンベル体操について調べる 事後学修：[10分] ダンベル体操を行ってみての感想を Glexa 内に提出する	演習	白井

No	内容	形式	教員
12	正しいウォーキング、スロージョギング 事前学修：[10分] スロージョギングについて調べる 事後学修：[10分] ウォーキング、スロージョギングなどの有酸素運動を行った感想を Glexa 内に提出する	演習	白井
13	自分自身の運動課題を見つける 事前学修：[10分] 自分自身の身体運動の課題を見つける 事後学修：[10分] 運動課題を実践する	講義・演習	白井
14	自分に合った運動を見つける 事前学修：[10分] 自分に合った運動は何かを考える 事後学修：[10分] 自分に合った運動を実践する	講義・演習	白井
15	自分自身の運動処方を作成し、実践する 事前学修：[10分] 運動処方とは何かを調べる 事後学修：[10分] 自分自身の運動処方を作成、実践する	講義・演習	白井

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、授業内や Glexa ページでコメントを返したり、フィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

身体運動論 I (理論) と合わせて理解を深めます。

■ 成績評価の仕方

授業の出席・課題 70% 事前課題 15% 事後課題 15%

■ オフィスアワー・研究室等

授業前後に質問を受け付けます。また、休日を除く平日 17 時までメールで対応します。

■ 受講上の注意事項

健康に留意して授業に取り組んでください。体調が悪いまたは怪我がある場合は事前に相談ください。

社会学概論

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」関係 「2」探求 「3」変化 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBSS150

○鷹田佳典

■ 授業の目的

社会学の学び方はいろいろありますが、そのひとつは社会学独自の「概念」を知ることです。これらの概念は、私たちが日常生活のなかで疑問に感じている事柄について、通常とは違う視点から考えるための手がかりを与えてくれます。本講義では毎回一つずつ社会学の基礎概念を取り上げ、その内容について解説しながら、これらの疑問に対する社会学なりの回答の仕方を提示します。こうした作業を通じて、社会学の基礎と思考方法を習得することが本講義の目的です。

■ 到達目標

1. 社会学の基礎と思考方法を習得する。
2. 社会学の概念の意味を理解する。
3. 社会学の概念を用いて日常で起こる社会事象を説明することができるようになる。

■ 学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらいます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：社会学への招待 事前学修：[30分] 社会学についての自分なりのイメージをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	禁欲主義：なぜ西洋においてのみ資本主義は成立したのか？ 事前学修：[30分] 宗教改革の概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	アノミー：なぜ人は自殺するのか？ 事前学修：[30分] ここ20年の日本の自殺に関する統計データを確認し、気づいたことごとをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	印象操作：なぜ三者面談はしんどいのか？ 事前学修：[30分] 人前で自分がどのように振舞っているのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	感情労働：なぜ人相手の仕事は疲れるのか？ 事前学修：[30分] バイトで大変なことをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	予言の自己成就：なぜ予言は当たるのか？ 事前学修：[30分] プラセボ効果についてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	ラベリング：なぜ再犯が多いのか？ 事前学修：[30分] 犯罪が起きる理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	相互行為儀礼：なぜ車内での化粧は迷惑なのか？ 事前学修：[30分] 公共交通機関を利用したときに乗客の様子を観察し、ノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
9	社会的性格：なぜ人は自由から逃れようとするのか？ 事前学修：[30分] 日本人の国民性の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
10	モラトリアム：人はいつオトナになるのか？ 事前学修：[30分] アイデンティティの確立に必要な要素をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

No	内容	形式	教員
11	誇示的消費：なぜ「映え」が重要なのか？ 事前学修：[30分] 普段の消費を振り返り、その特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
12	準抛集団：なぜお給料が上がったのに不満なのか？ 事前学修：[30分] 自分が所属したいと思う集団の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
13	マクドナルド化：なぜ飲食店の椅子は硬いのか？ 事前学修：[30分] ファストフードレストランが増える理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
14	リスク：なぜ折りたたみ傘を持って外出するのか？ 事前学修：[30分] 身の回りにあるリスクをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
15	リキッドモダン：なぜこれほど自己責任が叫ばれるのか？ 事前学修：[30分] 断捨離ブームについて調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

■教科書

特定の教科書は使用しません。

■参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説を行います。

■他の授業科目との関連

臨床社会学と関連します。

■成績評価の仕方

授業への取り組み(30%)、定期試験(70%)

■オフィスアワー・研究室等

①月曜日、②12:10~13:00、③427 研究室

臨床社会学

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBSS250

○鷹田佳典

■ 授業の目的

さまざまな社会問題が立ち上る「現場」(＝臨床)に照準し、そこで起きている事象やそれらに関わる人々に社会的にアプローチする臨床社会学の取り組みについて学んでいきます。われわれはしばしば、臨床で起こるトラブルを、「個人の問題」として理解しがちです。しかしそれらのなかには、社会のあり方(制度やシステム)によって生み出されているものが少なくありません。したがって、臨床場面で生じる諸問題について考えるためには、私的問題(ミクロ)と社会構造(マクロ)を結びつける視点が求められます。本講義では、多様な臨床的課題を取り上げ、検討することで、こうした「社会的想像力(sociological imagination)」(ミルズ)の涵養を目指します。

■ 到達目標

1. さまざまな社会領域で起きている事柄についての関心を深める。
2. 社会学の基礎概念を理解する。
3. 個人と社会を結び付けて考える「社会的想像力」を身につける。

■ 学習の進め方

授業は講義形式で行います。授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらいます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	社会的想像力とは何か 事前学修：[30分] 最近の気になるニュース記事を二つ切り抜いておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	なぜわれわれは健康にこれほど気を配るのか？ 事前学修：[30分] 健康に気をつけていることをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	なぜ感染者はバッシングを受けるのか？ 事前学修：[30分] コロナ患者に対する誹謗中傷がなぜ起きるのか、 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	寛解者の社会を生きる 事前学修：[30分] 闘病記を1冊読んで、感想をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	仮想空間で故人と会うことは癒しとなるのか？ 事前学修：[30分] 自分が亡くなった後の SNS の管理について考えをまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	行方不明者遺族の苦しみ 事前学修：[30分] 悲嘆についてどのようなモデルがあるのかを調べ、ノートにとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	孤独死は自己決定として尊重されるのか？ 事前学修：[30分] 日本における孤独死の発生状況を調べ、ノートにとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	なぜ終活がブームになっているのか？ 事前学修：[30分] 終活がなぜこれほど関心を集めているのか、その理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

■ 教科書

特定の教科書は試用しません。

■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、レポート提出から1か月以内に、コメントをつけて Glexa で返却する。

■ 他の授業科目との関連

社会学概論と関連します。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(40%)、レポート(60%)

■ オフィスアワー・研究室等

Glexa で質問を受け付けます。

社会保障論

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SBSS300

○森山幹夫

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

日本国憲法

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」擁護 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBSS151

○川口かしみ

■ 授業の目的

憲法は、国家のあり方を定める最高法規です。それは、私たちの自由や権利を保障しており、私たちの生活に非常に密着に関係しています。本講義は、憲法の基本構造を理解することを目的としています。本講義では、憲法の背景にある立憲主義の理念と歴史についても検討し、憲法の理解を深め、更なる憲法の知識をつけるための出発点にしたいと思います。

■ 到達目標

①憲法の仕組みを理解する。②自分の身の周りで生じる憲法問題について、受講生が主体的に考える力を身に着ける。

■ 学習の進め方

講義形式の授業です。毎週の授業でコメントシートの課題を出しますので、この取り組みを通じて、各自が主体的に考え、自分なりの考えを持ちそれを表現してもらいますので、積極的に授業に参加してください。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[20分] 憲法について、高等学校で使っていた教科書を読み返しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、憲法の内容、意味、分類、特徴を整理しておく。	オリエンテーションと講義 (前半で、本講義の進め方について説明を行ない、後半で憲法の理解の前提となる基礎的な知識について講義する。)	川口かしみ
2	憲法と立憲主義 事前学修：[20分] 立憲主義とは何かを調べて、その考え方を把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、立憲主義の意味、明治憲法と日本国憲法の違いを復習する。	講義	川口かしみ
3	権力分立の原理 事前学修：[20分] 日本の権力分立制を調べて、その役割を把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、特に権力分立の原理、民主政治との関係を復習する。	講義	川口かしみ
4	国民主権と天皇制 事前学修：[20分] 日本国憲法と明治憲法における「天皇」における違いを把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、国民主権の意味と明治憲法下との比較を通して日本国憲法下における「天皇」の役割や地位を復習する。	講義	川口かしみ
5	平和主義 事前学修：[20分] 憲法9条が成立した背景を調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、平和主義下における憲法9条の法規範性や、同条が放棄した「戦争」の意味を復習する。	講義	川口かしみ
6	基本的人権総論 事前学修：[20分] どのように人権が類型化されているのかを調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、歴史を踏まえて、人権の類型や享有主体を整理しておく。	講義	川口かしみ
7	幸福追求権 事前学修：[20分] 日本国憲法のなかでの幸福追求権の位置づけを調べて把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、幸福追求権の意味や権利性、さらに具体的内容を復習しておく。	講義	川口かしみ

No	内容	形式	教員
8	法の下での平等 事前学修：[20分] 日本国憲法 14 条の意味を調べ、その条文に関して学界や判例のなかで理解されている「平等」を把握しておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、憲法 14 条における「平等」の意味を確認しながら、「尊属殺重罰規定最高裁判決」を題材として、同判決が示した平等の論理などを復習しておく。	講義	川口かすみ
9	精神的自由権(1) 事前学修：[20分] 人権における精神的自由権の位置づけ、「信教の自由」の内容には何かがあるのか、「政教分離」とは何か、を調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、人権のなかでの精神的自由権の位置づけを踏まえながら、授業で扱った「思想・良心の自由」、「信教の自由」、「学問の自由」の内容を復習しておく。	講義	川口かすみ
10	精神的自由権(2) 事前学修：[20分] 表現の自由と民主主義の関係、「知る権利」とは何か、を調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、表現の自由はなぜ保障されなければならないのかを復習しておく。	講義	川口かすみ
11	経済的自由権 事前学修：[20分] 「財産権」、「居住移転の自由」、「公共の福祉」の内容を調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、国民の生活における国家の役割を復習すると共に現代社会における国家の役割について自分なりに考えてみる。	講義	川口かすみ
12	社会権 事前学修：[20分] 社会権が成立した背景を把握しておく。憲法 25 条の「健康で文化的な最低限度の生活」が「権利として保障される」とはどういうことなのかを調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、社会権の内容の確認とともに、特に、生存権がどのような権利であるのかを「朝日訴訟」と「堀木訴訟」などを題材として復習しておく。	講義	川口かすみ
13	身体的自由権と手続的権利 事前学修：[20分] 「奴隷的拘束の禁止」、「苦役の禁止」、「適正手続」とは何かを調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、奴隷的拘束からの自由や適正手続の保障の内容を復習すると同時に、それらがなぜ憲法に規定されているのかを考える。	講義	川口かすみ
14	国務請求権と参政権 事前学修：[20分] 「請願権」、「裁判を受ける権利」、「国家賠償請求権」、「刑事補償請求権」、「選挙権」、「被選挙権」などとは何かを調べておく。 事後学修：[30分] 配布したハンドアウトを読み返し、国務請求権と参政権のそれぞれの内容を復習すると同時に、なぜ国務請求権と参政権が保障されることが重要なのかを国民との関係から自分なりに考えてみる。	講義	川口かすみ
15	期末試験とまとめ。 事前学修：[60分] 当日、試験問題を発表する。受講生は、各自、必要であると自分で判断した参考資料を持参し、試験に回答する。 事後学修：[30分] 試験回答に必要な論点やキーワードを解説したペーパーを解説する。答案提出後、各自で復習しておく。	期末試験	川口かすみ

■ 教科書

教科書は指定しません。毎回の授業でハンドアウトを配布します。

■ 参考書、参考資料等

差し当たり、次の文献を紹介します。詳しくは、講義の際に指示します。

芦部信喜(高橋和之補訂)(2019年). 憲法. 第7版. 岩波書店.

川岸令和・遠藤美奈・君塚正臣・藤井樹也・高橋義人(2016年)憲法. 第4版. 青林書院.

岡田順太・淡路智典・今井健太郎編(2020年). 判例キーポイント憲法. 成文堂.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、解説資料の配布を通じて行う。解説資料では、当該試験問題に対する回答で必要な論点やキーワードの解説をする。

■ 他の授業科目との関連

特になし。

■ 成績評価の仕方

授業内に課す課題(コメントシートを通じて取り組み評価を行う) 30 %、期末試験 70 %。

■ オフィスアワー・研究室等

基本的に授業終了後に教室で質問を受け付ける。

生活環境論

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 科目ナンバー：SBSS350

○永井健太

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

障がい論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：前期 科目ナンバー：SBSS400

○小宮敬子、吉野純、太田喜久子、松本佳子、楠田智子、住谷ゆかり

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

保健医療福祉行政論

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講期：前期 科目ナンバー：SBSS401

○前田秀雄

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

数学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBNS150

○岩田光弘

■ 授業の目的

データを分析するための基礎力となる数学及び統計学の基本を習得する。

■ 到達目標

1. 高校数学の基本的知識、基本解法を習得する(「データの分析」「場合の数・確率」「確率分布と統計的な推測」)。
2. 簡単な統計用語の意味を理解し、基本的な計算ができる。
3. 論理的、合理的、数理的思考ができる。
4. 身近な事象や統計について問題意識をもつ。
5. 必修科目「保健統計学」の受講をスムーズにする。

■ 学習の進め方

授業の展開は講義を主体とするが、演習を随時行って、理解を確実にする。また適宜演習問題を配布するので各自が取り組み、理解度を確認し、不明点を解決していくことを勧める。それらの一部についてはレポートとして提出を求められることがある。さらに生きた知識の獲得のために個人単位、もしくは受講人数によってはグループ単位で実際のデータの分析・意見交換等を行う。教員からの講義だけではなく、双方向の授業を目指すため、受講者の積極的な参加を期待する。※演習時には電卓を使用することもある。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	データを整理するための基礎(1): 平均値とグラフ、五数要約、箱ひげ図 事前学修：[30分] 高校数学 I 「データの分析」内容の復習 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
2	データを整理するための基礎(2): 平均値とグラフ、五数要約、箱ひげ図 事前学修：[30分] 高校数学 I 「データの分析」内容の復習 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
3	データを分析するための基礎(1): 平方根、多項式、分散、標準偏差、偏差値 事前学修：[30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用や計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
4	データを分析するための基礎(2): 平方根、多項式、分散、標準偏差、偏差値 事前学修：[30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
5	相関関係を調べるための数学基礎(1): 関数(1次関数と2次関数)、方程式 事前学修：[30分] 高校数学 I 「2次関数」内容の復習 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
6	相関関係を調べるための数学基礎(2): 関数(1次関数と2次関数)、方程式 事前学修：[30分] 高校数学 I 「2次関数」内容の復習 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
7	相関関係を調べるための数学(1): 散布図と相関関係 事前学修：[30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
8	相関関係を調べるための数学(2): 散布図と相関関係 事前学修：[30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
9	ばらばらのデータを分析するための数学基礎(1): 集合、場合の数、確率、数列 事前学修：[30分] 高校数学 A 「場合の数・確率」内容の復習 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
10	ばらばらのデータを分析するための数学基礎(2): 集合、場合の数、確率、数列 事前学修：[30分] 高校数学 A 「場合の数・確率」内容の復習 事後学修：[30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘

No	内容	形式	教員
11	ばらばらのデータを分析するための数学(1): 確率変数と確率分布、期待値と分散 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
12	ばらばらのデータを分析するための数学(2): 確率変数と確率分布、期待値と分散 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
13	連続するデータを分析するための数学基礎: 極限、積分の基礎 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
14	連続するデータを分析するための数学(1): 連続型確率変数と確率密度関数 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘
15	連続するデータを分析するための数学(2): 連続型確率変数と確率密度関数 事前学修: [30分] 前回までの内容の復習(授業の内容、用語や計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習を通じて不明点を解決し、問題演習等に取り組む。	講義・演習	岩田 光弘

■教科書

授業時にプリントを配付する。

■参考書、参考資料等

永田 靖(2005). 統計学のための数学入門 30 講(科学のことばとしての数学). 朝倉書店.

永野 裕之、岡田健介(2018). 統計学のための数学教室. 第 4 版. ダイヤモンド社.

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは試験実施後 3 週間以内に口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

■他の授業科目との関連

2年次の科目「保健統計学」への橋渡しとなる導入知識を学ぶ。「保健統計学」に不安を抱く全ての学生に対して積極的に受講を勧める。

■成績評価の仕方

定期試験 70%、授業内での取り組みおよび課題提出 30%

■オフィスアワー・研究室等

質問は講義前後、講義中に受け付ける。それ以外には電子メールや事前に担当教員に予約の上、オンラインシステム(Zoom)などを利用して受け付ける。

■受講上の注意事項

随時復習から行うため、高校生のととき数学に不安があった学生の受講も歓迎する。内容を自分のものにするためには毎回の授業、課題への取り組みが大切である。また不明点は早い段階で調べたり質問をしたりして解決していくこと。

生物学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBNS100

○宮崎正峰

■ 授業の目的

生物がどのように誕生し生命の連続性を保ち、そしてヒトをはじめとする生物へと進化していったのかを学び、生命について考える機会を持つことを目的とします。同化や異化などの生命の維持機能、遺伝の法則等の微視的な分野から動物の行動、コミュニケーション等の巨視的な分野まで広く生物学の基礎を学んでいきます。

■ 到達目標

1. 生物の進化を理解する
2. 遺伝の法則などの基本事項を理解する
3. 動物の行動を学びヒトの行動との違いを考える
4. 生物間の相互作用、生態系について考える

■ 学習の進め方

1. 授業は講義形式で行いますが、問題や質問を投げかける対話の時間も取り入れて進めます。
2. 毎回、授業時間の前半は板書や配布資料などを用いての授業、後半は該当分野の画像、映像を用いて視覚的にも理解しやすい内容で行います。
3. 授業の中で行われる小課題はその日に学習した事項の演習です。また、その用紙に質問などを記入してもらい、次週に紹介、回答していくことで、復習としての機能、および他の受講者がどのようなことに疑問を感じているかを知り、広く理解を深めることとなります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：生命の定義・生物の分類 ～何をもって生物、無生物としているか～ 事前学修：[30分] 生物学Ⅱで学ぶ内容をシラバスを見て把握し、生物学Ⅰやこれまでの自らの生物の学習との相違点などを理解してくること 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
2	体細胞分裂と減数分裂 ～細胞分裂には2種類ある～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
3	遺伝の法則—親から子へ受け継がれる形質 ～自分は母親似？ 父親似？～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
4	DNA ～二重らせん構造～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
5	生命の誕生 ～40億年前に生命は地球上に誕生した～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
6	生物の進化 ～進化は目に見えないゆっくりとしたスピードで起こっている～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎

No	内容	形式	教員
7	植物ホルモーン-屈性 ～植物も動く～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
8	植物はどのように季節を感じるか-光周性 ～春に咲く花、秋に咲く花～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
9	動物の行動 ～動物はその場の状況で行動を変える～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
10	群れの利益と不利益 ～群れていることにはどのような利益があるのか～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
11	動物のコミュニケーション ～音声だけではなくコミュニケーション～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
12	配偶者選択-ヒトと動物の違い ～どのような基準で自分の相手を選ぶのか～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
13	ヒトのからだ(内分泌、免疫系) ～体内を安定させておくシステム～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
14	ヒトのからだ(心臓、腎臓、肝臓) ～主要な臓器のはたらき～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎
15	まとめ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮崎

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考書、参考資料等

宮崎正峰(2014). ペンギンの不思議. 誠文堂新光社.

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、ポータルにて解説資料を配布し、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に答案用紙の返却を通じて行う

■ 他の授業科目との関連

「人体の構造と機能」や「疾病の成り立ちと回復の促進」などの医学系科目を学ぶための基礎的な知識となる。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験 60 % 2. 授業内容に関する課題 20 % 3. 授業への取り組み 20 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後あるいはメールで質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

大学の教養課程における生物学の基礎全般を学習することができます。看護の分野でのヒトの体の内容が中心ではありません。生物学、とくに植物や動物に関する事項を中心として学んでいきます。

試験では講義での板書を中心とした出題をしますので、しっかりとノートをとることが重要です。また、授業内容に即した映像なども用意していますので、視覚的に学び、感じとるという学習も体験して下さい。動物の行動生態に焦点をあてた専門的な話もしていきますので、ヒトだけではなく動物に興味のある人もぜひ履修して下さい。履修者数にもよりますがキャンパス付近の自然観察などにも出かけて実際に目で見てみるという体験も取り入れていきたいと思えます。

化学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBNS101

○三好洋

■ 授業の目的

医療関連の専門科目の理解および医療従事者としての業務に必須な化学の基礎的考え方、生命現象や医療技術に関する生体関連物質の性質から物事を考えるために必要な化学の基礎的な知識を学ぶ。

■ 到達目標

1. 医療に関係する物質の性質について化学的に説明できる。
2. 水および水溶液について、化学的に説明できる。
3. 水溶液の濃度、浸透圧、pH、緩衝液、透析について説明できる。
4. 細胞内で起こる基本的な化学反応の仕組みを説明できる。
5. 生命現象や医療技術に関連する重要化合物の構造と性質・利用法について説明できる。

■ 学習の進め方

1. パワーポイントによる講義・解説、インターネット上の関連動画サイトの紹介などによって講義を進める。
2. 講義内容の要旨・スライドなどは講義の前週に Glexa によって公開する。
3. 講義の理解度を Glexa への確認テストの提出によって行い、確認テストに対して解説・コメントをフィードバックする。受講生はフィードバックから理解度を確認する。
4. 講義内容は学習の進行状況に応じて変更する場合がある。
5. 講義内容に応じた化学的な実演を行う場合がある。
6. 講義の最終回には模擬試験を行って理解度を確認を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	講義内容の概要説明-オリエンテーション・化学の必要性- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
2	水-性質・状態・身体と水- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
3	元素・原子・分子-融点・沸点、身体の中の分子・物質の状態、酸素と呼吸- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
4	溶液の濃度-溶解、濃度、有効数字、物質質量、血糖値、生理食塩水- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
5	溶液の性質-沸点上昇・凝固点降下と滅菌、浸透、脱水、透析- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好

No	内容	形式	教員
6	酸と塩基-酸性・塩基性、pH、緩衝液、体液- 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] Glexa に UP した確認テストの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
7	酸化と還元 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
8	化学反応と化学平衡 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
9	透析と浸透圧 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
10	化学結合-原子軌道と分子の形 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
11	有機化学の世界、有機化合物と性質-アルカン- 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
12	有機化合物と性質-アルケン・アルキン- 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
13	酸素・窒素・ベンゼン環を含む有機化合物 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
14	生体高分子の化学・バイオテクノロジー・2031年の化学-核酸、タンパク質- 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
15	模擬試験と解説 事前学修：[30分] これまでの講義資料の見直し 事後学修：[60分] 模擬試験解説の見直し	講義	三好

■ 教科書

土居 純子 (2017)、栄養科学イラストレイテッド基礎化学、羊土社
教科書のほかに、毎回、講義概要・スライドを Glexa で配布する。

■ 参考書、参考資料等

Glexa での講義概要・スライドの配布資料をダウンロードして講義に臨んでください。

さらに深く興味がある学生には参考書・副読本として、下記の成書を推薦する。参考書・副読本の内容も講義内では紹介する。

野島 高彦(2012)、はじめて学ぶ化学、化学同人

■ フィードバックの仕方

毎回の確認テストのフィードバック・解説は Glexa によって行う。

模擬試験のフィードバックは最終回の講義時間内に行う。

■ 他の授業科目との関連

他の授業科目と直結することは困難であるが、代謝、生化学、生体防御に関連した科目の理解に役立つように生命現象および医療技術に関係する物質の性質を、化学(自然科学)的な考え方で捉えることが出来るように心がけて説明を行う。

■ 成績評価の仕方

講義・確認テストへの取り組み 40 %、定期試験 60 %で評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありませんが、講義中・後でも気軽に質問してください。

Glexa および電子メール(hmiyoshi@marianna-u.ac.jp)による問い合わせに応じます。

■ 受講上の注意事項

アクティブラーニング的な講義の進め方になっています。講義前に Glexa によって公開する講義概要・スライドに目を通しておくことを推奨します。高校で「化学基礎」「化学」を学んだ実感がない人にも、身近な例を交えながら医療に必要な化学の考え方と知識を紹介します。可能な限り平易な言葉での授業を心がけますので、「化学アレルギー」のある人こそ選択してください。指定教科書は生命現象および医療技術に繋がる平易な表現が用いられているものを採用しています。講義では教科書の内容よりもさらに看護に役立つ情報に触れるようにします、これまで化学を学んでも「化学なんか役に立たない」と考えていた人にとって有意義な講義にします。

情報学概論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBIS150

○岡田彩子、鷹田佳典、逸見 功

■ 授業の目的

情報の意味と伝達、医療・患者情報の特性、医療・患者情報に関する倫理と情報セキュリティについて学ぶ。

■ 到達目標

1. 情報とは何かを説明できる。
2. 人間・社会と情報の多様な関わりを説明できる。
3. 医療や看護の提供にあたってどのような情報が必要かを述べるができる。
4. 医療・患者情報の扱いにおけるセキュリティの重要性と医療者の責務について説明できる。

■ 学習の進め方

本講義は、第1回(担当：逸見)で「情報とは何か」を学び、続く第2回～第7回で(担当：鷹田)で「人間・社会と情報」を中心テーマに関連するトピックについて学ぶ。その際、医療情報の特性や取り扱い、(医療情報の伝え方や管理の仕方など)についても考えていく。その上で第8回(担当：岡田)で「医療・看護における情報および倫理」について学ぶ。

授業は講義を基本にして、グループディスカッションを取り入れながら進める。

授業終了時に配布する用紙に、授業の重点項目のまとめ、理解度、質問を記入してもらう。次の授業のはじめに、質問に対する回答として補足説明することによって、理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	情報とは何か 事前学修：[30分] 情報の定義について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	逸見
2	情報を伝える①(死の認識文脈、病名告知) 事前学修：[30分] Bad news の伝え方について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	鷹田
3	情報を伝える②(医療情報の効果的な伝え方とは) 事前学修：[30分] メディアごとの特徴をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義・討議	鷹田
4	情報を見分ける①(流言、フェイクニュース) 事前学修：[30分] 真偽が定かではない情報に接したときにどう行動するかをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	鷹田
5	情報を見極める②(医療情報の効果的な活用方法とは) 事前学修：[30分] 医療情報サイトをひとつ選び、その特徴や信頼性などをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[60分] 提示した文献を読む。	講義・討議	鷹田
6	情報に基づいて決める①(意思決定、合意形成) 事前学修：[30分] 普段どのように意思決定をしているのかをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す。	講義	鷹田
7	情報に基づいて決める②(患者・家族の意思決定をどのように支えるか) 事前学修：[30分] 意思決定支援ガイドをひとつ選び、そのポイントをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す。	講義・討議	鷹田
8	医療・看護情報と倫理 看護学実習における適切な情報管理とは 事前学修：[30分] 本学の看護学実習における適切な情報管理のガイドラインを精読し、疑問点をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料および看護学実習における適切な情報管理ガイドラインを読み返す。	講義・討議	岡田

■教科書

使用しない。必要に応じて資料を配付する。

■参考書、参考資料等

第1回

劉継生, 木村富美子(2012). はじめて学ぶ情報社会. 昭和堂.

西垣通(2004). 基礎情報学—生命から社会へ. NTT 出版.

2~7回

北澤京子(2009)『患者のための医療情報収集ガイド』ちくま新書

中山健夫(2008)『健康・医療の情報を読み解く—健康情報学への招待』丸善

■フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは提出後3週間以内に口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。具体的な返却日時、方法はグレクサにて連絡する。

■他の授業科目との関連

2年次に開講される「情報科学」「保健統計学」の基礎的な学習になります。

■成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、レポート 80%(60%+20%)

■オフィスアワー・研究室等

逸見：授業終了後1時間程度 4階 非常勤講師室

鷹田：授業終了後1時間程度 研究室 427

岡田：授業終了後1時間程度 研究室 410

情報科学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目番号：SBIS250

○逸見功

■ 授業の目的

保健統計学の授業で学んだ統計手法を実際のデータに適用できるように、コンピュータを用いたデータ解析を学ぶ。

■ 到達目標

1. 統計ソフトを用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特徴を把握できる。
2. 解析目的とデータの特徴に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトの出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：保健統計学の復習をして統計手法の理解を確認しながら、統計ソフトによるデータ解析の演習を行う。
2. 課題の提出：授業を振り返って、Glexa で配布するファイルに、授業の重点項目のまとめや演習の解答などを記入して、ファイルを提出する。Glexa 上あるいは次の授業のはじめに、課題の解答や質問に対する回答によりフィードバックすることによって、理解を深める。
3. レポート課題の取り組み：学生自らテーマを決めて、データ収集、解析、結果の解釈を行ってレポートにまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、統計ソフト R と R コマンドの紹介 事前学修：[30 分] 教科書の第 1 章から第 3 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 所有するパソコンに R と R コマンドをインストールする。	講義, 演習	逸見
2	単純無作為抽出法、データファイルの作成、Excel による新しい変数の作成 事前学修：[30 分] 標本抽出法について調べ、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[20 分] 授業の配付資料を読み返す。単純無作為抽出の演習を行う。	講義, 演習	逸見
3	Excel の論理関数の使い方、分類への応用 事前学修：[30 分] 高校数学の集合と論理に関する事項を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配付資料を読み返す。Excel の論理関数の演習を行う。	講義, 演習	逸見
4	データのインポート、新しい変数の作成、再コード化 事前学修：[30 分] 教科書の第 13 章、第 14 章第 1 節、第 2 節を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 13 章、第 14 章第 1 節、第 2 節を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
5	変数の管理：部分集合の抽出、水準の順序変更；1 次元データの記述統計：要約統計量 事前学修：[30 分] 要約統計量について復習し、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 14 章第 3 節から第 5 節、第 5 章第 3 節を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
6	1 次元データの記述統計：グラフ描画 事前学修：[20 分] 1 次元データの記述統計で用いるグラフについて復習し、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 5 章第 1 節を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
7	分布の比較：層別ヒストグラム、箱ひげ図 事前学修：[20 分] 層別ヒストグラムおよび箱ひげ図について復習し、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 5 章第 1 節を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
8	密度推定、平均値プロット、幹葉表示、正規性の吟味；質的データのグラフ 事前学修：[30 分] 密度推定、平均値プロット、幹葉表示について A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 5 章第 1 節と第 2 節を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
9	母平均に関する推測－1 標本の場合、対応がある場合：t 検定、ウィルコクソンの符号付き順位検定 事前学修：[30 分] t 検定およびウィルコクソンの符号付き順位検定について復習し、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 教科書の第 7 章第 1 節と第 3 節を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見

No	内容	形式	教員
10	母平均の差に関する推測、t検定、ウィルコクソンの順位和検定 事前学修：[40分] t検定およびウィルコクソンの順位和検定について復習し、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[40分] 教科書の第7章第2節を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
11	1元配置分散分析、クラスカル・ウォリス検定 事前学修：[30分] 1元配置分散分析について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[40分] 教科書の第9章を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
12	質的データの分析、分割表、独立性の検定 事前学修：[30分] 分割表および独立性の検定について復習し、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[40分] 教科書の第6章第2節と第11章を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
13	散布図、母相関係数に関する推測、単回帰分析 事前学修：[30分] 散布図、相関係数に関する推測、単回帰分析について復習し、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[40分] 教科書の第6章第1節と第10章を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
14	重回帰分析、偏相関 事前学修：[30分] 重回帰分析および偏相関について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[40分] 教科書の第10章を読み返し、演習を行う。	講義, 演習	逸見
15	レポート課題の発表 事前学修：[60分] レポート課題の目的・データ収集法・データ解析法についてA4用紙1枚にまとめ、発表する準備をする。 事後学修：[120分] データを分析し、レポートを作成する。	発表	逸見

■ 教科書

逸見 功(2018). 統計ソフト「R」超入門. 講談社.

■ 参考書、参考資料等

大木秀一(2016). 基本からわかる看護統計学入門 第2版. 医歯薬出版.

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、Glexa上でコメントを付して行う。

■ 他の授業科目との関連

「情報科学」は「保健統計学」の学習内容の理解に基づき、より実的なデータ解析を扱う。

■ 成績評価の仕方

レポート 50%、課題の取り組み 50%。

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける

保健統計学

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBIS200

○川崎洋平

■ 授業の目的

データから情報を読み取る記述統計学、及び母集団に関する推定と仮説検定を行う推測統計学について学ぶ。

■ 到達目標

1. 要約統計量及び表やグラフから情報を読み取れる。
2. データの性質に応じて、初等的な統計手法の中から正しい手法を選択できる。
3. 推定と検定の基本概念を説明できる。
4. 初等的な統計手法を用いてデータを分析できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	データの種類と代表値 事前学修：[30分] 高校数学の復習(高校の数学 A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
2	図と表の利用 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
3	代表的な確率分布 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
4	相関 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
5	回帰 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
6	推定と検定1(基礎) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
7	推定と検定2(応用) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
8	t 検定1(基礎) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
9	t 検定2(応用) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
10	順序があるデータの検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
11	分類されたデータの検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	人口統計1：人口静態統計 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
13	人口統計2：人口動態統計・生命表 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
14	保健統計調査1：基幹統計 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
15	保健統計調査2：基礎的な統計調査・医療経済統計・疾病障害の定義と分類・情報処理 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

■ 教科書

授業中に配布する資料

■ 参考書、参考資料等

1. 白戸 亮吉、鈴木 研太(2008). ていねいな保健統計学. 羊土社.
2. 大木 秀一(2008). 看護統計学入門. 第2版. 医歯薬出版.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に Glexa にて解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

「数学」であつかった数学及び統計学の知識があると望ましい。

本科目に引き続いて、2年次後期開講科目「情報科学」において統計ソフトを利用したデータ解析を学ぶことができる。

2年次後期開講科目「疫学」では「保健統計学」の内容を理解しておく必要がある。

■ 成績評価の仕方

定期試験 70%、授業への取り組み 30%(レポート・演習問題)

■ オフィスアワー・研究室等

質問は講義前後の時間、およびオンラインで受け付ける。

■ 受講上の注意事項

数式の統計的な意味や考え方の理解に努めること。

日本語の表現

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBL150

○越後敬子

■ 授業の目的

普段何気なく使っている「日本語」について改めて考えてみよう。この授業では日本語に関するさまざまな知識を身につけ、自己の考えを「ことば」や「文字」で的確に表現できるようにすることを目的とする。

■ 到達目標

1. 日本語の語彙を増やす。
2. 敬意表現を身につけ、正しい話し言葉を習得する。
3. 敬意表現を身につけ、正しい書き言葉を習得する。
4. 手紙やメールなど、正しい伝達方法を身につける。
5. 自分の考えを口頭で述べるができるようにする。

■ 学習の進め方

1. 授業の前半で「日本語」に関する講義を行い、後半はその内容に基づいた課題に取り組む。
2. 課題を提出して採点を受け、自分の日本語運用能力について知り今後に生かす。
3. 授業の終盤には、受講生自らがテーマに沿ったスピーチを行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「日本語検定」にチャレンジ 事前学修：[30分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、疑問点がなかったかどうか改めて考える。	演習・講義	越後
2	文の構造①—主語・述語・修飾語・被修飾語— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
3	文の構造②—助詞等— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
4	敬語・敬意表現① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
5	敬語・敬意表現② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
6	敬語・敬意表現③ 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
7	手紙の書き方① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
8	手紙の書き方② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後

No	内容	形式	教員
9	手紙の書き方③ 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
10	メールの書き方 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
11	日本語弱者について考える① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
12	日本語弱者について考える② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
13	スピーチ① 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後
14	スピーチ② 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、よかった点を考える。	講義・演習	越後
15	スピーチ③ 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後

■ 教科書

プリントを配布する。

■ 参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

提出された課題は、翌週あるいは翌々週の授業時に返却する。

■ 他の授業科目との関連

日本語を使用するすべての科目と関連し、今後の大学生活、社会生活全般において必要であろう。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み40%、課程提出60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受ける。

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を希望する。

英語RW I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBL5100

○川崎修一

■ 授業の目的

リーディングでは種類、長さ、分野の異なるさまざまなタイプの英文を、目的に応じて読むことができる能力を養成する。じっくり読んだり、概略を理解したり、速く読むといった作業を通じて、英文に対する応用力を身につけることを目指す。また、ライティングでは、いろいろな種類の英語を書くことに慣れること、和文英訳をすることなく書けるようになること、更には自分の意見を英語で述べることができるようになることを目的とする。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

読んだ英語が書けるようになる。

■ 学習の進め方

AL

前半：各回のテーマについての講義

後半：各回のテーマに関連する演習

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Reading 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	Writing 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	Reading 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	Writing 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	Reading 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
6	Writing 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	Reading 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	Writing 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	Reading 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	Writing 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
11	Reading 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
12	Writing 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
13	Reading 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	Writing 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30分] 1~14回の小テストの問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

Glaxa の Report に各回の課題の添削を次回の授業までにフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50% + 英作文課題 50%

■ オフィスアワー・研究室等

4階 非常勤講師室 火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語RW I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBL5100

○遠藤花子

■ 授業の目的

リーディングでは種類、長さ、分野の異なるさまざまなタイプの英文を、目的に応じて読むことができる能力を養成する。じっくり読んだり、概略を理解したり、速く読むといった作業を通じて、英文に対する応用力を身につけることを目指す。また、ライティングでは、いろいろな種類の英語を書くことに慣れること、和文英訳をすることなく書けるようになること、更には自分の意見を英語で述べることができるようになることを目的とする。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

読んだ英語が書けるようになる。

■ 学習の進め方

AL

前半：各回のテーマについての講義

後半：各回のテーマに関連する演習

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Reading 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
2	Writing 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
3	Reading 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
4	Writing 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
5	Reading 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
6	Writing 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
7	Reading 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
8	Writing 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
9	Reading 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
10	Writing 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
11	Reading 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

No	内容	形式	教員
12	Writing 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
13	Reading 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
14	Writing 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
15	Reading 8 まとめ 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[60分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

■ 教科書

平井清子編 (2016). Oliver Sack's Awakenings. 南雲堂.

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

Glexa の Report に各回の課題の添削を次回の授業までにフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50 % + 英作文課題 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師室 火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

■ 受講上の注意事項

* この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語RWⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBL5151

○川崎修一

■ 授業の目的

英語RWⅠで学んだことを基に、更なるステップ・アップを目的とする。リーディングでは、さまざまな種類の英文を引き続き読むことにより、バランスのとれた読解力の伸長を図る。特に、単語力や読むスピードの向上を目的とする。また、ライティングでは、パラグラフの構成に始まり、時間順に語るパラグラフや理由を説明するパラグラフなど、パラグラフの基本を学ぶと同時に、作文の書き方も学び、自分の考え、説明などをわかりやすく書く能力を習得することを目的とする。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

医療英語の用語や表現を身に付けることができる。

自分の考えをまとめることができる。

英文パラグラフを書くことができる。

■ 学習の進め方

AL

前半：各回のテーマについての講義

後半：各回のテーマに関連する演習

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Reading 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	Writing 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	Reading 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	Writing 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	Reading 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
6	Writing 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	Reading 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	Writing 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	Reading 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	Writing 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
11	Reading 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
12	Writing 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
13	Reading 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	Writing 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30分] 1~14回の小テストの問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

Glexa の Report に各回の課題の添削を次回の授業までにフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50% + 英作文課題 50%

■ オフィスアワー・研究室等

4階 非常勤講師室 火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語RWⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBL5151

○遠藤花子

■ 授業の目的

英語RWⅠで学んだことを基に、更なるステップ・アップを目的とする。リーディングでは、さまざまな種類の英文を引き続き読むことにより、バランスのとれた読解力の伸長を図る。特に、単語力や読むスピードの向上を目的とする。また、ライティングでは、パラグラフの構成に始まり、時間順に語るパラグラフや理由を説明するパラグラフなど、パラグラフの基本を学ぶと同時に、作文の書き方も学び、自分の考え、説明などをわかりやすく書く能力を習得することを目的とする。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

医療英語の用語や表現を身に付けることができる。

自分の考えをまとめることができる。

英文パラグラフを書くことができる。

■ 学習の進め方

AL

前半：各回のテーマについての講義

後半：各回のテーマに関連する演習

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Reading 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
2	Writing 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
3	Reading 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
4	Writing 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
5	Reading 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
6	Writing 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
7	Reading 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
8	Writing 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
9	Reading 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
10	Writing 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配布資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

No	内容	形式	教員
11	Reading 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
12	Writing 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
13	Reading 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
14	Writing 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
15	Reading 8 まとめ 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[60分] テキストと授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

■ 教科書

平井清子編 (2016). Oliver Sack's Awakenings. 南雲堂.

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

Glexa の Report に各回の課題の添削を次回の授業までにフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50% + 英作文課題 50%

■ オフィスアワー・研究室等

4階 非常勤講師室 火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語RWⅢ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBL200

○川崎修一

■ 授業の目的

RWⅡで受講したことを前提に授業を進めます。リーディングでは、領域横断的にさまざまな学術的内容の英文を読むこと、そして高度な読解力を習得する。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とする。また、ライティングでは、英語RWⅡで習得したパラグラフ・ライティングを発展させ、学術的内容に関する3～5パラグラフで構成された「エッセー」を書くための技法の習得を目指す。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

読んだ英語が書けるようになる。

■ 学習の進め方

AL

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。後半は、読んだ英語を書けるように訓練する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Reading 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	Writing 1 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	Reading 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	Writing 2 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	Reading 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
6	Writing 3 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	Reading 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	Writing 4 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	Reading 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	Writing 5 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
11	Reading 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
12	Writing 6 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
13	Reading 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	Writing 7 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30分] 1~14回の小テストの問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

Glaxa の Report に各回の課題の添削を次回授業までにフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

なし

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50% + 英作文課題 50%

■ オフィスアワー・研究室等

4階 非常勤講師室 火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

英語 L S

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」成長 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBL5101

○ダニエル・ヴェラスコ

■ 授業の目的

The purpose of this class is to help students improve their English communication skills (mainly listening and speaking). This will be accomplished by listening to classroom lectures, interviews, and daily conversations on various topics. Students will also further develop their ability to paraphrase what they hear both orally and in writing, and be encouraged to think critically about listening texts. This course will also help students prepare for the TOEIC test they take at the end of the year.

■ 到達目標

By the end of this course, students should be able to:

- ・ identify the main topic and idea of what they hear
- ・ identify supporting ideas
- ・ take notes effectively while listening
- ・ paraphrase what they hear
- ・ guess the meaning of unknown words
- ・ think critically to what they hear
- ・ respond appropriately to what they hear

■ 学習の進め方

Students will be expected to participate in all classroom activities and complete all assignments in English.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Course Introduction / Places (1) 事前学修：[30 分] Read the syllabus, buy the textbook 事後学修：[30 分] Review Unit 1 vocabulary and grammar	講義	Daniel Velasco
2	Places (2) 事前学修：[30 分] Prepare for Unit 1 Test 事後学修：[30 分] Review Unit 2: Language Development	講義	Daniel Velasco
3	Festivals and Celebrations 事前学修：[30 分] Preview Unit 2 vocabulary and grammar 事後学修：[30 分] Review Unit 2 vocabulary and grammar	講義	Daniel Velasco
4	Internet and Technology (1) 事前学修：[30 分] Prepare for Unit 2 Test 事後学修：[30 分] Review Unit 3: Language Development	講義	Daniel Velasco
5	Internet and Technology (2) 事前学修：[30 分] Preview Unit 3 vocabulary and grammar 事後学修：[30 分] Review Unit 3 vocabulary and grammar	講義	Daniel Velasco
6	Weather and Climate (1) 事前学修：[30 分] Prepare for Unit 3 Test 事後学修：[30 分] Review Unit 4: Language Development	講義	Daniel Velasco
7	Weather and Climate (2) 事前学修：[30 分] Preview Unit 4 vocabulary and grammar 事後学修：[30 分] Review Unit 4 vocabulary and grammar	講義	Daniel Velasco
8	Sports and Competition (1) 事前学修：[30 分] Prepare for Unit 4 Test 事後学修：[30 分] Review Unit 5: Language Development	講義	Daniel Velasco
9	Sports and Competition (2) 事前学修：[30 分] Preview Unit 5 vocabulary and grammar 事後学修：[30 分] Review Unit 5 vocabulary and grammar	講義	Daniel Velasco

No	内容	形式	教員
10	Business (1) 事前学修：[30分] Prepare for Unit 5 Test 事後学修：[30分] Review Unit 6: Language Development	講義	Daniel Velasco
11	Business (2) 事前学修：[30分] Preview Unit 6 vocabulary and grammar 事後学修：[30分] Review Unit 7 vocabulary and grammar	講義	Daniel Velasco
12	People 事前学修：[30分] Prepare for Unit 6 Test 事後学修：[30分] Review Unit 7: Language Development	講義	Daniel Velasco
13	The Universe (1) 事前学修：[30分] Prepare for Unit 7 Test 事後学修：[30分] Review Unit 8: Language Development	講義	Daniel Velasco
14	The Universe (2) 事前学修：[30分] Prepare for Unit 8 Test 事後学修：[30分] Prepare for presentations	講義	Daniel Velasco
15	Presentations 事前学修：[30分] Presentations 事後学修：なし	講義	Daniel Velasco

■ 教科書

Dimond-Bayir, S., and Russell, K. (2019). *Unlock 2: Listening, Speaking & Critical Thinking*. Cambridge University Press. ISBN: 9781108567299

■ 参考書、参考資料等

Please bring a dictionary (electronic or paper).

■ フィードバックの仕方

Student assignments will be graded and handed back in a timely manner. Feedback will also be given during class.

■ 他の授業科目との関連

N/A

■ 成績評価の仕方

Participation (including homework assignments) – 50%

Chapter Tests – 40%

Presentation – 10%

■ オフィスアワー・研究室等

I can be contacted at this address: velasco@rikkyo.ac.jp

NOTE: Please make sure you write your name, school, and period (時限) in the Subject line. For example, "Akiyo Saitama, RCSN, 1 時限"

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 L S

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」コミュニティ貢献 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBL101

○キャサリン・タカスギ

■ 授業の目的

The purpose of this class is to use English to increase medical vocabulary, discuss current ideas, and become comfortable reading, writing, and speaking basic sentences.

■ 到達目標

There are 4 course objectives:

1. Increase English communicative competence (fluency and accuracy) through reading, writing, listening and speaking.
2. Enjoy using English to communicate ideas and perspectives.
3. Widen vocabulary and grammar capabilities.
4. Expand worldview on a range of global, personal, and cultural topics.

■ 学習の進め方

Students will be expected to listen to an introduction of a topic, prepare and reflect on that topic for the following class, then enter small group discussions with classmates. There will be readings, concepts, and personal experiences as topics for discussion. Mini presentations, one poster contest, vocabulary worksheets and quizzes, and in-class worksheets will support the overall goals of the class.

There is no required textbook.

This class is designed for a face to face classroom experience. The syllabus will shift as necessary should the class become online.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

See explanation below.

No	内容	形式	教員
1	Welcome and Introduction Overview of course- Syllabus and Expectations Sign up for Online classroom elements. 事前学修：Be ready to work in an English-only setting. Bring your smartphone/android to class. 事後学修：[45 分] Flip grid introduction + 2 responses. Medical vocabulary 1.	Worksheets Discussion Lecture	Catherine Takasugi
2	Conversation Practice: Basics and Getting to know you. Children's Books (Introduction & Discussion) 事前学修：[5 分] Bring a favorite picture book to class. 事後学修：[30 分] Prepare Children's Book assignment. Medical vocabulary 2	Discussion Worksheets Lecture Writing Reading	Catherine Takasugi
3	Children's Book Small Group Work. Introduce a country of the world Pair Work (Introduction) 事前学修：[20 分] Children's Book practice reading. 事後学修：[60 分] Country research. Medical vocabulary 3	Discussion Worksheets Lecture Writing Reading	Catherine Takasugi
4	Country Presentations Music- (Introduction and In-class work time) 事前学修：[10 分] Review your Country discussion notes. Think of a song or music group you want to discuss. 事後学修：[20 分] Medical vocabulary 4.	Mini- presentation Computer lab (if possible)	Catherine Takasugi
5	Music collective presentation. Interview- (Introduction) Decide your research topic. 事前学修：[20 分] Complete your power point slide. Be ready to talk about your Music slide. 事後学修：[30 分] Complete 3 interview questions on padlet. Medical vocabulary 5.	Discussion Worksheets Reading Lecture Writing	Catherine Takasugi

No	内容	形式	教員
6	Small research project: Interview your classmates. Make a poster. 事前学修：[10分] Prepare your interview questions for classmate interviews. Bring poster making tools to class. 事後学修：[60分] Complete your poster and prepare the spoken part. Medical vocabulary 6.	Discussion Worksheets Lecture Writing Reading	Catherine Takasugi
7	Poster Presentation and competition. Shadow Puppet- (Introduction) 事前学修：[10分] Use your poster to explain about your research. 事後学修：[30分] Begin your shadow puppet work. Medical vocabulary 7.	POSTER PRESENTA- TION Discussion Worksheets Reading Lecture	Catherine Takasugi
8	Vocabulary Test 1 Tongue Twisters Taboo 事前学修：[30分] Study for Vocabulary Test #1. 事後学修：[30分] Work on Shadow Puppet, medical vocabulary 8.	TEST Discussion Listening	Catherine Takasugi
9	Teach me live- (introduction) 事前学修：[20分] Complete your shadow puppet. Think about something you can teach the class. 事後学修：[40分] Practice your Teach me live presentation. Medical vocabulary 9.	Working class	Catherine Takasugi
10	Teach me live- Presentations 事前学修：[40分] Practice Teach me live. 事後学修：[90分] Medical vocabulary 10.	Presentations Discussion Worksheets Writing	Catherine Takasugi
11	Sports and Hobbies 事前学修：[10分] Bring something to class that relates to your hobby. 事後学修：[90分] Medical vocabulary 11.	Discussion Worksheets Lecture Writing	Catherine Takasugi
12	Japanese Holidays, Culture, Special Events- (Introduction) 事前学修：[10分] Think about Japanese Holidays, Culture, and Special Events- Be prepared to discuss in class. 事後学修：[60分] Prepare for group presentation. Medical vocabulary 12.	Discussion Worksheets Lecture Writing	Catherine Takasugi
13	Japanese Holidays, Culture, Special Events (Group Presentations) 事前学修：[30分] Prepare for group presentation. 事後学修：[60分] Medical vocabulary 13. Study for Vocabulary test #2.	Group Presen- tation	Catherine Takasugi
14	Vocabulary Test 2. Discussion 事前学修：[30分] Study for Vocabulary Test #2. 事後学修：None.	TEST Discussion	Catherine Takasugi
15	Watch Shadow Puppets. Class conclusion- Wrap-up, reflection, self-evaluations. 事前学修：None. 事後学修：None.	Discussion Writing	Catherine Takasugi

■ 教科書

Original materials. No official text book needs to be purchased.

■ 参考書、参考資料等

none

■ フィードバックの仕方

Feedback will be provided weekly for assignments, worksheets and medical vocabulary. Feedback for poster presentations will be provided in written format after they have been evaluated.

■ 他の授業科目との関連

Specific pre-study is not necessary. Students are expected to come to class prepared to work hard and to participate fully in English. I expect students to be positive and motivated. Hard work and active participation will be rewarded.

■ 成績評価の仕方

Vocabulary tests (40%)

Preparation, effort, participation (20%)

Assignments (40%)

■ オフィスアワー・研究室等

Available upon request

■ 受講上の注意事項

This class will be entirely in English.

英語文献を読む

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBL5201

○遠藤花子

■ 授業の目的

英語で書かれた、看護・医療に関連する良質な論文や書物を読むことによって、高度な内容の英文を正確かつ迅速に理解する能力を養成する。英語論文の基本的な構造や使われている言葉などに注目しながら読むことで、論文に対する苦手意識をなくし、論文を読む習慣を身に付け、専門性の高い文献の理解ができるようになることを目的とする。この授業では、読解力の向上が中心目標だが、論文に書かれていることを受講生とともに議論をし、理解を深めていく。

■ 到達目標

1. 看護学に関する英語文献を精読し正確に理解することができる。
2. 英語の論文構造を理解し、読解力を向上することができる。
3. 論文に書かれていることについて議論することができる。
4. レイニンガーのサンライズ・モデルを理解することができる。

■ 学習の進め方

1. テキストを読みながら英語の訳読をする。
2. 書かれている内容を理解する。
3. 考えをまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[20分] Ethnonursing とは何かを考える 事後学修：[20分] テキストの興味のある箇所を調べる	講義・演習	遠藤
2	Culture Care Diversity and Universality Theory (1) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
3	Culture Care Diversity and Universality Theory (2) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
4	Culture Care Diversity and Universality Theory (3) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
5	Culture Care Diversity and Universality Theory (4) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
6	Culture Care Diversity and Universality Theory (5) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
7	Culture Care Diversity and Universality Theory (6) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
8	Culture Care Diversity and Universality Theory (7) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
9	Ethnonursing Research Studies (1) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
10	Ethnonursing Research Studies (2) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
11	Ethnonursing Research Studies (3) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
12	Ethnonursing Research Studies (4) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
13	Ethnonursing Research Studies (5) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
14	Ethnonursing Research Studies (6) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
15	Ethnonursing Research Studies (7) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

■ 教科書

Leininger の Culture Care Diversity and Universality: A Theory of Nursing に関するプリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、コメントを添え、Glexa 上で行います。

■ 他の授業科目との関連

「RW I」「RW II」を履修済みであること。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 50%

学期末レポート 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、メール(h-endo@redcross.ac.jp)でも随時受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

中国語Ⅰ

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBLS102

○神谷智幸

■ 授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、その発音と基礎的な文法を習得し、簡単な挨拶や日常会話ができるようになることを目的とする。

■ 到達目標

- ①中国語の発音を習得する。
- ②中国語で簡単な挨拶や会話ができるようになる。
- ③名前や所属など簡単な自己紹介ができるようになる。
- ④日本と中国の文化の違いを認識する。

■ 学習の進め方

この授業は、以下のように進める。

1. 教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
2. 中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、小テストを行う。
3. 授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。

この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音を練習し、習得することを求める。したがって授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および現代中国社会の時事問題についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス 事前学修：[15 分] 身の回りにある中国語や中国文化を探し、メモする 事後学修：[15 分] 授業内容を復習し、気づきや感想を 200 字程度にまとめる	講義・演習	神谷
2	発音(1)：中国語についての概要と声調 事前学修：[15 分] 事後学習に必要な道具(ノートや教科書など)を準備し、教科書 7-9 頁を読み、知らなかった内容や興味のある内容をノートに書きだす 事後学修：[45 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、12 頁の「声調」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
3	発音(2)：単母音 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、12 頁の「声調」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、11 頁の「単母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
4	発音(3)：子音(前半)・二重母音 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、11 頁の「単母音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、13 頁「子音(前半)」・19 頁「二重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
5	発音(4)：子音(後半)・三重母音 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、13・19 頁の「子音」と「二重母音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、13 頁「子音(後半)」・19 頁「三重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
6	発音(5)：二重母音と三重母音のまとめ・n、ng を含む母音(全体の概要)・数字 1～10 の言い方 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、ここまで学んだ発音を教科書やノートを見返し復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、数字 1～10 を暗記する	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
7	発音(6): n、ng を含む母音(前半) 第1課 新出語句・「名前の言い方」 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、25頁の「n、ng を含む母音」を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、14頁「新出語句」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
8	発音(7): n、ng を含む母音(後半)・変調 第1課 会話・文法ポイント解説(挨拶①など) 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、14頁の単語を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、14頁「会話」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
9	発音のまとめ(1): ピンイン書き換えのルール 第1課 補足語句・ドリル 〔自己紹介(1)〕 名前(苗字)を紹介する 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、14頁の会話を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、名前(苗字)の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
10	発音のまとめ(2): 親族名称と軽声 第2課 新出語句・挨拶②・「数字の言い方」 〔自己紹介(2)〕 誕生日を紹介する 事前学修: [60分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、14-18頁の第1課の内容を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、誕生日の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
11	第2課 会話・補足語句 〔自己紹介(3)〕 大学名・専攻・学年を紹介する 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、20頁の単語を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、大学名・専攻・学年の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
12	第2課 ペアワーク・ドリル 〔自己紹介(4)〕 住まい(実家)を紹介する 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、20頁の会話を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上で復習し、住まい(実家)の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
13	第3課 新出語句・“的”「～の」解説 〔自己紹介(5)〕 家族を紹介する 事前学修: [60分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、20-22頁の第2課の内容を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、家族の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
14	第3課 会話・指示代名詞 〔自己紹介(6)〕 好きな食べ物を紹介する 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、26頁の単語を復習する 事後学修: [60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、好きな食べ物や趣味の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
15	第3課 補足語句・ドリル 〔自己紹介(7)〕 自己紹介総合練習 事前学修: [60分] 前期に学んだ表現を用いて自分自身の「自己紹介」を書く 事後学修: [120分] 教科書全体を復習し発音と筆記の練習をする、「自己紹介」ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷

■ 教科書

李偉・管虹著(2018).『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』.初版. 白帝社

■ 参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ:「ことば」からみる思考と感覚』.初版. 集英社

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は後期の中国語Ⅱに関連しています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20 %、小テスト 30 %、定期試験 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

随時、電子メールで質問を受け付ける。

中国語Ⅱ

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBLS152

○神谷智幸

■ 授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、中国語Ⅰで学習した発音と基礎的な文法事項をさらに発展させ、日常会話ができるようになることを目的とする。

■ 到達目標

- ①発音表記をみて自分で正しく発音できる。
- ②中国語で挨拶や会話ができるようになる。
- ③日本と中国の文化の違いについて自分で考えられるようになる。

■ 学習の進め方

この授業は、以下のように進める。

1. 教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現およびその関連表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
2. 中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、小テストを行う。
3. 授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。

この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に日常会話で用いる文を実際に発音し、習得することを求める。したがって授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および医療に関する中国語についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス(発音総復習) 事前学修：[30分] 中国語Ⅰで配布した資料やノートを整理し、見返しておく 事後学修：[60分] 中国語Ⅰで学習した内容をすべて復習する	講義	神谷
2	第4課 新出語句・会話 会話小テスト(1) 事前学修：[45分] 小テスト(会話 1-4)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[45分] 会話 1-4 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
3	第4課 文法ポイント・補足語句 会話小テスト(2) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 5-8)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 5-8 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
4	第4課 ドリル 会話小テスト(3) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 9-12)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 9-12 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
5	第5課 新出語句・会話 会話小テスト(4) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 13-16)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 13-16 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
6	第5課 文法ポイント・補足語句 会話小テスト(5) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 17-20)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 17-20 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようにくりかえし練習する	講義・演習	神谷
7	第5課 ドリル 会話小テスト(6) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 21-23)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 21-23 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようにくりかえし練習する	講義・演習	神谷
8	第6課 新出語句・会話 会話小テスト(7) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 24-26)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 24-26 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようにくりかえし練習する	講義・演習	神谷
9	第6課 文法ポイント・補足語句 会話小テスト(8) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 27-29)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 27-29 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようにくりかえし練習する	講義・演習	神谷
10	第6課 ドリル 会話小テスト(9) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 30-32)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 30-32 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようにくりかえし練習する	講義・演習	神谷
11	第7課 新出語句・会話 会話小テスト(10) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 33-35)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 33-35 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようにくりかえし練習する	講義・演習	神谷
12	第7課 文法ポイント・補足語句 会話小テスト(11) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 36-38)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 36-38 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようにくりかえし練習する	講義・演習	神谷
13	第7課 ドリル 会話小テスト(12) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 39-41)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[30分] 会話 39-41 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようにくりかえし練習する	講義・演習	神谷
14	基本会話 [前半](1-20)総合練習 会話小テスト(13) 事前学修：[60分] 小テスト(会話 42-43)に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：[60分] 後期に学んだ表現を用いて会話 1-20 の質問文と回答文を書く	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
15	基本会話 [後半] (21-45)総復習 会話小テスト(14) 事前学修：[60分] 学んできた会話文の発音と筆記の練習をする 事後学修：[60分] 後期に学んだ表現を用いて会話 21-45 の質問文と回答文を書く	講義・演習	神谷

■ 教科書

李偉・管虹著 (2018). 『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』. 初版. 白帝社

■ 参考書、参考資料等

小野秀樹著 (2018). 『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に口頭での解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

中国語Ⅱは中国語Ⅰの理解に基づき、より発展的な内容を扱います。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20 %、小テスト 40 %、定期試験 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

韓国語Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBL103

○高昌弘

■ 授業の目的

朝鮮半島で使われている言語の名称をめぐってさまざまな学説や主義、主張などがあり、韓国語・朝鮮語・コリア語などと呼ばれている。基本的にすべて同一の言語を指すものであるが、まずこれらの背景について学ぶ。韓国語を表記する文字ハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を理解し、それに基づいた表現を身に付けるようにする。日本語との類似点、相違点に注意しながら学ぶ。韓国語を表す文字であるハングルの読み・書きから始め、ハムニダ体、ヘヨ体、叙述、疑問、否定、過去形などの初歩的な文法に基づいた表現を身につけ、簡単な会話ができるようになることを目指す。

■ 到達目標

- ①ハングル文字や発音を徹底してマスターする。
- ②ハングル能力検定試験 5 級レベルの語彙や文法表現を学習する。
- ③毎年、6 月と 11 月に行われているハングル能力検定試験 5 級にチャレンジする。

■ 学習の進め方

(講義・演習)

授業の始めに前回学習した内容(語彙や文法など)の小テストを毎回行う。その代わりに定期試験は行わない。ハングルの学習した後は、例文など、ただ先生の後について読むのではなく、学生が自ら読んだり、学習した文法を使って書いた作文を発表するなど、学生が積極的に参加・活動できるように進めていく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション及び韓国語について簡単に説明する。 事前学修：[30分] 韓国語について普段気になっていたことや知りたいことなどを考えてみる。 事後学修：[30分] 韓国語の特徴など、今回勉強した内容をしっかり復習し、自分の名前がハングルで書けるように繰り返し練習する。	「講義」「演習」	高
2	「ハングルの基本母音と子音①」 ハングルの構造を理解し、 基本母音と子音① を暗記する。 事前学修：[10分] ハングルの仕組みについて調べてみる。 事後学修：[60分] 今回学習したハングルの「基本母音」と「子音①」をしっかりと覚える。	「講義」「演習」	高
3	「子音②」と「子音③」 子音②(平音)と子音③(激音)を暗記する。 事前学修：[10分] 韓国語の「平音」と「激音」について調べてみる。 事後学修：[60分] 今回学習した「子音②」と「子音③」をしっかりと覚える。	「講義」「演習」	高
4	「子音④」と「合成母音」 子音④(濃音)と合成母音(二重母音)を暗記する。 事前学修：[10分] 韓国語の「濃音」と「合成母音」について調べてみる。 事後学修：[60分] 今回学習した「子音④」と「合成母音」をしっかりと覚える。	「講義」「演習」	高
5	「パッチム」と「連音化」 パッチム(終声)と二重パッチムを暗記し、さらに連音化という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「パッチム(終声)」と連音化について調べてみる。 事後学修：[60分] 今回学習した「パッチム」をしっかりと覚え、発音の変化「連音化」を理解する。	「講義」「演習」	高
6	「肯定平叙文・疑問文」と「有声音化」と「5級単語(1)」 「～です・～ですか」という文法表現と「有声音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「有声音化」という発音の変化について調べてみる。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高

No	内容	形式	教員
7	「否定平叙文・疑問文」と「hの弱音化」と「5級単語(2)」 「～ではありません・ありませんか」という文法表現と「hの弱音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「hの弱音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
8	「希望表現」と「濃音化」と「5級単語(3)」 「～したい」という文法表現と「濃音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「濃音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
9	「仮定表現」と「流音化」と「5級単語(4)」 「～すれば・～したら」という文法表現と「流音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「流音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
10	「語基」と「口蓋音化」と「5級単語(5)」 韓国語の動詞や形容詞などの活用形について学習し、「口蓋音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「口蓋音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
11	「丁寧語」と「鼻音化」と「5級単語(6)」 「～です・ます」という文法表現と「鼻音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「鼻音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
12	「進行表現」と「激音化」と「5級単語(7)」 「～している」という文法表現と「激音化」という発音の変化を学習する。 事前学修：[10分] 韓国語の「激音化」という発音の変化について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
13	「勧誘表現」と「母音「ウイ」の発音」と「5級単語(8)」 「～しましょうか」という文法表現を学習し、「母音「ウイ」の発音」を復習する。 事前学修：[10分] 母音「ウイ」の発音について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
14	「過去形」と「二重パッチム」と「5級単語(9)」 「～した・～しました」という文法表現を学習し、「二重パッチム」の発音を復習する。 事前学修：[10分] 韓国語の二重パッチム(二文字パッチム)について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した文法表現を使って例文を作り、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
15	「映画鑑賞」 韓国の映画を観ながら成績について個人面談を行う。 事前学修：なし 事後学修：なし	「その他」	高

■教科書

毎回、プリントを配る予定

■参考書、参考資料等

ハングル能力検定協会(2014)『「ハングル」検定 公式テキストペウギ 5級』

ハングル能力検定協会(2016)『「ハングル」検定 公式ガイド 新装版 合格トウミ 初級編4・5級』

■フィードバックの仕方

小テストのフィードバックは、試験終了直後に、口頭で解説または解説資料の配布を通じて行う。

■他の授業科目との関連

なし

■成績評価の仕方

授業への取組み 50%、小テスト 50%、

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

韓国語Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBLS153

○高昌弘

■ 授業の目的

韓国語Ⅰで学んだ文法及び表現を確認しながら、さらに上のレベルの文法や表現を練習し、バランスのとれた「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を身に付ける。その中でも特に「書く」「話す」力に重点をおく。韓国語は日本語と似ているところが多い、似ているからこそ難しいところがある。そういう点にも注意を払いながら、より自然な韓国語の習得を目指す。韓国語を学ぶことをとおして、朝鮮半島の現在について知見を広める。

■ 到達目標

- ①ハングル能力検定試験5級レベルの文法や語彙表現を学習する。
- ②ハングル能力検定試験の過去問などを使って試験対策を行い、5級程度の実力をつける。
- ③毎年、6月と11月に行われているハングル能力検定試験5級にチャレンジする。

■ 学習の進め方

(講義・演習)

授業の始めに前回学習した内容(語彙や文法など)の小テストを毎回行う。その代わりに定期試験は行わない。前期と同じように例文など、ただ先生の後について読むのではなく、学生が自ら読んだり、学習した文法を使って書いた作文を発表するなど、学生が積極的に参加・活動できるように進めていく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「目的を表す表現」と「助詞」と「5級単語(10)」 「～するために」という文法表現と韓国語の助詞を学習する。 事前学修：[10分]「～するために」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、助詞と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
2	「意思を表す表現」と「漢字語数詞」と「5級単語(11)」 「～するつもりだ」という文法表現と日本語の「一・二・三」に当たる漢字語数詞を学習する。 事前学修：[10分]「～するつもりです」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、漢字語数詞と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
3	「理由を表す表現」と「固有語数詞」と「5級単語(12)」 「～して・ので」という文法表現と日本語の「一つ・二つ・三つ」に当たる固有語数詞を学習する。 事前学修：[10分]「～して・ので」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、固有語数詞と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
4	「進行を表す表現」と「位置」と「5級単語(13)」 「～しているところだ」という文法表現と位置を表す言葉を学習する。 事前学修：[10分]「～しているところです」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、位置を表す言葉と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
5	「経験を表す表現」と「挨拶・相づち①」と「5級単語(14)」 「～したことがある」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～したことがある」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
6	「依頼表現」と「挨拶・相づち②」と「5級単語(15)」 「～してください」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～してください」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
7	「禁止表現」と「挨拶・相づち③」と「5級単語(16)」 「～しないでください」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～しないでください」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高

No	内容	形式	教員
8	「原因や理由を表す表現」と「挨拶・相づち④」と「5級単語(17)」 「～するから」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～するから」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
9	「義務や意志を表す表現」と「挨拶・相づち⑤」と「5級単語(18)」 「～しなければならない」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～しなければなりません」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
10	「意志表現」と「挨拶・相づち⑥」と「5級単語(19)」 「～する!(意志)」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～します!!! (意志)」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
11	「可能表現」と「挨拶・相づち⑦」と「5級単語(20)」 「～できる(可能)」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～できます」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
12	「残念な気持ちや完了の意味を表す表現」と「挨拶・相づち⑧」と「5級単語(21)」 事前学修：[10分]「～してしまいました」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
13	「勧誘及び確認の表現」と「用言の変則①」と「5級単語(22)」 「～しましょう」という文法表現と子音「L(子音)」脱落用言を学習する。 事前学修：[10分]「～しましょう」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、変則①を理解し、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
14	「目的を表す表現」と「用言の変則②」と「5級単語(23)」 「～しに」という文法表現と「ウ(母音)」脱落用言を学習する。 事前学修：[10分]「～しに」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、変則②を理解し、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
15	「映画鑑賞」 韓国の映画を観ながら成績について個人面談を行う。 事前学修：なし 事後学修：なし	「その他」	高

■教科書

毎回、プリントを配る予定

■参考書、参考資料等

ハングル能力検定協会(2014)『「ハングル」検定 公式テキストペウギ 5級』

ハングル能力検定協会(2016)『「ハングル」検定 公式ガイド 新装版 合格トウミ 初級編4・5級』

ハングル能力検定協会(2019)『ハン検 過去問題集 5級』

■フィードバックの仕方

小テストのフィードバックは、試験終了直後に、口頭で解説または解説資料の配布を通じて行う。

■他の授業科目との関連

韓国語Ⅱは韓国語Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

授業への取組み 50%、小テスト 50%

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

■受講上の注意事項

韓国語Ⅰを履修していることが望ましいが、履修していなくてもハングルが読めて初級レベルの単語や文法表現を知っていれば受講できる。

基礎ゼミ I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBFS100

○遠藤公久、鷹田佳典、白井美穂、角田敦彦、渋谷真樹、井上明宏、宮崎正峰、越後敬子

■ 授業の目的

大学で学問を学ぶために必要な「聴く力」「話す力」「読む力」「書く力」「調べる力」の基本を身につける。

■ 到達目標

1. 人文・社会・自然科学の講義や他者の意見の内容を理解できる。
2. 学術的な文章を読んでその内容を理解できる。
3. 自分の意見をその根拠も含めて相手にわかりやすく説明できる。
4. 調べたいテーマに関する文献を検索・収集できる。
5. テーマに即した論理的な文章を書くことができる。

■ 学習の進め方

上記の到達目標が達成できるように、少人数(10 数名)のゼミにおいて個人やグループで課題に取り組む。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自己紹介を兼ねて「私はどのような大学生になりたいか。なぜそう考えるか。」等のテーマで自分の意見を発表する。授業終了前に 3 回目(もしくは 4 回目)の討論テーマを決める。 事前学修：[15 分] 自己紹介の内容を考えて A4 用紙 1 枚にまとめ、発表準備をする 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	発表	各担当教員
2	A グループ (前半)各教室でスマホによる文献検索の練習 (後半)図書館で図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。 B グループ (前半)図書館で図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。 (後半)各教室でスマホによる文献検索の練習 事前学修：[15 分] 関連するテキストの部分を読み、注意点をノートにメモしておく。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習	各担当教員
3	大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。 事前学修：[30 分] 注意点をメモする(A1・A2)、自身の考えをノートに記す(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、討論	各担当教員
4	A グループ (前半)情報処理教室で PC による文献検索の復習 (後半)図書館で指定された図書・雑誌論文等の収集 B グループ (前半)図書館で指定された図書・雑誌論文等の収集 (後半)情報処理教室で PC による文献検索の復習 事前学修：[30 分] 注意点をメモする(B1・B2)、自身の考えをノートに記す(A1・A2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表	各担当教員
5	担当教員のミニ講義を聴き、自分の意見を根拠とともに発表する。 事前学修：[30 分] 事前予告のミニ講義のテーマについて調べて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	講義、発表、討論	各担当教員
6	A グループ 情報処理教室で PC によるワード基本操作と APA の学習 B グループ 担当教員指定の図書を読み、自分の意見をレジメにまとめて発表、討論する。 事前学修：[60 分] 注意点をメモする(A1)、指定図書を読み、発表準備をする(A2・B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員

No	内容	形式	教員
7	A グループ 担当教員指定の図書を読み、自分の意見をレジメにまとめて発表、討論する。 B グループ 情報処理教室で PC によるワード基本操作と APA の学習 事前学修：[60 分] 注意点をメモする(A2)、指定図書を読み、発表準備をする(A1)、指定の研究論文を読み、自身の意見をノートに記す(B1・B2) 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
8	研究論文の読解、討論(1 回目) 事前学修：[60 分] 注意点をメモする(B1)、指定の研究論文を読み、自身の意見をノートに記す(A1・A2・B2) 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
9	研究論文の読解、討論(2 回目) 事前学修：[60 分] 注意点をメモする(B2)、指定の研究論文を読み、自身の意見をノートに記す(A1・A2・B1) 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
10	各教室で APA の復習(PC を使わずプリントで) 事前学修：[15 分] 既に学習した APA 形式について、ポイントをメモする。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習	各担当教員
11	レポート作成のための個別指導① 事前学修：[30 分] レポートのテーマを考え、ノートに記す。 事後学修：[15 分] 個別指導の反映	演習	各担当教員
12	レポート作成のための個別指導② 事前学修：[30 分] レポートテーマについて、文献検索を進める。 事後学修：[15 分] 個別指導の反映	演習	各担当教員
13	レポート作成のための個別指導③ 事前学修：[30 分] レポートテーマについて、文献検索を進め、構成を考える。 事後学修：[15 分] 個別指導の反映	演習	各担当教員
14	レポート中間発表会 事前学修：[60 分] レポート中間発表の準備(レジメやスライドの作成)をする。 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	発表	各担当教員
15	レポート作成のための個別指導④ 事前学修：[30 分] レポートテーマについて、文献検索を進め、執筆を進める。 事後学修：[15 分] 個別指導の反映	演習	各担当教員

■ 教科書

なし(プリントを配布します)。

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートは担当教員のコメントを付して、後期の基礎ゼミⅡの授業時に返却します。

■ 他の授業科目との関連

この科目の発展的応用的科目として 1 年次後期に「基礎ゼミⅡ」(必修科目)があります。

■ 成績評価の仕方

授業スケジュールの 1～10 の課題を達成した合計が 50 点、レポート評価が 50 点(レポート中間発表会でのプレゼンテーション評価 10 点を含む)。

■ オフィスアワー・研究室等

時間：専任教員は授業開講日の 12:30～13:00。非常勤講師は授業終了後。

■ 受講上の注意事項

* 指定された担当教員のゼミを履修する。

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○遠藤公久

■ 授業の目的

対人関係や対人コミュニケーションを中心テーマに据えて、普段私たちが日常生活で不思議に思っていることを取り上げて検証することで、科学的に探求する態度を身につける。大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。

■ 到達目標

1. 対人関係や対人コミュニケーションについて探求する態度をもつことができる。
2. 調査法(実験法)などの研究方法について知ることができる。
3. グループワークを通して、対人関係を深める。
4. 効果的なプレゼンテーションについて学習する。

■ 学習の進め方

基本的にはグループ(2名または3名)活動である。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[10分] シラバスに目を通しておく 事後学修：[15分] 来週までに興味のあるテーマを考えてくる。	講義	遠藤
2	考えてきたテーマ発表(キーワード)する。 事前学修：[10分] 自分の取り上げたいテーマを考えてくる 事後学修：[10分] 来週までにさらにテーマを絞ってくる	発表・討論	遠藤
3	いくつかにまとめられたテーマから、自分の検討したいテーマを決定し、グループになる。 事前学修：[10分] 来週までにさらにテーマを絞ってくる 事後学修：[10分] 決定したテーマについて、何を調べたいのか考えておく	発表、討論	遠藤
4	グループワーク1：各グループでテーマについて討論し、検証したい現象について考える。 事前学修：[10分] 決定したテーマについて、何を調べたいのか考えておく 事後学修：[10分] さらにテーマについて具体的に考えておく	討論	遠藤
5	グループワーク2：検証したい現象などについて、さらにグループで考え、また調べてみる。 事前学修：[10分] さらにテーマについて具体的に考えておく 事後学修：[10分] 調べたことを取り入れて、さらに具体化を進める	討論	遠藤
6	グループワーク3：調べたことをもとに、検証したいことについてさらに深めてみる。 事前学修：[10分] 調べたことを取り入れて、さらに具体化を進める 事後学修：[10分] 仮説や検証方法などを考え、調べておく	討論	遠藤
7	グループワーク4：調べたいテーマについて、グループとして具体的な仮説と検証方法について考えてみる。 事前学修：[10分] 仮説や検証方法などを考え、調べておく 事後学修：[10分] 特に無い	発表、討論	遠藤
8	グループワーク5：検証方法について具体化していく。(例えば、質問紙作成など) 事前学修：[10分] 特に無いが、検証方法について考えておく 事後学修：[10分] 検証方法を具体化する	討論	遠藤
9	グループワーク6：検証方法についてさらに具体化する。 事前学修：[10分] 検証方法を具体化する 事後学修：[10分] 検証したいこととその方法との対応があっているか考える	討論	遠藤
10	グループワーク7：各グループで出された検証方法について、グループで発表して修正箇所などをみつける。 事前学修：[10分] 検証したいこととその方法との対応があっているか考える 事後学修：[10分] 調査(実験)の準備を進めておく	討論	遠藤

No	内容	形式	教員
11	グループワーク8：修正箇所を取り入れて、完成版を作成する。 また、調査(実験)などをスタートする。 事前学修：[15分] 調査(実験)の準備を進めておく 事後学修：[30分] 次回までに調査(実験)を終了しておく	討論	遠藤
12	グループワーク9：調査(実験)結果などを持ち寄り、データ入力(エクセル)する。 事前学修：[60分] 次回までに調査(実験)を終了しておく 事後学修：[60分] データ入力を終了しておく(エクセル入力)	討論	遠藤
13	グループワーク10：分析結果(単純集計など)をもとに、発表の準備をする。 事前学修：[30分] データ入力を終了しておく(エクセル入力) 事後学修：[30分] 分析結果について解釈を進める	討論	遠藤
14	グループワーク11：各グループで発表の準備をする。 事前学修：[30分] 分析結果について解釈を進める 事後学修：[30分] パワーポイントについて慣れる	討論	遠藤
15	発表：各グループで研究したことについて発表し(パワーポイント)、質疑応答を体験する。 事前学修：[60分] パワーポイント資料を完成しておく 事後学修：[15分] 授業全体についてコメントを作成する	発表・討論	遠藤

■ 教科書

使用しない。各人、各グループで調べた資料

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

発表のときにコメントをする。

■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(50%) 2. グループ発表の内容(50%)。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30~13:00、遠藤公久(404 研究室)。

■ 受講上の注意事項

調査(実験)期間(数日間)が必要になることがあります。

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○鷹田佳典

■ 授業の目的

本講義の目的は、大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶことです。大学では多くの文献・資料を読み、そこから新たな知識や情報を得たり、それらを踏まえて自分の考えを述べたりすることが重要になります。また、複数の人と協力して作業をしたり、討論をして相互理解を深めたりする場面も多くあります。本講義では「平成」をテーマに、資料収集、文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッションに必要な基礎力の習得を目指します。

■ 到達目標

1. 図書館やオンライン・データベースを活用して文献検索を行うことができる。
2. パソコンで資料を作成し、それをもとにプレゼンテーションを行うことができる。
3. 他者と協同しながら、グループワークを効果的に進めることができる。

■ 学習の進め方

講義・GW・発表・討論

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：講義の進め方についての説明、教員・受講生自己紹介 事前学修：[30分] 平成で起きた一番印象に残った出来事についての感想をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 課題実施のためのスケジュールをたてる。	講義	鷹田
2	文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーションの基礎 事前学修：[30分] TED を視聴し、どんなところがよかったのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	平成の年表【生活編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【生活】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：[30分] 昭和とはどんな時代だったのかについて要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
4	平成の年表【文化編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【文化】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
5	平成の年表【社会編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【社会】に関する出来事をひとつ調べ、概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
6	平成の年表【国際編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【国際】に関する出来事をひとつ調べ、概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
7	平成の年表【経済編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【経済】に関する出来事をひとつ調べ、概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
8	平成の年表【政治編】 事前学修：[30分] 平成で起きた【政治】に関する出来事をひとつ調べ、概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
9	ディスカッションテーマの選定 事前学修：[60分] ディスカッションしたいテーマを二つ考えておく。 事後学修：[30分] 平成に関する文献リストを完成させる。	ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田

No	内容	形式	教員
10	平成を読み解く① 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田
11	平成を読み解く② 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田
12	平成を読み解く③ 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田
13	平成を読み解く④ 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田
14	平成を読み解く⑤ 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田
15	まとめ：平成とはどんな時代だったのか、平成以後はどんな時代になるのか。 事前学修：[30分] 平成について議論したいテーマをひとつあげ、論点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 平成とはどんな時代だったのかについて要点をまとめておく。	ディスカッション(討論)・ディベート	鷹田

■ 教科書

特定の教科書は使用しません。

■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

発表内容について、授業内でフィードバックします。

■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I で学習した内容を確認しておくこと。

■ 成績評価の仕方

グループワーク(30%)、プレゼンテーション(30%)、討論への参加(40%)

■ オフィスアワー・研究室等

Glexa で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

パソコン(ワード、パワーポイント)の基礎的スキルが必要になります。

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 実務経験がある教員：— 科目番号：SBFS150

○白井美穂

■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。基礎ゼミⅠで学んだことを基にして、少人数グループにおける発表、討論などを実践し、興味を持ったテーマを探求し、さらに自己発信ができることを目的とする。当ゼミの柱となるテーマとして、スポーツ(運動)と健康、女性、障害者、ライフスタイルなどについて、学術文献を基に考えを発表し、討論していく。

■ 到達目標

自らの理解したことや意見をまとめて、論理的で平易かつ明瞭に聞き手に伝える実践力を養う。

■ 学習の進め方

各テーマについて、自身で興味をもてた内容を探求し、自身の意見を発表し、討論を促す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、自己紹介、グループ分け、自由テーマの選定 事前学修：[10分] 自分の興味のあることをまとめる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	講義 発表	白井
2	自由テーマについての発表・討論 事前学修：[10分] 自由テーマについてまとめる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	発表、ディスカッション(討論)・ディベート	白井
3	指定テーマについての説明 事前学修：[10分] テーマを考えてくる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	講義	白井
4	個別学習またはグループワーク 事前学修：[10分] 自分の発表する意見をまとめる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	演習	白井
5	指定テーマについての発表・討論(1) 事前学修：[10分] 発表準備 事後学修：[10分] 発表修正	発表、ディスカッション(討論)・ディベート	白井
6	指定テーマについての発表・討論(2) 事前学修：[10分] 発表準備 事後学修：[10分] 発表を受けて意見をまとめる	発表、ディスカッション(討論)・ディベート	白井
7	指定テーマについての発表・討論(3) 事前学修：[10分] テーマについて考えてくる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	発表、ディスカッション(討論)・ディベート	白井
8	個別またはグループワーク 事前学修：[10分] グループで意見をまとめる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	演習	白井
9	グループワーク 事前学修：[10分] グループで意見をまとめる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	演習	白井
10	まとめ 事前学修：[10分] 今までの授業の振り返り 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	発表、ディスカッション(討論)・ディベート	白井

No	内容	形式	教員
11	指定テーマについての説明 事前学修：[10分] テーマについて調べる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	講義	白井
12	個別学習またはグループワーク 事前学修：[10分] グループで意見をまとめる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	演習	白井
13	指定テーマについての発表・討論 事前学修：[10分] テーマについて調べる 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	発表、ディスカッション(討論)・ディベート	白井
14	総括プレゼンテーション準備 事前学修：[10分] プレゼンテーションの準備 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	演習	白井
15	総括プレゼンテーション 事前学修：[10分] プレゼンテーションの準備 事後学修：[10分] ノートに授業の振り返りをまとめる	発表、ディスカッション(討論)・ディベート	白井

■ 教科書

必要に応じて担当教員もしくは学生が資料を配付する。

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介するが、原則として学生が自ら選ぶ。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは返却時にコメントをつけて行う。

■ 他の授業科目との関連

当科目は、1年次前期の「基礎ゼミ I」(必修科目)の応用発展的科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(30%)、プレゼンテーション(40%)、グループワークおよびディスカッションへの貢献(30%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○角田敦彦

■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。
特に本ゼミでは、国際協力分野(紛争・災害など)に関する事柄に関して学生各自が興味を持った論文やニュース記事を検索し要約する。また、これを他者に分かりやすく発表する技術、また、他者の発表を聞き質問や自分の意見を述べるスキルを身につけることを目的とする。

■ 到達目標

- ・自分が関心を持つ分野の論文やニュース記事を探索的に読み、関心を持った事柄についてわかりやすく論理的に他者に伝えることができる。
- ・他者の発表を聞き、それに対する質問や意見をまとめ、討論できる。

■ 学習の進め方

- ・学生が自分の関心を持った論文、ニュース記事を検索し、要約し発表する。
- ・発表を聞き、質疑を行う。
- ・教員がコメントを行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースガイダンス 効果的なプレゼンテーション 事前学修：[30分] 基礎ゼミⅠの内容を復習し、文献検索の方法などについてまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する。	講義	角田
2	テーマの決定と関係するニュース・記事等の検索 事前学修：[30分] 関心あるテーマを複数検討し、取組みたい理由などをまとめておく。 事後学修：[30分] 決定したテーマの論文を入手し、発表の準備をする。	演習	角田
3	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
4	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
5	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
6	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
7	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
8	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田

No	内容	形式	教員
9	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
10	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
11	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
12	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
13	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
14	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・ディスカッション(討論)・ディベート	角田
15	まとめ 事前学修：[30分] これまでの討論を振り返り整理する。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	ディスカッション(討論)	角田

■教科書

ゼミの中で適宜指示する。

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

各回の発表後、学生相互のディスカッションを踏まえ、教員からコメントする。

■他の授業科目との関連

基礎ゼミⅠの学習内容に基づき、発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、プレゼンテーションの準備、内容、態度 50%、質疑、討論への参加度 30%

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室での質問を受け付けます。また、随時、電子メールで質問を受け付けます。

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○渋谷 真樹

■ 授業の目的

この授業は、「基礎ゼミⅠ」での学習成果を応用し、文献検索や読解、議論、発表など、探究する力をさらに伸ばすことを目的としています。

国際連合(国連)は、2030年までに達成すべき「持続可能な開発目標」(SDGs)として、「すべての人に健康と福祉を」や「質の高い教育をみんなに」といった目標を17個、掲げています。

本ゼミでは、このSDGsに基づいて、各自や小グループでテーマを設定して調査し、クラスで発表や議論をしていきます。

■ 到達目標

- 1 自らの問題意識に沿って、文献を検索し、読解した上で、簡潔に発表することができる。
- 2 アンケートやインタビュー、参与観察といった研究方法の概要を理解し、基礎的な実践ができる。
- 3 調べたことや考えたことを、根拠に基づいて、論理的に発表することができる。

■ 学習の進め方

AL

一部、講義がありますが、主要な部分は、学生主体のグループワークや発表や議論です。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分]「基礎ゼミⅡ」で学びたいこと、身に付けたい力を考える。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義	渋谷
2	SDGsとは：国連の「持続可能な開発目標」 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
3	テーマの設定とグループ作り 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	ディスカッション(討論)・ディベート・GW	渋谷
4	研究テーマの焦点化と研究方法の検討 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	ディスカッション(討論)・ディベート・GW	渋谷
5	先行研究の検討① 事前学修：[60分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
6	先行研究の検討② 事前学修：[60分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
7	先行研究の検討③ 事前学修：[60分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
8	調査の方法：量的調査と質的調査 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
9	調査方法の計画と実施① 事前学修：[60分] 自らのテーマに沿って調査を計画し、実施する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷

No	内容	形式	教員
10	調査方法の計画と実施② 事前学修：[60分] 自らのテーマに沿って調査を計画し、実施する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
11	調査方法の計画と実施③ 事前学修：[60分] 自らのテーマに沿って調査を計画し、実施する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
12	調査結果の分析と考察① 事前学修：[60分] 自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
13	調査結果の分析と考察② 事前学修：[60分] 自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
14	調査結果の分析と考察③ 事前学修：[60分] 自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
15	まとめ：授業のふりかえりと今後の課題 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業全体を通して、学んだこと、身についたこと、疑問点を整理する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷

■ 教科書

教科書は使用しません。

授業中に関連資料を配布します。

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介しますが、原則的には、学生自らが検索して入手します。

■ フィードバックの仕方

本授業は、教員と受講生との対話を主としています。

口頭発表については、授業内でその都度フィードバックします。

提出課題は、Glexa でフィードバックします。

■ 他の授業科目との関連

「基礎ゼミⅠ」の応用発展的科目です。また、「研究方法論」や卒業研究に関連します。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(50%)

プレゼンテーション(50%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付けます。また、随時、電子メールで質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

受講生の状況などに応じて、授業の内容や方法の一部を修正することがあります。

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○逸見功

■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。

本ゼミでは特に下記の2点について重きを置く。

- ・クリティカルシンキングについて学ぶ。
- ・根拠に基づく考え方について学ぶ。

■ 到達目標

1. 論理的思考ができる。
2. 根拠に基づいて意見を述べることができる。
3. 人前での発表ができる。

■ 学習の進め方

ひとつのテーマを2回に分けて進める。

1回目：課題文にもとづいて賛否いずれの主張に説得力があるかをグループで議論し、発表する。

2回目：担当者の資料内容の紹介によりクリティカルシンキングのスキルと知識について学ぶ。それらを活用して、学生同士で意見交換しながら議論の課題に取り組んだ結果について発表する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：クリティカルシンキングの方法 事前学修：[15分] どのような科学技術に関心があるかを中心に自己紹介する準備をする。 事後学修：[15分] 配付資料を読み返す。	講義, 演習, 発表	逸見
2	遺伝子組換え作物(1) 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
3	遺伝子組換え作物(2) 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
4	喫煙を認めるか否か(1) 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
5	喫煙を認めるか否か(2) 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
6	乳がん検診を推進すべきか(1) 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
7	乳がん検診を推進すべきか(2) 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
8	地球温暖化への対応(1) 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
9	地球温暖化への対応(2) 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見

No	内容	形式	教員
10	宇宙科学・探査への公的な投資(1) 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
11	宇宙科学・探査への公的な投資(2) 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習、ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
12	地震の予知(1) 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
13	地震の予知(2) 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否の議論をより説得力があるように組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習、ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
14	動物実験の是非(1) 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[30分] ゼミでの討論内容を振り返り、テーマについて賛否の議論を分析する。	ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見
15	動物実験の是非(2) 事前学修：[60分] テーマについて賛否いずれかの立場から議論を組み立て、発表の準備をする。 事後学修：[30分] ゼミでの発表内容を振り返る。	演習、ディスカッション(討議)・ディベート、発表	逸見

■ 教科書

資料を配付する。

■ 参考書、参考資料等

伊勢田哲治ほか編(2013). 科学技術をよく考える. 名古屋大学出版会.

廣野喜幸(2013). サイエнтиフィック・リテラシー. 丸善.

■ フィードバックの仕方

授業のプレゼンテーションのフィードバックは授業時に、提出物のフィードバックは Glaxa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はないが、大学における学修のための基礎となるスキルを扱う。

■ 成績評価の仕方

発表 40%、課題 40%、議論への参加 20%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室および Glaxa で質問を受け付ける。

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○宮崎正峰

■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。具体的なテーマとしては、動物の行動に着目し、ヒトとの共通点、相違点を見ることで動物の行動の理解を深めるだけでなく、ヒトの行動や思考にも関連付けて考えていく

■ 到達目標

1. 文献など情報を調べる方法を身につける
2. プレゼンテーションをわかりやすく出来るようにする
3. 自分の意見を簡潔に発表できるようにする

■ 学習の進め方

講義および演習の形式で行います。動物はワンパターンに行動をしているように思えるかもしれませんが、それぞれの行動が理にかなっており、また環境や状況に応じてその行動を変化させ適応して生きています。変化に応じて生きなければ生き残れないからです。動物の行動の中でも特に配偶者選択というテーマを中心に扱って、彼らがどのように自分のつがい相手を選んでいるのか、動物の「恋」について見ていきたいと思えます。何らかの基準を持って相手を選ぶ動物がいる一方、果たしてヒトはどのような基準で相手を選んでいるのでしょうか。自らに置き換えて考えていくと興味深いものになると思えます。

グループワークによって、協力して調査したり、発表の準備をすすめていくことで他人の考え方や意見を客観的に見て、尊重するという態度を身につけることの大切さを学びます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション・グループ分け 事前学修：[20分] 自己紹介について準備する 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する	講義	宮崎
2	「動物の葛藤」 どのように生きるのがベストか 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
3	「動物行動学」 動物の配偶者選択(つがい相手を選ぶ基準) 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
4	「動物の性選択の具体例」 グループ発表 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
5	「ヒトの配偶者選択の基準」 動物との違い 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
6	「ラブソングの歌詞に見るヒトの配偶者選択(1)」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
7	「ラブソングの歌詞に見るヒトの配偶者選択(2)」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
8	「ラブソングの歌詞に見るヒトの配偶者選択(3)」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
9	「短編ドラマに見るヒトの配偶者選択(1)」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
10	「短編ドラマに見るヒトの配偶者選択(2)」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎

No	内容	形式	教員
11	「短編ドラマに見るヒトの配偶者選択(3)」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
12	「グループ発表(1)」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
13	「グループ発表(2)」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
14	「グループ発表(3)」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎
15	「まとめ」 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する	ディスカッション(討議)・ディベート	宮崎

■ 教科書

教科書は使用せず、教員が適宜、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

宮崎正峰(2014年)「ペンギンの不思議」誠文堂新光社

■ フィードバックの仕方

授業のプレゼンテーション、提出物のフィードバックは授業時あるいは授業終了後に行う。

■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(50%)
2. 発表の内容(50%)

■ オフィスアワー・研究室等

メールによる質問などを受け付ける(アドレスは授業内で知らせる)

基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」変化 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBFS150

○越後敬子

■ 授業の目的

テーマ：差別の問題を考える

世の中には様々な差別が存在している。それは人種・宗教・文化・身分・性別・能力の差など多岐にわたり、また病者に対する差別もその一つである。先年、障がい者に対する差別的な事件が起きたことも記憶に新しいであろう。

かつて日本ではハンセン病患者差別の時代が長く続いた。この授業の前半では、ハンセン病患者で作家の北条民雄の作品『いのちの初夜』や彼の日記をもとに、ハンセン病患者差別の全容、そして今に続く患者の苦悩を知ること努めたい。

さらに授業の中盤以降では各自がテーマを設定し、世界及び日本に存在する差別の問題を考察する。具体的なテーマをもとに、差別の問題について考えることを目的とする。

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表方法について学ぶ。

■ 到達目標

1. 日本におけるハンセン病患者差別の問題について深く知る。
2. 世界や日本に存在する様々な差別について調査し、ディスカッションやプレゼンテーションを通して、自分の考えを明確に伝える力を養う。

■ 学習の進め方

1. ハンセン病患者差別の問題については、教員が講義を行い、受講者には適宜意見を求める。
2. 1と並行して、各自がテーマを設定し、差別の問題について文献を調査する。
3. 自分の考えをまとめてプレゼンテーションする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション 事前学修：[30分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30分] 配布された資料を改めて読み、疑問点がないかどうかを考える。	講義	越後
2	ハンセン病患者差別について考える① 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	越後
3	ハンセン病患者差別について考える② 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	越後
4	ハンセン病患者差別について考える③ 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	越後
5	ハンセン病患者差別について考える④ 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	越後
6	ハンセン病患者差別について考える⑤ 差別の問題に関する文献調査① 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート・実習	越後
7	ハンセン病患者差別について考える⑥ 差別の問題に関する文献調査② 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート・実習	越後

No	内容	形式	教員
8	ハンセン病患者差別について考える⑦ 差別の問題に関する文献調査③ 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート・実習	越後
9	ハンセン病患者差別について考える⑧ 差別の問題に関する文献調査④ 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート・実習	越後
10	差別の問題に関する文献調査⑤ 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
11	差別の問題に関する文献調査⑥ 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
12	差別の問題に関する文献調査⑦ 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
13	プレゼンテーション① 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・ディスカッション(討論)	越後
14	プレゼンテーション② 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・ディスカッション(討論)	越後
15	プレゼンテーション③ 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] レポート提出に向けて、各自の設定したテーマについてさらに調査を行う。	発表・ディスカッション(討論)	越後

■ 教科書

プリントを配布する。

■ 参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I の学習内容に基づき、より発展的な事項を扱う。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、口頭発表 40%、レポート 40%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

人体の構造と機能 I (解剖生理学・生化学①)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS100

○白井美穂

■ 授業の目的

人体の構造と機能 I は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・化学の基礎知識、機能からみた人体、生体を構成する物質、細胞の構造と機能、解剖・組織学総論を学び、それらが説明できる。
- ・消化器系、消化と吸収、物質とエネルギー代謝、呼吸器系、について身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解し、説明できる。
- ・身体の機能を構造に結びつけて、異常となるメカニズムを推測できる能力を身に着ける。

■ 学習の進め方

基本的に講義形式で行いますが、理解を深めるためにグループワークによるアクティブラーニング形態をとることもあります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	解剖学を学ぶための基礎知識 (1) 事前学修：[30 分] 教科書第 1 章 B ①～⑤を読む 事後学修：[20 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
2	解剖学を学ぶための基礎知識 (2) 事前学修：[30 分] 教科書第 1 章 B ⑥～第 1 章 C を読む 事後学修：[20 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
3	栄養の消化と吸収 (1) 事前学修：[30 分] 教科書 2 章 A ①②を読む 事後学修：[20 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
4	栄養の消化と吸収 (2) 事前学修：[30 分] 教科書 2 章 B ①②を読む 事後学修：[20 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
5	栄養の消化と吸収 (3) 事前学修：[30 分] 教科書第 2 章 B ③～⑤を読む 事後学修：[20 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
6	栄養の消化と吸収 (4) 事前学修：[30 分] 教科書第 2 章 B ⑥⑦、第 2 章 C ②を読む 事後学修：[20 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
7	栄養の消化と吸収 (5) 事前学修：[30 分] 教科書第 2 章 C ③①、第 2 章 D を読む 事後学修：[20 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
8	呼吸と血液のはたらき (1) 事前学修：[30 分] 教科書第 3 章 A、第 3 章 B ①②を読む 事後学修：[20 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
9	呼吸と血液のはたらき (2) 事前学修：[30 分] 教科書第 3 章 B ③～⑦を読む 事後学修：[20 分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井

No	内容	形式	教員
10	呼吸と血液のはたらき(3) 事前学修：[30分] 教科書第3章 C ①～④を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
11	呼吸と血液のはたらき(4) 事前学修：[30分] 教科書第3章 C ①～④を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
12	血液の循環と調節(1) 事前学修：[30分] 教科書第4章 A,B,C ①②を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
13	血液の循環と調節(2) 事前学修：[30分] 教科書第4章 C ③、第4章 D ②～④を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
14	血液の循環と調節(3) 事前学修：[30分] 教科書第4章 D ①、第4章 E ①～④を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
15	血液の循環と調節(4) 事前学修：[30分] 教科書第4章 E ⑤、第4章 F を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、予習ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井

■ 教科書

坂井建雄 (2020). 系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能①. 第10版. 医学書院

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa ページでコメントを返したり、フィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、課題 20%、定期試験 60%

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①月、金曜日② 4 限の時間帯まで③場所は 426 研究室。その後の質問については、あらかじめアポイントを取ることが望ましい。休日を除く平日 17 時までメールでも対応します。

人体の構造と機能Ⅱ(解剖生理学・生化学②)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS101

○白井美穂

■ 授業の目的

人体の構造と機能Ⅱは、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・血液と造血、循環器系、腎・泌尿器系、運動器系、皮膚・体温調節について身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解し、分かりやすく他者に説明できる。
- ・身体の機能を構造に結びつけて、異常となるメカニズムを推測できる能力を身に着ける。

■ 学習の進め方

基本的には講義形式で行う。理解を深めるためにグループワークによるアクティブラーニングを用いる場合もある。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	体液の調節と尿の生成 (1) 事前学修：[30分] 教科書第5章A①～③を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
2	体液の調節と尿の生成 (2) 事前学修：[30分] 教科書第5章A③④、第5章B、Cを読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
3	内臓の機能の調節 (1) 事前学修：[30分] 教科書第6章B、第6章①を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
4	内臓の機能の調節 (2) 事前学修：[30分] 教科書第6章C②、③を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
5	内臓の機能の調節 (3) 事前学修：[30分] 教科書第6章C④～⑥、第6章D、Eを読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
6	身体の支持と運動 (1) 事前学修：[30分] 教科書第7章A～Cを読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
7	身体の支持と運動 (2) 事前学修：[30分] 教科書第7章D、Eを読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
8	身体の支持と運動 (3) 事前学修：[30分] 教科書第7章Fを読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
9	身体の支持と運動 (4) 事前学修：[30分] 教科書第7章G、Hを読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井

No	内容	形式	教員
10	情報の受容と処理 (1) 事前学修：[30分] 教科書第8章 A、B を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
11	情報の受容と処理 (2) 事前学修：[30分] 教科書第8章 C～F を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
12	情報の受容と処理 (3) 事前学修：[30分] 教科書第8章 G～J を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
13	外部環境からの防御 事前学修：[30分] 教科書第9章を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
14	生殖・発生と老化のしくみ (1) 事前学修：[30分] 教科書第10章 B、C を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井
15	生殖・発生と老化のしくみ (2) 事前学修：[30分] 教科書第10章 A、D を読む 事後学修：[20分] 授業で行った内容を振り返り、ノートに分かった点、分からなかった点をまとめる	講義	白井

■ 教科書

坂井建雄(2020). 系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能①. 第10版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、授業中や Glexa ページでコメントを返したり、フィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、課題 20%、定期試験 60%

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①月、金曜日②4限の時間帯まで③場所は 426 研究室。その後の質問については、あらかじめアポイントを取ることが望ましい。休日を除く平日 17 時までメールでも対応します。

人体の構造と機能Ⅲ(解剖生理学・生化学③および微生物学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS150

○白井美穂

■ 授業の目的

人体の構造と機能Ⅲは、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

人体の構造と機能Ⅲでは、脳・脳神経、内分泌系、生殖系系について身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解し、身体の機能を構造に結びつけて、異常となるメカニズムを推測できるように学習する。さらに成長・発達・加齢にともなう身体的・精神的特徴、リンパ性器官、免疫のメカニズム、細菌・真菌との性質と感染、原虫・ウイルスの性質と感染、感染症の予防・治療についての知識を身に付ける。

■ 学習の進め方

- ・ 授業は講義形式を基本としますが、適宜、自習ノート作成、演習、小テストを行います。
- ・ 授業は教科書の内容を基本として進めていきます。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
- ・ 学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	糖の性質と機能 事前学修：[30分] 教科書の第3.4章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
2	脂質の性質と機能 事前学修：[30分] 教科書の第5.6章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
3	タンパク質の性質と機能 事前学修：[30分] 教科書の第5.6章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。次回の小テスト対策としてテスト範囲の配布プリントの見直しを行う。	講義	白井
4	小テスト解説・遺伝情報とその発現 事前学修：[30分] 教科書の第10.11章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義・小テスト (内容：糖・脂質・たんぱく質の性質と特徴について)・演習(糖、脂質、たんぱく質の性質と特徴の内容からテーマを決めてペーパーワークを行う)	白井
5	代謝の基礎と酵素・補酵素 事前学修：[30分] 教科書の第2章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
6	生体を構成する物質とその代謝についてのまとめ 事前学修：[30分] 教科書(生化学 人体の構造と機能②)の講義内容を振り返る。 事後学修：[20分] 授業の内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
7	細菌・真菌の性質 事前学修：[30分] 教科書の第1.2章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
8	原虫・ウイルスの性質 事前学修：[30分] 教科書の第4.5章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。小テスト対策として授業で配布した資料の見直しを行う。	講義	白井

No	内容	形式	教員
9	小テスト解説・感染と感染症 事前学修：[30分] 教科書の第6章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義・小テスト (内容：細菌・真菌・原虫・ウイルスの性質) 演習(細菌・真菌・原虫・ウイルスの性質についてテーマを決めペアワークを行う)	白井
10	感染に対する生体防御の仕組み 事前学修：[30分] 教科書の第7章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
11	感染源・感染経路からみた感染症 事前学修：[30分] 教科書の第8章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。次回のテストの対策として資料の見直しを行う。	講義	白井
12	小テスト解説・滅菌と消毒 事前学修：[30分] 教科書の第9章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義・小テスト (内容：感染に対する生体防御の仕組み、感染源、感染経路からみた感染症)・演習(内容：感染源・感染経路からみた感染症の内容の中からテーマを決め、ペアワークを行う)	白井
13	感染症の治療 事前学修：[30分] 教科書の第11章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
14	感染症の現状と対策・院内感染 事前学修：[30分] 教科書の第12章を読む 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。定期試験の準備を行う。	講義	白井
15	微生物学の基礎についてのまとめ 事前学修：[30分] 教科書(微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進④)の講義内容を振り返る。 事後学修：[20分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井

■ 教科書

1. 畠山鎮次(2020). 生化学. 第14版. 医学書院
2. 吉田真一(2020). 微生物学. 第13版. 医学書院

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。また、参考資料のプリントを配布する。

■ フィードバックの仕方

試験・レポートのフィードバックは、授業時間内またはグレクサ上で解説資料の提示および解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ,Ⅱ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連している。また、2年次の看護援助論実習[レベルⅡ]の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(20%)、小テスト(10%)、演習(10%)、定期試験(60%)

■ オフィスアワー・研究室等

①曜日：火、金②時間帯：授業後および担当教員の授業時間外(事前にもアポイントを取ることが望ましい)③ 426 白井研究室

疾病の成り立ちと回復の促進 I (病理学総論、疾病論：消化器、内分泌・代謝)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
 教員：－ 科目ナンバー：SBHS151

○白井美穂、安達章子、佐藤平、甲嶋洋平、中村純一、多羅尾朋子

■ 授業の目的

解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、理論的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践にも役立てることを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる(病態生理学)。
- ・ 基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる(病理学)。
- ・ 消化器系および内分泌・代謝の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を説明できる。

■ 学習の進め方

- ・ 授業は教科書の内容を基本とした講義をオムニバス方式で進めていきます。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
- ・ 各授業後に記入してもらおうリフレクションペーパーは、授業を受けての感想や疑問を記を行う。リフレクションペーパーの提出はグレクサ上で実施する。基本的にはリフレクションペーパーの返却は行わない。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 解剖生理学 I, II のプリントとノートを振り返る。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井美穂
2	病理学総論①「病理学とは何か、病気の分類について」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第1章を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
3	病理学総論②「循環障害」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第3章を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。		安達章子
4	病理学総論③「炎症と免疫、感染症」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第4.5章を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
5	理学総論④「代謝異常、先天異常」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第6.8章を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
6	病理学総論⑤「腫瘍」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第9章を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
7	内分泌・代謝疾患①「視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門II「内分泌・代謝」第5章 A:1 ①②③を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子
8	内分泌・代謝疾患②「副甲状腺疾患、副腎疾患」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門II「内分泌・代謝」第5章 A:④⑤を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子
9	内分泌・代謝疾患③「糖尿病①」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門II「内分泌・代謝」第5章 B:①～⑧を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子
10	内分泌・代謝疾患④「糖尿病②」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門II「内分泌・代謝」第5章 B:①～⑧を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子

No	内容	形式	教員
11	消化器疾患内科①「上部消化管:食道、胃、十二指腸疾患の検査、診断、治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第5章 A,B を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	佐藤 平
12	消化器疾患内科②「下部消化管:腸および腸膜疾患の検査、診断、治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第5章 C を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	佐藤 平
13	消化器疾患内科③「肝胆膵:肝臓・胆嚢疾患、膵臓疾患検査、診断、治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第4章 A,B,5章 D,E を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	甲嶋洋平
14	消化器疾患外科①「上部・下部消化管の外科的治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第5章 A,B,C および系統看護学講座・別巻 臨床外科看護各論第3章 A,B,C を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	中村純一
15	消化器疾患外科②「肝臓、胆道、膵臓の外科的治療」 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」4章 A,B,5章 D,E および系統看護学講座・別巻 臨床外科看護各論第5章 D~G を読む 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	中村純一

■教科書

- ・大橋健一 (2021). 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 第5版. 医学書院
- ・吉岡成人 (2019). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝 第15版. 医学書院
- ・南川雅子 (2019). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 第15版. 医学書院

■参考書、参考資料等

- ・田中越朗 (2017). 系統看護学講座 専門基礎分野 病態生理学 第2版. 医学書院
- ・北島政樹 (2017). 系統看護学講座 臨床外科看護各論 第9版. 医学書院

■フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、グレクサ上で解説資料の提示および解説を行う。

■他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連しています。また、「看護援助論実習レベルⅡ」の履修要件となっています。

■成績評価の仕方

リフレクションペーパー(15%)および定期試験(85%)を総合して評価します。

■オフィスアワー・研究室等

白井：開講期間中の①火、金曜日②1.2限の時間帯③場所は426研究室。その時間以外の質問については、あらかじめアポイントを取ることが望ましい。休日を除く平日17時までメールでも対応します。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」成長 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS200

○岡田彩子、松村穰、森田英幹、松島秀和、眞木充、雨宮守正、野呂彰

■ 授業の目的

解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践に役立てることを目的とする。

■ 到達目標

呼吸器系、循環器系、腎・泌尿器系の個々の疾患についての病態を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略について説明できる。

■ 学習の進め方

講義

授業は教科書の内容を基本とした講義をオムニバス方式で進めていきます。

授業の参考資料は、紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものと考えて下さい。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 呼吸、循環器、腎臓、泌尿器に関する人体の構造と機能、病理学の資料を読み返す 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す	講義	岡田
2	循環器疾患内科① 動脈硬化症、虚血性心疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松村
3	循環器疾患内科② 血圧異常、不整脈の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松村
4	循環器疾患内科③ 心不全の検査、診断、治療および静脈系疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松村
5	循環器疾患外科① 冠血管、大血管疾患と外科的治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	森田
6	循環器疾患外科② 心臓弁・先天性心疾患と外科的治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書を読み返す	講義	森田
7	呼吸器疾患内科① 気管支および肺の感染性疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松島
8	呼吸器疾患内科② 気道疾患、閉塞性肺疾患、および肺循環疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松島
9	呼吸器疾患外科① 肺腫瘍と外科的治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	眞木
10	呼吸器疾患外科② 胸部外傷と胸膜、縦郭の疾患と外科的治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	眞木
11	腎臓疾患(透析含む)① 腎不全の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	雨宮

No	内容	形式	教員
12	腎臓疾患② ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、腎血管、尿細管の病変の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	雨宮
13	腎臓疾患③ 全身性疾患による腎障害の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	雨宮
14	泌尿器疾患① 尿路・性器の感染症の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	野呂
15	泌尿器疾患② 尿路の通過障害と機能障害に関する検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	野呂

■ 教科書

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 医学書院
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 医学書院
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧ 医学書院
- ・系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院

■ 参考書、参考資料等

- ・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進① 医学書院
- ・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病の成り立ちと回復の促進② 医学書院

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、採点後の答案用紙の返却ならびに試験問題と採点基準の解説を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連しています。また、「看護援助論実習レベルⅡ」の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取組み・リフレクションシート 15 %、
定期試験 85 %

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師については、各授業終了後に質問を受ける。

遠隔授業の場合、質問はメールで受け付ける(岡田メールアドレス：a-okada@redcross.ac.jp)。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論：運動器、脳・神経、乳腺、感覚器)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBHS201

○奥原秀盛、中村謙介、日野秀嗣、秋山茂雄、高橋俊栄、野下展生、齊藤毅、石井清、栗田昭宏、三石剛

■ 授業の目的

解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践にも役立てることを目的とする。

■ 到達目標

- ・生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学の用語と概念で理解、説明できる。
- ・基本的な疾患の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学の用語で理解し、説明できる。
- ・運動器系、脳・神経系系、乳腺外科、眼科、耳鼻科、皮膚科の疾患の病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

■ 学習の進め方

- ・授業は基本的に教科書の内容に沿った講義をオムニバス方式で進める。
- ・授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまでも補助的なものとして考える。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[60分] 事前に LMS で知らせるので、必ず確認すること 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	奥原
2	運動器疾患① 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	中村
3	運動器疾患② 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	中村
4	運動器疾患③ 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	中村
5	運動器疾患④ 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	中村
6	脳・神経系疾患(内科)① 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	日野
7	脳・神経系疾患(内科)② 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	日野
8	脳・神経系疾患(内科)③ 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	秋山
9	脳・神経系疾患(内科)④ 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	秋山
10	脳・神経系疾患(外科)① 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	高橋
11	脳・神経系疾患(外科)② 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	野下

No	内容	形式	教員
12	乳腺外科 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	齊藤
13	眼科疾患 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	石井
14	耳鼻科疾患 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	栗田
15	皮膚科疾患 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	三石

■ 教科書

系統看護学講座・専門Ⅱ「運動器」成人看護学 10 医学書院(2020)
 系統看護学講座・専門Ⅱ「脳・神経」成人看護学 7 医学書院(2020)
 系統看護学講座・専門Ⅱ「皮膚」成人看護学 12 医学書院(2020)
 系統看護学講座・専門Ⅱ「眼」成人看護学 13 医学書院(2020)
 系統看護学講座・専門Ⅱ「耳鼻咽喉」成人看護学 14 医学書院(2020)

■ 参考書、参考資料等

系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進① 医学書院
 系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進② 医学書院
 参考資料のプリントを配布する。

■ フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後 3 週間以内に、ポータルサイトあるいは LMS 等を通じて伝達する。

■ 他の授業科目との関連

本科目は、「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「薬理学」「栄養学」などと密接に関連している。また看護援助論実習(レベルⅡ)の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

- ・出席確認は試験受験資格確認のためとし、評価は主に記述式または選択式の筆記試験で行う。
- ・リフレクションペーパー(15%)および定期試験(85%)を総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受ける。
 遠隔授業の場合、質問はメールで受け付ける(奥原メールアドレス：h-okuhara@redcross.ac.jp)

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ(疾病論：血液、アレルギー、リウマチ・膠原病、外科学、産婦人科学、小児科学、検査学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」成長 実務経験がある
 教員：－ 科目ナンバー：SBHS250

○岡田彩子、佐藤博之、堀越正信、加藤敬二、新村兼康、宮本純孝、佐藤有子、塚本信宏

■ 授業の目的

解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践に役立てることを目的とする。

■ 到達目標

血液、免疫系、産婦人科、小児科系、個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、治療の概略について説明できる。外科、放射線医学の概論が理解できる。

■ 学習の進め方

[講義]

授業は教科書の内容を基本としたオムニバス方式で進めていきます。

授業の参考資料は、紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えて下さい。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[45分] 血液・免疫系、婦人科、小児に関する人体の構造と機能、病理学の資料を読み返す。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義	岡田
2	血液内科疾患、臨床検査学① 赤血球・白血球の異常に関する検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(博)
3	血液内科疾患、臨床検査学② 造血器腫瘍の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(博)
4	血液内科疾患、臨床検査学③ 造血器腫瘍の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(博)
5	血液内科疾患、臨床検査学④ 出血性疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(博)
6	アレルギー：免疫の仕組みとアレルギー性疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	堀越
7	リウマチ、膠原病：自己免疫疾患とその機序と検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	堀越
8	臨床外科総論 ①手術侵襲に対する生体反応：炎症、感染症、創傷治癒について ②外科的治療の適応：腫瘍、外傷、熱傷について 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	加藤
9	外科学各論① 外科治療を支える分野：麻酔法、呼吸管理、体液管理、栄養管理、輸血療法について 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	新村
10	外科学各論② 外科治療の実際：外科的基本手技、低侵襲手術、臓器移植について 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	新村

No	内容	形式	教員
11	産婦人科学① 外陰、膣、子宮の疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	宮本
12	産婦人科学② 卵管・卵巣の疾患の検査、診断、治療及び、月経異常と随伴症状、性感染症 についての検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	宮本
13	小児科学① 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(有)
14	小児科学② 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(有)
15	臨床放射線医学概論：画像診断、放射線治療、放射線防護について 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	塚本

■ 教科書

系統看護学講座・専門Ⅱ「血液・造血器」成人看護学 医学書院
 系統看護学講座・専門Ⅱ「アレルギー・膠原病感染症」成人看護学 医学書院
 系統看護学講座・別巻「臨床外科総論」 医学書院
 系統看護学講座・別巻「臨床外科各論」 医学書院
 系統看護学講座・専門Ⅱ「女性生殖器」成人看護学 医学書院
 系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院

■ 参考書、参考資料等

系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、採点後の答案用紙の返却ならびに試験問題と採点基準の解説を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連しています。

■ 成績評価の仕方

授業への取組み・リフレクション 15%
 定期試験 85%

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師については、各授業終了後に質問を受ける。
 遠隔授業の場合、質問はメールで受け付ける(岡田メールアドレス：a-okada@redcross.ac.jp)。

疾病の成り立ちと回復の促進V(さまざまな治療)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：後期 科目ナンバー：SBHS450

○奥原秀盛、佐藤博之、堀越正信、塚本信宏、加藤敬二、五木田昌士、田口茂正、清田和也

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SBHS300

○林公輔、

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

薬理学

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS251

○町田充、高野温志、鈴木博、竹内絵美、高野明香、亀井陽子、井上朋子、小村理香

■ 授業の目的

薬物の体内動態と主作用・副作用の両面から薬物と生体との相互作用について学習し、看護の仕事に役立つ基礎及び臨床薬理の知識を修得する。

■ 到達目標

- ・薬理作用に基礎に基づき、薬物の特徴・作用機序・人体への影響について理解できる。
- ・主な薬物の特徴について理解できる。

■ 学習の進め方

- ・授業は教科書の内容を基本とした講義をオムニバス方式で進めていきます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	薬理の概要、看護と薬理 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	町田 充
2	薬理学の基礎知識、体内情報伝達機構、薬の作用機序、薬物体内動態、抗感染症薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	高野温志
3	抗がん薬、免疫治療薬、抗アレルギー、抗炎症薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	鈴木博
4	末梢神経に作用する薬、中枢神経に作用する薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	竹内絵美
5	心臓・血管系に作用する薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	高野明香
6	呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	亀井陽子
7	物質代謝物質に作用する薬、皮膚外用薬、眼科用薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	井上朋子
8	救急の際に使用される薬物、漢方薬、消毒薬、輸液製剤、輸血剤 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	小村理香

■ 教科書

吉岡充弘・泉剛・井関健・横式尚司・菅原満(2018). 系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学. 第14版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

田中千賀子・加藤隆一・成宮周(2017). NEW 薬理学. 改訂版第7版. 南江堂.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■ 他の授業科目との関連

人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、栄養学等と関連する内容となります。

■ 成績評価の仕方

試験 80%、授業参加度 20%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

■ 受講上の注意事項

授業への主体的な参加出席を期待します。

疫学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS252

○川崎洋平

■ 授業の目的

人間集団を対象として疾病の原因を解明し予防するための学問である疫学の考え方を学ぶ。
EBM や EBN において根拠を与える疫学の方法について学ぶ。
集団の健康状態を把握するための指標について学ぶ。

■ 到達目標

1. 疫学に関する用語とその意味を正しく説明できる。
2. 疫学研究の方法を説明できる。
3. 疫学にあらわれる様々な指標の意味を説明し、計算できる。
4. 疫学データの解析結果を解釈できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	疫学の基本概念(1): 疫学的な考え方 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
2	疫学の基本概念(2): 疫学の基本用語 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
3	疫学の基本概念(3): 疫学的な因果関係 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
4	疫学での指標(1): 疫病頻度の指標 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
5	疫学での指標(2): 暴露効果を表す指標 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
6	疫学での指標(3): まとめ 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
7	疫学研究のデザイン(1) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
8	疫学研究のデザイン(2) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
9	疫学研究の質(1) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
10	疫学研究の質(2) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
11	疫学研究の質(3) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	臨床疫学と EBN (1) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
13	臨床疫学と EBN (2) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
14	臨床疫学と EBN (3) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
15	疫学の総まとめ 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平

■ 教科書

授業中に配布する資料

■ 参考書、参考資料等

浅野 嘉延(2018 年). 楽しく学べる!看護学生のための疫学・保健統計. 改訂3版. 南山堂.

日本疫学会(監修)(2018 年). はじめて学ぶやさしい疫学. 改訂3版. 南江堂.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に Glexa にて、解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

疫学は統計学を応用した学問であるので、保健統計学の学習内容に基づく。

■ 成績評価の仕方

定期試験 70%、授業への取り組み 30%(レポート・演習問題)

■ オフィスアワー・研究室等

質問は講義前後の時間、もしくはオンラインで受け付ける。

■ 受講上の注意事項

疫学は保健師のみならず臨床看護師を目指す学生にとっても EBN を理解するために重要な科目である。

リハビリテーション医学

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SBHS301

○荒尾敏弘、久保通宏、西井秋子、安西利恵

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

遺伝と遺伝カウンセリング

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：後期 科目ナンバー：SBHS350

○渡邊淳、辻恵子

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

栄養学

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：後期 科目ナンバー：SBHS351

○田中明穂

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

ラボラトリー・プラクティス

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS202

○天野雅子、江口和夫

■ 授業の目的

病気の本態とその成り立ちに関する基本的理論を説明できるようになるために、臨床検査に関する知識を習得することを目的とする。

■ 到達目標

- ①医学的基礎知識を基盤に臨床検査の意義、役割が理解できる。
- ②症候編、疾患編の講義内容から基本的な臨床検査値が解釈できる。
- ③臨床検査に関連する医療安全性を考慮して、患者検体を適切に採取し、検体搬送前の性状観察ができ、適切な検体搬送や患者搬送手順を理解できる。
- ④医師の検査指示から臨床検査室ならびにその担当者とのコミュニケーションを通して、連携がとれる。
- ⑤患者病態を反映する臨床検査情報を読み取り、医師の診断、治療計画に基づく患者のケア方針が組み立てられる。
- ⑥ POCT(Point of care testing) の概念を理解し、その結果と検査室結果が理解でき、特に糖尿病患者の自己血糖測定指導などが理解できる。
- ⑦生理機能検査時における患者搬送前の注意事項を把握し、適切な検査実施体制を管理できる。

■ 学習の進め方

下記の授業内容に沿って講義形式で進めていきます。

各授業時にリフレクションペーパーの記入をしていただき疑問点を明らかにしていきます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：臨床検査の意義と役割 事前学修：[60分] 本科目シラバスおよび、教科書の臨床検査の基礎を読み全体を把握しておく。 事後学修：[30分] 授業内容と教科書を読み返す。	講義	天野
2	基本的な臨床検査の理解と検体の採取と取り扱いについて：血液検査 事前学修：[60分] 教科書の血液学的検査の項を読み検査の目的、種類、意義について A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業内容と教科書を読み返す。	講義	天野
3	基本的な臨床検査の理解と検体の採取と取り扱いについて：微生物学的検査 事前学修：[60分] 教科書の微生物学的検査の項を読み検査の種類、検体採取について A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業内容と教科書を読み返す。	講義	天野
4	基本的な臨床検査の理解と検体の採取と取り扱いについて：一般検査(尿、便、貯留液) 事前学修：[60分] 教科書の一般検査の項を読み検体採取の目的、採取方法について A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業内容と教科書を読み返す。	講義	天野
5	臨床検査に関連する医療安全と臨床検査室ならびにその担当者との連携について 事前学修：[60分] 教科書の第 1 部第 2 章を読み A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業内容と教科書を読み返す。	講義	天野
6	臨床検査情報に基づく診断・治療計画の理解とそれに基づくケア方針の組み立てについて 事前学修：[60分] 教科書の第 2 部第 5, 6, 7 章を読み診断に必要な検査項目について予習する。 事後学修：[30分] 授業内容と許可書を読み検査情報と治療計画に基づくケアとは何かについて提示した症例についてレポートを作成する。	講義	天野
7	POCT(Point of care testing) の概念と検査結果の理解と対象支援について 事前学修：[60分] 教科書の第 1 部第 2 章 F を読み A4 用紙 2 枚程度の予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業内容とノートを振り返る。	講義	江口

No	内容	形式	教員
8	生理機能検査及び検査時の援助 事前学修：[60分] 教科書第2部10章を読みA4用紙4枚程度にまとめ予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業内容と教科書を振り返る	講義	江口

■ 教科書

奈良信雄・和田隆志編(2019). 系統看護学講座・専門基礎「臨床検査学」. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

別途提示

■ フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは試験終了後3週間以内に解説資料の提示及び解説を行う。レポートのフィードバックは後日コメントを付して返却する。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」「疾病の成り立ちと回復促進」などと密接に関連しています。

■ 成績評価の仕方

リフレクションペーパー15%、レポート5%、定期試験80%を総合評価します。

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に Glexa で質問を受けつける。

看護学概論 I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNIN100

○岡田彩子

■ 授業の目的

看護とは何かを探求するために、看護の歴史、制度、教育的な変遷を理解する。さらにケアの原理を中心に看護に関する重要概念や理論を学習することで看護学全体の学びへの動機づけを図る。

■ 到達目標

1. ケアの原理を理解できる。
2. 看護の歴史の基礎を理解できる。
3. 看護学の重要概念(健康、環境、人間、看護)を説明できる。
4. 看護の提供システムに関する基礎知識を理解できる。
5. 看護の法と倫理に関する基礎知識を理解できる。
6. 看護とは何かに関する自己の考えを表現することができる。

■ 学習の進め方

1. 講義
2. グループワーク:提示したテーマに関して授業中に 20-30 分程度の時間をとる。グループおよびクラス全体で意見交換を行う。
3. 授業内容の振り返り:授業終了時に配布される振り返り用紙に授業への質問、意見、感想を記入し、締め切りまでに提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 現代医療と看護ケア、看護の主要概念(健康・環境・人間・看護) 事前学修：[20分] 現代医療の中の看護について調べ、考えを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田
2	看護の歴史・看護の変遷、職業としての看護(看護職の職業的發展)、看護職の養成と修業状況および学問的發展 事前学修：[40分] ナイチンゲールの業績を調べて、A4 用紙 1 枚程度にまとめる。 事後学修：[20分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田
3	看護における倫理・法 事前学修：[30分] 教科書第 5 章、第 6 章 pp247-256 を読む。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田
4	保健医療福祉システムと多職種連携 看護サービス提供の仕組みとチーム医療の中の看護 事前学修：[40分] 地域包括システムについて、居住する地域の仕組みを調べる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田
5	看護理論① 看護理論の成り立ちと機能 F. ナイチンゲール、V. ヘンダーソン、A. ウィデンバック 事前学修：[30分] A. ウィデンバックの資料を読み A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議・GW]	岡田
6	看護理論② 人間関係論、相互作用論(トラベルビー) 事前学修：[30分] トラベルビーの理論を調べる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議・GW]	岡田
7	看護理論③ システム理論、ケアリング 事前学修：[30分] D. オレムの理論、もしくは、B ニューマンの理論を調べる。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議・GW]	岡田
8	看護サービスの管理、評価、看護専門職の生涯学修とその支援 事前学修：[20分] 教科書第 6 章 pp. 271-304 を読む。 事後学修：[30分] 授業資料及び教科書の関連ページを読む。	[講義・討議]	岡田

■ 教科書

茂野香おる他(2020). 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学①, 看護学概論(第 17 版). 医学書院

■ 参考書、参考資料等

グレクサ内に提示、もしくは、授業開始時に別紙にて配布する。

■ フィードバックの仕方

課題のフィードバックは提出後3週間以内に、コメントを付して返却します。

試験問題の解説に関する資料は、試験後に掲示する。詳細は、グレクサ内に提示する。

■ 他の授業科目との関連

レベルI 実習の履修要件になっている。1年時以降に開講される看護技術論あるいは看護援助論など、これから学ぶ看護学専門科目の基礎的な学習となる。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み・振り返り用紙 15%

プロセスレコード 10%

定期試験 75%

■ オフィスアワー・研究室等

授業日の12:10~12:40

それ以外の時間は、事前にアポイントメントをとってください。a-okada@redcross.ac.jp に連絡をして下さい。

岡田研究室は、大宮キャンパス(410)です。

■ 受講上の注意事項

遅刻3回で欠席1回とみなします。

看護学概論Ⅱ(看護倫理含)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：後期 科目ナンバー：SNIN450

○岡田彩子

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

看護関係法規

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNIN400

○安部陽子

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

看護技術論 I (援助的人間関係)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNFN100

○松本佳子、小宮敬子、岡田彩子、奥原秀盛、喜多里己、吉野純、太田喜久子、成木弘子、遠藤公久、宮本晶

■ 授業の目的

看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、心理・社会的な観点を踏まえて理解を深め、実際の体験を通して学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助を提供する道具としての自分の対人関係におけるくせや、陥りやすい感じ方、考え方について気づくことができる。
2. 他者とかかわるということを体験する。
3. 自分と他者の間で、何が起きている(いた)のかを感じ、考えることができる。
4. 自分の体験を通して、援助とは何かについて考えることができる。

■ 学習の進め方

「AL」講義と演習とを組み合わせで行います。

演習の主な内容は、グループワークとロールプレイです。

学生を全 8 グループに分け、8 の教員がそれぞれのグループを担当します。グループの進め方としては、特にテーマを設定せず、その場で話したいことを自由に話し合い、その体験を通して自己理解を深め、他者とかかわることを学びます。これを全 4 回行います。

その他の演習として、映画鑑賞、ロールプレイに基づく話し合いなどを予定しています。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	援助的人間関係の基本的な考え方 事前学修：[10 分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30 分] 講義および演習の進め方について資料を読んで理解する。	講義	松本
2	気質やパーソナリティ類型を用いた自己理解の方法 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義内容について資料を読み返す。	講義・演習	松本
3	感性を磨く技法-異和感の対自化- 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60 分] 異和感を覚えた場面について振り返って、指定の用紙にまとめる。	講義・演習	松本
4	映画観賞とグループワーク① 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
5	映画観賞とグループワーク② 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
6	構成的グループワーク① 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
7	構成的グループワーク② 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
8	小グループに分かれてのグループワーク① 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
9	小グループに分かれてのグループワーク② 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
10	小グループに分かれてのグループワーク③ 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員

No	内容	形式	教員
11	小グループに分かれてのグループワーク④ 事前学修：[15分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
12	援助的人間関係における自己一致 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	講義・演習	松本
13	「きく-はなす」のロールプレイ① 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容について資料を読み返す。	演習	小宮・松本・宮本
14	「きく-はなす」のロールプレイ② 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
15	グループワークのまとめ・レポートの書き方 事前学修：[15分] グループワーク演習での体験を読み返して要点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] グループワークを通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	講義・振り返り	松本

■教科書

適宜、プリントを配布します。

■参考書、参考資料等

武井麻子(2002).『グループ』という方法, 医学書院.

平木典子(2000). 自己カウンセリングとアサーションのすすめ, 金子書房.

■フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、後期中に、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。返却可能な時間や教室はポータルで連絡します。

■他の授業科目との関連

看護援助論実習〔レベルⅠ〕を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。また、看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)の基礎となる科目です。

■成績評価の仕方

演習への取り組み(50%)とレポート(50%)に基づいて評価します。なお、レポートは、演習に参加しての感想文(20%)と最終レポート(30%)で評価します。

■オフィスアワー・研究室等

授業日の12:30~12:50、小宮(402研究室)、松本(412研究室)で質問や相談に応じます。

■受講上の注意事項

演習は、何よりも参加が基本です。欠席をしないようにして下さい。

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNFN150

○中村滋子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

日常生活行動と心身のメカニズムとの関連を理解したうえで、対象者の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントの考え方、方法及びプロセスを学習する。

■ 到達目標

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は動画の視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	フィジカルアセスメント概論と基本技術 事前学修：[30分] 事前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
2	面接技法と基本技術 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	一般状態と生命の徴候 1 体温・呼吸・意識 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
4	体温・呼吸・意識に関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	一般状態と生命の徴候 2 脈拍・血圧 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
6	脈拍・血圧に関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	食ること・栄養を取り込むこと 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
8	食ること・栄養を取り込むことに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	排泄すること・セクシュアリティ 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
10	排泄すること・セクシュアリティに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	身体を動かすこと 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
12	身体を動かすことに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	技術の習得について確認を行う 事前学修：[60分] 技術チェックのポイントを見直ししながら、技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術チェックの結果を振り返り、改善点を見出す	技術チェック・ 振り返り	全員
14	技術の習得について確認を行う 事前学修：[60分] 技術チェックのポイントを見直ししながら、技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術チェックの結果を振り返り、改善点を見出す	技術チェック・ 振り返り	全員
15	実践にむけてのまとめ 事前学修：[30分] 知識の確認問題に取り組む 事後学修：[60分] ①技術を洗練させるために反復練習を行う ②知識の確認問題の解答を見直す	講義	中村

■教科書

1. 守田美奈子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.
2. 志自岐康子他編 (2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

■参考書、参考資料等

1. 奈良信雄監訳 (2011). 世界で一番美しい人体図鑑. エクスナレッジ.
- *資料は適宜配布

■フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用する。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容、Glexa に投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 技術チェックのフィードバックは、試験終了後、採点者が行う。
5. 技術チェックの結果は、まとめの授業内にて返却する。
6. 筆記試験の結果は、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)の初回授業で振り返りを行う。

■他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件となっている。
2. 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学ぶ。

■成績評価の仕方

演習記録・Glexa (Forum・Quiz など)の提出 10%(提出期限を過ぎると減点あり) 技術チェック 30% 筆記試験 60%

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後 30 分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定する(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：中村(424)、殿城(425)、酒井・山本(431)、篠原・中島(430)、川端・原(429)、竹山(414)

■受講上の注意事項

30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNFN200

○中村滋子、岡田彩子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)で学んだことも踏まえつつ、対象者の生を支える看護実践に必要な身体診察技法の知識と技術について系統的に学び、それらを統合して、実践する力を養う。

■ 到達目標

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。
5. 学んだ知識・技術を活用し実践に即した態度で総合的にフィジカルアセスメントを行うことができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は動画の視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。
5. 総合演習では、グループメンバーでケースについてのフィジカルアセスメントを行ない、プロセスも含めてプレゼンテーションする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話す 事前学修：[30分] 事前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
2	見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話すことのフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	身体を守る・加齢による変化 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
4	身体を守ることに関するフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	生命を維持する① 呼吸器系 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	岡田
6	呼吸器系のフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	生命を維持する② 循環器系 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	岡田

No	内容	形式	教員
8	循環器系のフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
9	生命の危機 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
10	生命の危機におけるフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	総合演習(フィジカルイグザミネーションを用いたグループワークによる事例検討) 事前学修：[45分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[45分] グループワークの課題に取り組む	演習	全員
12	総合演習(フィジカルイグザミネーションを用いたグループワークによる事例検討) 事前学修：[45分] グループワークの課題に取り組む 事後学修：[45分] グループワークの課題に取り組む	演習	全員
13	総合演習(フィジカルイグザミネーションを用いたグループワークによる事例検討) 事前学修：[45分] プレゼンテーションの課題に取り組む 事後学修：[45分] プレゼンテーションの課題に取り組む	演習	全員
14	総合演習(フィジカルイグザミネーションを用いたグループワークによる事例検討) 事前学修：[45分] プレゼンテーションの課題に取り組む 事後学修：[45分] 発表後の振り返りシートの記入	演習	全員
15	まとめ 事前学修：[30分] 全体の振り返りシートに取り組む 事後学修：[60分] 総合演習レポートに取り組む	講義	中村

■ 教科書

- 守田美奈子監修(2020). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.
- 志自岐康子他編(2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

- 奈良信雄監訳(2011). 世界で一番美しい人体図鑑. エクスナレッジ.

*資料は適宜配布

■ フィードバックの仕方

- 事前課題は授業中に活用する。
- 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
- 演習記録に記載された内容、Glexa に投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
- 総合演習レポートにはコメントを記載し機会をつくり返却する。

■ 他の授業科目との関連

- この科目は看護援助論実習 [レベルⅡ] の履修要件になっている。
- 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学ぶ。

■ 成績評価の仕方

演習記録・Glexa (Forum・Quiz などの提出 10 % (提出期限を過ぎると減点あり) 総合演習レポート 30 % 筆記試験 60 %

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後 30 分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定する(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：岡田(410)、中村(424)、殿城(425)、酒井・山本(431)、篠原・中島(430)、川端・原(429)、竹山(414)

■ 受講上の注意事項

30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNFN101

○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護技術概論 事前学修：[30分] 1週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
2	感染予防に関する援助技術① 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
3	感染予防に関する援助技術① <技術演習：手洗い、ガウンテクニック> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	環境整備に関する援助技術 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
5	環境整備に関する援助技術 <技術演習：環境調整・環境整備、ベッドメイキング、シーツ交換> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術① 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
7	休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術① <技術演習：ボディメカニクス・体位変換> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	活動・運動に関する援助技術② 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城

No	内容	形式	教員
9	活動・運動に関する援助技術② <技術演習：車椅子・ストレッチャーへの移乗と移送> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
10	食事・口腔ケアに関する援助技術 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
11	食事・口腔ケアに関する援助技術 <技術演習：食事の介助・口腔ケア> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
12	排泄に関する援助技術① 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
13	排泄に関する援助技術① <技術演習：一般的な排泄の援助> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
14	前期技術総合演習 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
15	前期技術総合演習 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

■ 教科書

- 吉田みつ子・本庄恵子監修(2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
- 志自岐康子他編(2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

- 川嶋みどり監修(2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.
- *資料は適宜配布

■ フィードバックの仕方

- 事前課題は授業中に活用する。
- 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
- 演習記録に記載された内容、Glexaに投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
- 技術チェックのフィードバックは、試験終了後に採点者が行う。
- 筆記試験のフィードバックは、関連する後期科目看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)の第1回目の授業にて、問題用紙の返却と解説を通じて行う。技術チェックの採点表も同日に返却する。

■ 他の授業科目との関連

- この科目は看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件になっている。
- 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

■ 成績評価の仕方

演習記録・Glexa(Forum・Quizなど)の提出 10%(提出期限を過ぎると減点あり)、技術チェック 30%、筆記試験 60%

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後30分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：殿城(425研究室)、中村(424研究室)、酒井・山本(431研究室)、篠原・中島(430研究室)、川端・原(429研究室)、竹山(414研究室)

■ 受講上の注意事項

- ・30分以上の遅刻は欠席とみなす。

- ・基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。
- ・実習要項を参照し、身だしなみを整えること。
- ・ディスカッション・演習には積極的に参加し、考えや感想を表現すること。

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNFN151

○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	清潔の援助 概論 事前学修：[30分] 1週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
2	清潔の援助① <技術演習：寝衣交換> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
3	清潔の援助① <技術演習：寝衣交換> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	清潔の援助② <技術演習：部分浴(洗髪・手浴・足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
5	清潔の援助② <技術演習：部分浴(洗髪・手浴・足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	清潔の援助③ <技術演習：全身清拭> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
7	清潔の援助③ <技術演習：全身清拭> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	清潔の援助④ <技術演習：陰部洗浄> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	感染予防に関する援助技術② 滅菌・消毒・無菌操作 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
10	感染予防に関する援助技術② <技術演習：無菌操作> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	排泄に関する援助技術② 導尿 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
12	排泄に関する援助技術② <技術演習：導尿> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	電法、ヒヤリハット 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[30分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	講義・演習	中村・殿城
14	後期技術総合演習 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
15	後期技術総合演習 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

■ 教科書

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修(2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 志自岐康子他編(2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

1. 川嶋みどり監修(2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

*資料は適宜配布

■ フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用する。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容、Glexaに投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 技術チェックのフィードバックは、試験終了時に採点者が行う。
5. 筆記試験のフィードバックは、関連する2年次前期科目看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)の第1回目の授業にて、問題用紙の返却と解説を通じて行う。技術チェックの採点表も同日に返却する。

■ 他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件になっている。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

■ 成績評価の仕方

演習記録・Glexa(Forum・Quizなど)の提出 10%(提出期限を過ぎると減点あり)、技術チェック 30%、筆記試験 60%

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後30分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：殿城(425研究室)、中村(424研究室)、酒井・山本(431研究室)、篠原・中島(430研究室)、川端・原(429研究室)、竹山(414研究室)

■ 受講上の注意事項

- ・30分以上の遅刻は欠席とみなす。

- ・基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。
- ・実習要項を参照し、身だしなみを整えること。
- ・後期は、演習のみの単元が多く、事前課題に取り組んでいることを前提に演習が展開される。必ずテキスト・動画を見て予習をしてから参加すること。
- ・ディスカッション・演習には積極的に参加し、考えや感想を表現すること。

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNFN201

○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を学ぶことができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら、学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	薬物療法・検査時の援助技術 事前学修：[30分] 1週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
2	薬物療法・検査時の援助技術 <技術演習：注射器の取り扱い、アンプル・バイアルの吸い上げ> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	静脈血採血の援助技術 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
4	静脈血採血の援助技術 <技術演習：静脈血採血> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	薬物療法時(注射法)の援助技術 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
6	薬物療法時の援助技術 <技術演習：皮下注射・筋肉注射> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	排泄に関する援助技術(グリセリン洗腸) 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
8	排泄に関する援助技術 <技術演習：グリセリン洗腸> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	呼吸に関する援助技術①(酸素療法・気道加湿法) 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
10	呼吸に関する援助技術① <技術演習：酸素療法・気道加湿法> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	呼吸に関する援助技術②(口腔内・鼻腔内吸引) 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
12	呼吸に関する援助技術② <技術演習：口腔内・鼻腔内吸引> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	総合演習(技術チェック・振り返り) 事前学修：[60分] 技術チェックのポイントを復習し、技術の反復練習を行う 事後学修：[30分] 技術チェックの結果を振り返り、改善点を見出す	技術チェック	全員
14	総合演習(技術チェック・振り返り) 事前学修：[60分] 技術チェックのポイントを復習し、技術の反復練習を行う 事後学修：[30分] 技術チェックの結果を振り返り、改善点を見出す	技術チェック	全員
15	実践に向けてのまとめ 事前学修：[60分] 知識の確認問題に取り組む 事後学修：[60分] 技術チェックの結果および知識の確認問題を見直す	講義	殿城

■ 教科書

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術1アドバンス. インターメディカ.
3. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術2アドバンス. インターメディカ.
4. 志自岐康子他編 (2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる実習で使える看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 川嶋みどり監修 (2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

*資料は適宜配布

■ フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用する。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容、Glexaに投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 技術チェックのフィードバックは、試験終了後に採点者が行う。
5. 筆記試験のフィードバックは、看護援助論実習 [レベルⅡ] 実習前までに、解説資料の配布を通じて行う。配布日時は Glexa にて連絡する。技術チェックの採点表も同日に返却する。

■ 他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習 [レベルⅡ] の履修要件になっている。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

■ 成績評価の仕方

演習記録・Glexa (Forum・Quiz など)の提出 10%(提出期限を過ぎると減点あり)、技術チェック 30%、筆記試験 60%

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後 30分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：殿城(425研究室)、中村(424研究室)、酒井・山本(431研究室)、篠原・中島(430研究室)、川端・原(429研究室)、竹山(414研究室)

■ 受講上の注意事項

- ・30分以上の遅刻は欠席とみなす。

- ・基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。
- ・実習要項を参照し、身だしなみを整えること。
- ・ディスカッション・演習には積極的に参加し、考えや感想を表現すること。

看護援助論 I (看護過程)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNCN200

○岡田彩子、奥原秀盛、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸課題を明らかにし、その解決に向けた的確な援助を提供するための問題解決のプロセスを学ぶ。これを通じて、看護が蓄えてきた知識や技術を包括的に再編成し、方向性を明示しながらケアを実践する力を養う。

■ 到達目標

- ・看護の対象者の健康に関する情報を既習の知識に基づいて解釈、理解することができる。
- ・看護の対象者の健康について全体論的な視点から捉えることができる。
- ・看護の対象者の健康に資するための看護援助を計画することができる。

■ 学習の進め方

AL

看護過程についての講義と事例を用いた演習(個人ワーク、グループワーク、発表・討論、解説)、看護記録についての講義を通じて学ぶ。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 看護過程とは 事例 1 配布 事前学修：[30 分] レベル I 実習のレポートを読み直し、行った看護について振り返る 事後学修：[60 分] レベル I 実習を振り返り、看護過程の視点から十分出来た点と不十分だった点について検討する。	講義	岡田
2	医学情報の整理 事前学修：[60 分] 事例 1 を読み、医学情報について調べまとめる 事後学修：[60 分] 講義資料を振り返り、事例 1 の医学情報について調べまとめる	講義	岡田
3	医学情報の関連図 事前学修：[60 分] 事例 1 を読み、医学情報についてまとめる 事後学修：[60 分] グループワークを経て、医学情報をまとめる	グループワーク	全員
4	アセスメントとは 事前学修：[60 分] 看護過程のアセスメントについて調べまとめる 事後学修：[60 分] 事例 1 を読みアセスメントに取り組む	講義	岡田
5	事例 1 アセスメント① 事前学修：[60 分] 事例 1 を読みアセスメントに取り組む 事後学修：[60 分] グループワークを経て、アセスメントを深める	グループワーク	全員
6	事例 1 アセスメント② 事前学修：[60 分] 事例 1 を読みアセスメントに取り組む 事後学修：[60 分] グループワークを経て、アセスメントを深める	グループワーク	全員
7	関連図の作成・全体像の描写 事前学修：[60 分] 看護過程の関連図の作成・全体像の描写について調べまとめる 事後学修：[60 分] 事例 1 の関連図を作成する	講義	岡田
8	関連図の作成 事前学修：[60 分] 事例 1 の関連図を作成する 事後学修：[60 分] グループワークを経て、事例 1 の関連図を見直す	グループワーク	全員
9	関連図と全体像描写①(看護問題抽出) 事前学修：[60 分] グループワークで作成した関連図に基づいて、全体像を記述してみる 事後学修：[60 分] グループワークを経て、関連図と全体像描写、看護問題を見直す	グループワーク	全員
10	関連図と全体像描写②(看護問題抽出) 事前学修：[60 分] グループワークで作成した関連図と全体像描写、看護問題を見直す 事後学修：[60 分] グループワークを経て、関連図と全体像、看護問題を見直す	グループワーク	全員

No	内容	形式	教員
11	看護計画の立案(実施計画と評価) 事前学修：[60分] 看護過程の計画立案・評価について調べまとめる 事後学修：[60分] 最も優先度の高い看護問題の看護計画に取り組む	講義	奥原
12	看護計画の立案① 最も優先度の高い看護問題の計画を検討する 事前学修：[60分] 最も優先度の高い看護問題の看護計画に取り組む 事後学修：[60分] グループワークを経て、最も優先度の高い看護問題の計画を見直す	グループワーク	全員
13	看護計画の立案② 最も優先度の高い看護問題の計画を検討する 発表会の資料作成・提出 事前学修：[60分] 最も優先度の高い看護問題の計画を見直す 事後学修：[60分] グループワークを経て、最も優先度の高い看護問題の計画を見直す	グループワーク	全員
14	看護記録の法的位置づけ 事前学修：[60分] 看護記録の法的位置づけについて調べまとめる 事後学修：[60分] 講義を踏まえ、看護記録の法的位置づけについて振り返る	講義	奥原
15	事例1発表会 (2クラスに分かれて各グループ10分間の発表を行う) 事前学修：[60分] 事例1の発表会準備に取り組む 事後学修：[60分] 各グループの発表会資料を振り返り、疑問点をまとめる	グループワーク	全員
16	事例1展開の解説 事例2資料配布 事前学修：[60分] 各グループの発表会資料を見直す 事後学修：[60分] 講義を踏まえ、自分たちのグループの看護過程を振り返る	講義	奥原
17	事例2医学情報まとめ 事前学修：[60分] 事例2の医学情報について調べまとめる 事後学修：[60分] グループワークを経て、事例2の医学情報について振り返る	グループワーク	全員
18	事例2アセスメント 事前学修：[60分] 事例2のアセスメントに取り組む 事後学修：[60分] グループワークを経て、事例2のアセスメントについて振り返る	グループワーク	全員
19	事例2関連図作成 事前学修：[60分] 事例2の関連図に取り組む 事後学修：[60分] グループワークを経て、事例2の関連図について振り返る	グループワーク	全員
20	事例2関連図と全体像描写 事前学修：[60分] 事例2の関連図と全体像描写に取り組む 事後学修：[60分] グループワークを経て、事例2の関連図と全体像について振り返る	グループワーク	全員
21	事例2看護計画立案 事前学修：[60分] 事例2の看護計画に取り組む 事後学修：[60分] グループワークを経て、事例2の看護計画について振り返る	グループワーク	全員
22	事例2発表会 (2クラスに分かれて各グループ10分間の発表を行う) 事前学修：[60分] 事例2の発表会準備に取り組む 事後学修：[60分] 各グループの発表会資料を振り返り、疑問点をまとめる	グループワーク	全員
23	事例2展開の解説 まとめ 事前学修：[60分] 各グループの発表会資料を見直す 事後学修：[60分] 全体を振り返り、看護過程についてまとめる	講義	奥原 岡田

■教科書

授業は配付資料を用いて行い、教科書は使用しない。

■参考書、参考資料等

適時、参考書や文献などを紹介する。

■フィードバックの仕方

毎回講義の冒頭で、リフレクションペーパーへのコメントを行う。またグループワーク時や発表会後のコメントを通じて、事例検討に関

するフィードバックを行う。課題レポートのフィードバックは、後期ガイダンスにて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習〔レベルⅡ〕などの2年次以上の実習では、学生一人ひとりが受け持ち患者の個別の看護計画を立てるので、講義と演習にしっかり取り組むこと。

この科目は、看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件になっている。

■ 成績評価の仕方

事例を用いた演習 50 %、試験(課題レポート) 40 %、その他(グループワークへの参加度) 10 %で総合的に評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30 - 13:00 奥原研究室(406)岡田研究室(410)殿城研究室(425)中村研究室(424)仁昌寺研究室(423)酒井研究室(431)篠原研究室(430)原研究室(429)中島研究室(430)山本研究室(431)竹山研究室(414)川端研究室(429)

看護援助論Ⅱ(生命の維持)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNCN150

○仁昌寺貴子

■ 授業の目的

人がどのようにして生きているのか、生命維持の仕組みを理解する。その上で生命を脅かす呼吸、循環、中枢機能不全状態とその関連性を理解し、生命維持に必要な看護援助の理論と方法を学ぶ。

■ 到達目標

1. 呼吸、循環、中枢機能と生命維持との関連を理解する。
2. 呼吸機能、循環機能、中枢神経系の機能の不全もしくは障害により生じる生命危機状況を理解する。
3. 生命危機を回避すると同時に、生命を維持するために必要な基本的な看護援助に関する理論と方法を学ぶ。

■ 学習の進め方

AL

1. 事前学修課題に取り組み、学習に必要な基礎知識を復習・整理する。
2. 資料は授業中に配布する。必要時には、授業日前に Glaxa を利用して資料を配布する。
3. 講義中はグループディスカッションを行い、学生同士による意見交換を通して課題と知識の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 呼吸と循環のメカニズムとつながり/生命維持の仕組み 事前学修：[30分] 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの教科書および、資料を復習し呼吸と循環のつながりについてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義で配布した資料を読み返し、ポイントをまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
2	呼吸機能の障害により生じる症状・観察・検査・治療 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 42-56 頁を読み、呼吸器の主な症状についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義で配布した資料を読み返し、ポイントをまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
3	呼吸機能に障害をもつ人の生命および生活への影響と援助の視点 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 2-3 頁を読み、Kさんの症状が生活に及ぼす影響についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 GW	仁昌寺
4	呼吸機能に障害をもつ人への看護 事前学修：[30分] 第2・3回の講義を振り返り、呼吸機能に障害をもつ人への援助について自分の考えをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 GW	仁昌寺
5	循環機能の障害により生じる症状・観察・検査・治療 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 32-46 頁を読み、循環器の主な症状についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義で配布した資料を読み返し、ポイントをまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
6	循環機能に障害をもつ人の生命および生活への影響と援助の視点 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 2-3 頁を読み、Yさんの症状が生活に及ぼす影響について自分の考えをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 GW	仁昌寺
7	循環機能に障害をもつ人への看護 事前学修：[30分] 第5・6回の講義を振り返り、循環機能に障害をもつ人への援助についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
8	まとめ 生命を維持するために必要な看護援助 事前学修：[30分] 第1～7回までの講義資料を読み返し疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義 GW	仁昌寺

■ 教科書

浅野浩一郎他(2020). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学 [2] 呼吸器 第15版. 医学書院.

吉田俊子他(2020). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学 [2] 循環器 第 15 版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

佐伯由香・田中美智子編(2017). ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護① 呼吸機能障害/循環機能障害 第 3 版. メディカ出版.
人体の機能と構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで用いた教科書を使用する。

※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

■ フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、採点後に試験問題を返却する。返却時期、方法、採点基準の解説は Glaxa 上に提示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回授業開始時に行う。
3. 授業中のディスカッションのフィードバックは授業中に行う。

■ 他の授業科目との関連

1. 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに基づいた看護援助についての内容を扱う。
2. 疾患の成り立ちと回復の促進Ⅱ、看護援助論Ⅰ、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)に関連する。
3. 2年次の看護援助論実習[レベルⅡ]の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、筆記試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日授業後(17:00 迄) 仁昌寺(423 研究室)

看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNCN100

○喜多里己

■ 授業の目的

人の感染防御・清潔の仕組みと働き及びそれらが脅かされる状況について理解し、感染防御と清潔が維持されるための援助を考える基礎的知識を養う。

■ 到達目標

- ①さまざまな年齢や異なる状況において清潔とは何かを説明できる。
- ②清潔が脅かされるとき生活への影響を説明できる。
- ③感染症の特徴とその対応を説明できる。
- ④感染症が生活に与える影響と感染防御の必要性及びその方法について説明できる。
- ⑤感染症のある人、易感染状態にある人への看護援助の目標と方法を説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開
・事前学修課題、講義とGWを通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
2. 参考資料の提示
・授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要または配布資料に参考資料を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	感染防御に必要な身体のしくみ 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義	喜多
2	感染防御の成り立ち 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義	喜多
3	生活の中で「清潔」ということの意味 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
4	「清潔」と「感染防御」とは？ 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
5	感染症の特徴とその対応 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義	喜多
6	感染防御の必要性と方法 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
7	感染症が人々の生活や社会に与える影響 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
8	感染症の人々・易感染状態の人々への看護援助 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

・看護技術論Ⅲ①の教科書「ナースング・グラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術」および「新訂版写真でわかる基礎看護技術アドバンス」を参考にします。

■ フィードバックの仕方

1. 「リアクションシート」に書かれた質問は、次回授業で解説する。
2. 授業内容の理解を確認するため、Glexa 内または授業内で確認テストを行う。
3. 定期試験のフィードバックは、試験終了直後に解説資料の配付を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は、1 年前期から開始される「人体の構造と機能」「看護技術論」に関連する。また全学年を通しての実習に臨むための基礎知識となる。なお、1 年後期の看護援助論実習〔レベル I〕の履修要件である。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20%、2. リアクションシート 20 %、3. 定期試験 60%

■ オフィスアワー・研究室等

・ 授業開講日の 12：30～12：50 に研究室で受け付ける(407 研究室)。

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなします。

既習知識を確認しながら進めるため、予習・復習をして主体的に参加することを期待します。

看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNCN201

○仁昌寺貴子、楠田智子、住谷ゆかり

■ 授業の目的

人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の性質および、それらが障害されたときの影響を理解し、看護援助の目標と方法を導き出すための基礎知識を養う。

■ 到達目標

1. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の正常な諸機能を説明できる。
2. 人間の栄養・代謝と排泄に関する機能障害が生じたときの生活への影響を説明できる。
3. 人間の栄養・代謝と排泄障害により治療が必要になった時の生活への影響を説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 事前学修課題に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 必要時には、授業日前に Glexa を利用して資料を配布する。
3. 講義中はグループディスカッションを行い、学生同士による意見交換を通して課題と知識の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	食と栄養の意義と心身の諸機能 事前学修：[30分] ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 264-266、269.3～278 頁を読み、食と栄養の意義についてポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 GW ディスカッション	仁昌寺
2	嚥下のメカニズムと機能障害と生活への影響 事前学修：[30分] ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 266.2-269 頁を読み、消化・吸収の生理学的メカニズムについてポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	仁昌寺
3	消化吸収機能の障害と生活への影響・援助 事前学修：[30分] ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 279-288 頁を読み、食事・栄養に関する援助方法の種類についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
4	排泄機能障害と生活への影響・援助 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤、287 ⑥-290 頁を読み、下痢・便秘時の援助のポイントについてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
5	栄養・代謝、排泄障害とその援助に関する事例検討 事前学修：[30分] 第4回講義後に配布する事例を読み、対象者の健康問題・生活への影響をノートにまとめる 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW ディスカッション	仁昌寺
6	食行動の発達段階の特徴 事前学修：[30分] 第1～5回の授業の内容を復習し、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	楠田
7	健康状態に応じた食物・栄養摂取方法と援助 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田
8	発達段階に応じた消化吸収機能の障害と援助(小児) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田
9	発達段階に応じた排泄障害への治療と援助(小児) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田

No	内容	形式	教員
10	栄養・代謝、排泄障害とその援助に関する事例検討(小児) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW ディスカッション	楠田
11	発達段階に応じた消化吸収機能(高齢者) 事前学修：[30分] 人体の構造と機能Ⅰ(消化と吸収)について復習し、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
12	嚥下機能障害と援助方法(高齢者) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	住谷
13	排泄機能の障害と援助方法(高齢者) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
14	栄養・代謝、排泄障害とその援助に関する事例検討①(高齢者) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 GW ディスカッション	住谷
15	栄養・代謝、排泄障害とその援助に関する事例検討②(高齢者) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW ディスカッション	住谷

■ 教科書

志自岐康子他編(2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

中野綾美編(2019). ナーシンググラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 第4版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

南川雅子他(2020). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 成人看護学⑤ 第15版. 医学書院.

守田美奈子監修(2020). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.

中野綾美編(2019). ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 第6版. メディカ出版.

明石恵子編(2014). ナーシンググラフィカ 健康の回復と看護② 栄養代謝機能障害 第3版. メディカ出版.

堀内ふき他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 第5版. メディカ出版.

人体の機能と構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで用いた教科書を使用する。

※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

■ フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、採点後に試験問題を返却する。返却時期・方法、採点基準の解説は Glexa に提示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回授業開始時に行う。
3. 授業中のディスカッションのフィードバックは授業中に行う。

■ 他の授業科目との関連

1. 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに基づいた看護援助についての内容を扱う。
2. 看護援助論Ⅰ、看護技術論Ⅱ①②、看護技術論Ⅲ①②、健康レベル別看護学演習Ⅰに関連する。
3. 2年次の看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、筆記試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20~12:50 に担当教員が対応します。

仁昌寺(423 研究室)、楠田(421 研究室)、住谷(401 研究室)

看護援助論V(活動と休息)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNCN202

○仁昌寺貴子、楠田智子、住谷ゆかり

■ 授業の目的

人の生活の中で、活動と休息のために必要な身体の仕組みと働きを理解し、その機能が維持されるとき、あるいは脅かされる状況を多角的にアセスメントし、援助を考えるための基礎知識を学ぶ。

■ 到達目標

1. さまざまな年齢や異なる状況において活動と休息とは何かを説明できる。
2. 生活行動に関連する身体の成り立ちを説明できる。
3. 生活行動に関連する身体の仕組みや働きを説明できる。
4. 活動と休息が脅かされるとき生活への影響と援助の方向性を説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 事前学修課題に取り組み、学習に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 必要時には、授業日前に Glexa を利用して資料を配布する。
3. 講義中はグループディスカッションを行い、学生同士による意見交換を通して課題と知識の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	活動と休息の意義・活動と休息に関わる心身のメカニズム 事前学修：[30分] ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 220-222 頁を読み、休息の意義についてポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
2	睡眠のメカニズムと睡眠障害 事前学修：[30分] ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 222-229 頁を読み、睡眠のメカニズムについてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	仁昌寺
3	さまざまな疾患が活動と休息の機能を脅かすときの生活への影響 事前学修：[30分] 第2回目の講義資料をもとに、睡眠障害による生活への影響について、自分の考えをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
4	活動と休息を整えるための看護援助の基本 事前学修：[30分] ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 230-233 頁を読み、休息・睡眠を促す援助についてポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
5	活動と休息のバランスを保つための援助に関する事例検討 事前学修：[30分] 第4回講義後に配布する事例を読み、事例に登場する対象者の健康問題・生活への影響をノートにまとめる 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW ディスカッション	仁昌寺
6	発達段階に応じた活動と休息のリズム形成 事前学修：[30分] 第1～5回の授業の内容を復習し、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田
7	活動と事故/安全、生活の中での配慮 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田
8	活動が制限される状況での援助 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田

No	内容	形式	教員
9	発達段階に応じた活動と休息の障害と援助(小児)① 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	講義 GW ディスカッション	楠田
10	発達段階に応じた活動と休息の障害と援助(小児)② 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	講義 GW ディスカッション	楠田
11	活動と休息に影響を与える身体機能の変化と主な疾患 事前学修：[30分] 第11回授業内容について講義で示す参考図書を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
12	老化と活動と休息の変化(高齢者)① 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
13	老化と活動と休息の変化(高齢者)② 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	住谷
14	活動と休息のバランスを保つための看護援助①(高齢者) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	講義 GW ディスカッション	住谷
15	活動と休息のバランスを保つための看護援助②(高齢者) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW ディスカッション	住谷

■ 教科書

志自岐康子他編(2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

人体の機能と構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで用いた教科書を使用する。

中野綾美編(2019). ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 第6版. メディカ出版.

中野綾美編(2019). ナーシンググラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 第4版. メディカ出版.

堀内ふさ他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 第6版. メディカ出版.

堀内ふさ他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 第5版. メディカ出版.

※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

■ フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、採点後に試験問題を返却する。返却時期・方法、採点基準の解説は Glexa 上に提示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回授業開始時に行う。
3. 授業中のディスカッションのフィードバックは授業中に行う。

■ 他の授業科目との関連

1. 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに基づいた看護援助についての内容を扱う。
2. 看護援助論Ⅰ、看護技術論Ⅱ①②、看護技術論Ⅲ①②、健康レベル別看護学演習Ⅰに関連する。
3. 2年次の看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、筆記試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日授業時間後 30 分間担当教員が対応します。

仁昌寺(423 研究室)、楠田(421 研究室)、住谷(401 研究室)

看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 科目ナンバー：SNCN350

○佐藤いずみ

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNCN203

○松本佳子、小宮敬子、宮本晶

■ 授業の目的

人間が、心と身体、人間関係とが相互に関連しあっている総合的な存在であることを、心理社会的、生理的な側面から理解できる。また、そこに障害や生きにくさを抱えた人々の援助について、説明できる。

■ 到達目標

1. 人間の心身の関連と、それが人間関係に及ぼす影響について理解し、説明することができる。
2. ストレスや危機への対処の仕方について、説明できる。

■ 学習の進め方

1. 講義とディスカッション：基本的に講義を中心とするが、事例などを提示して学生がディスカッションする時間を、随時授業時間内に設けて、具体的理解を深められるようにする。
2. 授業で考えたこと、感じたことをリフレクションペーパーにまとめてもらう。次回以降の授業で、リフレクションペーパーをもとに補足説明を行い、学習を深められるようにする。
3. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を、授業で紹介する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	人間の心は何をしているか①意識と認知機能、感情 事前学修：[20分] シラバスを読んで授業に臨む。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
2	人間の心は何をしているか②学習と知能、心の理論 事前学修：[20分] 事前に提示された教科書の該当ページを読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
3	人間の心は何をしているか③自我と防衛機制 事前学修：[20分] 事前に提示された教科書の該当ページを読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
4	心の危機 事前学修：[20分] 事前に提示された教科書の該当ページを読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
5	ストレスと対処 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
6	心と身体の結びつきー心身症とその援助 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
7	うつと身体 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
8	家族と健康 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	小宮

No	内容	形式	教員
9	病むという体験－社会的な意味 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	小宮
10	心身相関のしくみ－呼吸法とリラクゼーション① 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
11	心身相関のしくみ－呼吸法とリラクゼーション② 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
12	家族とは何か①映画に映し出された家族の機能 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
13	家族とは何か②映画に映し出された家族の機能 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
14	アディクションからの回復 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義とディスカッションを通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	講義とディスカッション	小宮・松本・宮本
15	アディクションとセルフヘルプ・グループ 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義とディスカッションを通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	講義とディスカッション	小宮・松本・宮本

■ 教科書

武井麻子他著 (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [1] 精神看護の基礎. 第6版. 医学書院.

武井麻子他著 (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [2] 精神看護の展開. 第6版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介します。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後から1ヶ月以内に松本佳子研究室(412研究室)にて、採点後の答案用紙ならびに試験問題の返却と解説資料の配布を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件科目である。

■ 成績評価の仕方

1. 筆記試験:70%、2. 授業への取り組み:15%・授業レポート:15%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の12:30~13:00、18:00~18:30。松本(412研究室)で質問や相談に応じます。

コミュニティ論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」関係 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC100

○鷹田佳典

■ 授業の目的

コミュニティとは、人がそこに何らかの帰属意識を持ち、メンバー間で連帯と相互扶助の関係が成り立っているような集団のことを指します。コミュニティはその成員に対し、承認やつながりの感覚、有形無形の支援を与えてくれるものであり、したがってケアと深く関わっています。本講義では、コミュニティについての基礎知識について学ぶとともに、伝統的な社会から近代社会を経て、現代に至る過程でコミュニティがどのような変遷を辿ってきたのかを確認します。そうすることで、現代社会を生きるわれわれにとって、コミュニティがどのような存在であるかについて考えることが本講義の目的です。

■ 到達目標

1. コミュニティとアソシエーションの違いを説明することができる。
2. コミュニティがどのような主体によって担われているのかを説明することができる。
3. 現代コミュニティの特徴を説明することができる。

■ 学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回、授業の終わりにリアクションペーパーを配布し、コメントや質問を書いてもらう時間を設けます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コミュニティとは何か：コミュニティ論の基礎概念について学ぶ 事前学修：[30分] コミュニティという言葉でイメージするものについてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	都市/地域社会とコミュニティ：都市とコミュニティの関係について学ぶ 事前学修：[30分] 都市と地方の違いをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	コミュニティと社会的ネットワーク：さまざまな「縁」という視点からコミュニティについて学ぶ 事前学修：[30分] われわれの社会にどのような縁(つながり)があるのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	コミュニティ活動の多様な担い手：コミュニティ活動がどのような主体によって担われているのかについて学ぶ 事前学修：[30分] 自治会が地域で果たす役割をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	コミュニティへの関与：地域住民がどのようにコミュニティに関わっているのかを学ぶ 事前学修：[30分] 自分が参加したことのあるコミュニティ活動についてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	コミュニティと文化：コミュニティと文化の関わりについて学ぶ。 事前学修：[30分] 地域のお祭りについて調べ、その内容をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	コミュニティと社会関係資本：コミュニティとソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の関わりについて学ぶ 事前学修：[30分] 健康格差に与える社会的要因をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	現代社会におけるコミュニティ：現代社会におけるコミュニティの特性について学ぶ。 事前学修：[30分] 自分の暮らす街にどれくらい外国籍の住民がいるかを調べておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

■ 教科書

特定の教科書は使用しません。必要に応じて資料を配布します。

■ 参考書、参考資料等

参考文献は毎回授業時に紹介します。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後、口頭で解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

1年次後期以降に開講されるコミュニティアケア関連科目(コミュニティ演習、コミュニティアケアⅠ～Ⅳ、公衆衛生看護学)の基礎的な学習になります。

コミュニティアケア実習 [レベルⅣ] の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(40%)、試験(60%)

■ オフィスアワー・研究室等

①月曜日、②昼休み、③ 427 研究室

コミュニティ論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」関係 「2」連携 「3」コミュニティ貢献 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC200

○成木弘子、遠藤公久、喜多里己

■ 授業の目的

コミュニティ概念に基づき、さらにコミュニティと健康との関連について理解を深め、健康を維持増進、あるいは障害や病を抱えながらもその人らしく生活することができるために、コミュニティが有するケアの意味やケアネットワークの創り方、あり方について具体的に学ぶ。

■ 到達目標

1. 健康を維持、増進するためのヘルスプロモーションの概念を学び、コミュニティにおけるケアのあり方を説明できる。
2. 健康にその人らしく生活することを支えるための「自助・共助・公助」の考え方を説明できる。
3. 地域でのケアを展開するためのコミュニティ・エンパワメントやコミュニティケアのネットワークの創り方を説明できる。

■ 学習の進め方

講義・グループワークを通して、コミュニティ活動や支援方法について理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション・コミュニティにおけるケアのあり方 事前学修：[30分] コミュニティ論Ⅰ、コミュニティケアⅠで学んだ内容を復習し、コミュニティと健康のありかたを整理する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	成木
2	コミュニティケアにおけるネットワークの作り方① 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	成木
3	コミュニティケアにおけるネットワークの作り方② 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	成木
4	活動の実際例①：母子への活動 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	喜多
5	活動の実際例②：子育て支援の活動 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	喜多
6	活動の実際例③：高齢者への健康教室 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	喜多
7	活動の実際例④：がん患者およびご家族への支援活動 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	遠藤
8	まとめ(グループワーク) 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。 事後学修：[30分] 全授業資料を読み返し、整理・考察する。	GW	全員

■ 教科書

適宜、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

- ・麻原きよみ編(2016). 公衆衛生看護技術. 医歯薬出版株式会社.
- ・星旦二他(2010). 地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方. 医学書院.
- ・安梅勅江(2020). コミュニティ・エンパワメントの技法当事者主体の新しいシステムづくり. 医歯薬出版.
- ・デヴィッド・M・フェッターマン他/衣笠和重訳(2020). コミュニティの社会活動におけるエンパワメント評価 福祉, 教育, 医療, 心理に関する「参加と協働」の実践知. 福村出版.

■ フィードバックの仕方

- ・試験のフィードバックは、試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。
- ・具体的な日時、場所については、定期試験時間割発表時に提示する。

■ 他の授業科目との関連

- ・「ディプロマポリシー 5 および 7」に位置づけられる科目の基本であり、特に「コミュニティ論Ⅰ」「コミュニティ演習」「コミュニティアクテアⅠ～Ⅳ」「公衆衛生看護学」の重要な構成要素である。
- ・「コミュニティアクテア実習(レベルⅣ)」の履修要件科目である。
- ・保健師教育課程選択者の準備科目である。

■ 成績評価の仕方

- ・試験は、筆記試験とする。
- ・評価は、事前事後の課題への取り組み(20%)
授業・演習への取り組み(30%)、定期試験(50%)

■ オフィスアワー・研究室等

成木：授業開校日の 12：30 - 13：00 (404 研究室)

喜多：授業開講日の 12：30 - 13：00 (407 研究室)

遠藤：授業開校日の 12：30 - 13：00 (405 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 欠席や遅刻は、減点の対象となる。
 - ・注：遅刻：開始 30 分までは遅刻を認めるが、遅刻を 3 回した場合は欠席 1 回の扱いとする。
3. 歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。

コミュニティ演習

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」関係 「2」連携 「3」コミュニティ貢献 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC250

○成木弘子、小宮敬子、遠藤公久、喜多里己、吉野純、太田喜久子、松本佳子、藤川あや、鷹田佳典、白井美穂、佐藤いずみ、楠田智子、住谷ゆかり、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛

■ 授業の目的

コミュニティと健康との関係を理解することを目的に、地域住民が主体的に健康を守るためにどのような活動を展開しているか、それによってどのようにエンパワーされているか、実際の体験を通して学ぶ。

■ 到達目標

1. 個人・集団・コミュニティのエンパワメントについて説明できる。
2. 住民が主体的に健康を守り増進するために行っている活動の実際について、活動事例やフィールドワークを通して説明できる。
3. 上記におけるグループや組織のリーダーの役割を説明できる。

■ 学習の進め方

住民主体のコミュニティ活動のイメージを作るための、基礎的な知識を確認した上で「コミュニティ・リーダーを招いての講演、4～5名程度のグループに分かれての住民主体の活動についての情報収集及びフィールドワーク、フィールドワークについての振り返りと記録、全体報告会」を主な内容とした演習を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／コミュニティ論1・2およびコミュニティケア復習 事前学修：[30分] コミュニティ論Ⅰ・Ⅱ、コミュニティケアⅠの学習内容を復習し、コミュニティと健康の関係を整理する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	全員
2	コミュニティグループや組織活動の実際：地域ケアシステム構築(外部講師) 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。活動事例として紹介される講義の資料を読んで活動の概要を理解し、質問したい点を一つ取り上げる。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員
3	コミュニティグループや組織活動の実際：ボランティア活動等(外部講師) 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。活動事例として紹介される講義の資料を読んで活動の概要を理解し、質問したい点を一つ取り上げる。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	全員
4	コミュニティケアや組織活動の実際：当事者グループ等(外部講師) 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。活動事例として紹介される講義の資料を読んで活動の概要を理解し、質問したい点を一つ取り上げる。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	全員
5	コミュニティケアや組織活動の実際：患者会・家族会等(外部講師) 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。活動事例として紹介される講義の資料を読んで活動の概要を理解し、質問したい点を一つ取り上げる。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	講義	全員
6	演習：フィールドの情報収集 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。フィールドワークに配置されたグループや組織についての資料を準備し、演習に参加する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員
7	演習：フィールドの情報分析 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。フィールドワークに配置されたグループや組織についての資料を準備し、演習に参加する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員
8	演習：フィールドワークの活動計画 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。フィールドワークに配置されたグループや組織の活動内容を整理し、演習の資料とする。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	演習：フィールドワークの情報収集計画 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。フィールドワークに配置されたグループや組織の活動内容を整理し、演習の資料とする。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員
10	フィールドワーク：活動の実施に関する情報収集 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。実際のフィールドワーク時に確認したい点などを記述する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員
11	フィールドワーク：グループリーダーの役割に関する情報収集 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。実際のフィールドワーク時に確認したい点などを記述する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員
12	演習：フィールドワークのまとめと記録 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。フィールドワークの内容を整理し、各自の考えをまとめ、演習の資料とする。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員
13	演習：報告会準備 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。フィールドワークの内容を整理し、各自の考えをまとめ、演習の資料とする。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員
14	全体報告会：前半 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。まとめた資料を熟読し発表に備える。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察する。	演習	全員
15	全体報告会：後半 事前学修：[30分] 前回授業で提示された課題をまとめ、講義2日前に提出する。まとめた資料を熟読し発表に備える。 事後学修：[30分] 全授業資料を読み返し、整理・考察し、レポートにまとめる。	発表	全員

■ 教科書

適宜、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

- ・麻原きよみ編 (2016). 公衆衛生看護技術. 医歯薬出版株式会社.
- ・星旦二ほか (2010). 地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方. 医学書院.
- ・安梅勅江 (2014). いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学. 芳香会社会福祉研究所.
- ・安梅勅江 (2007). 健康長寿エンパワメント. 医歯薬出版.
- ・デヴィッド・M・フェッターマン他著/衣笠和重訳 (2020). コミュニティの社会活動におけるエンパワメント評価 福祉, 教育, 医療, 心理に関する「参加と協働」の実践知. 福村出版.

■ フィードバックの仕方

- ・最終レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートを通じて行う。
- ・返却日については、別途連絡する。

■ 他の授業科目との関連

- ・「ディプロマポリシー5・7」に位置づけられる科目と関連が深く、特に科目区分での「コミュニティケア」「公衆衛生看護学」との関連が深い。
- ・「コミュニティケア実習(レベルⅣ)」の履修要件科目である。
- ・保健師教育課程選択者の準備科目である。

■ 成績評価の仕方

- ・講義への参加状況(10%)、演習およびフィールドワークへの取り組み(30%)、報告会での発表(10%)、レポート(50%)
- ・レポートは、演習およびフィールドワーク演習に参加した内容に関するものとし講義時に具体的にテーマを提示する。

■ オフィスアワー・研究室等

- ・成木：授業開校日の12:30 - 13:00 (404 研究室)
- ・他の教員に関しては、フィールドワークの担当決定後に提示する。

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 欠席や遅刻は、減点の対象となる。
 - ・注：遅刻：開始30分までは遅刻を認めるが、遅刻を3回した場合は欠席1回の扱いとする。
3. 講義中に歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。

コミュニティケア I (地域看護学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」コミュニティ貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC150

○成木弘子、藤川あや

■ 授業の目的

地域で生活する人びとの健康や QOL の向上をめざした、地域における看護活動について、基本的かつ包括的に理解する。具体的には、地域における看護職の活動の場と役割、地域の社会資源、看護の継続の必要性や地域連携の重要性について学ぶ。

■ 到達目標

1. 国内の社会情勢に応じた看護ニーズの変化と対応を理解できる。
2. 地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
3. 地域における看護職の看護ケアの対象と支援の特徴について理解できる。
4. 健康危機管理の重要性について理解できる。

■ 学習の進め方

講義・演習・グループワークを通して、地域看護活動について理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	社会の変化と健康課題 事前学修：[15分] 社会保障の動向や居住地域の保健対策の状況について、新聞や区報で把握する。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
2	地域看護・公衆衛生看護の理念・概念① 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
3	地域看護・公衆衛生看護の理念・概念② 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
4	地域看護・公衆衛生看護の理念・概念③ 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
5	地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性① 地域保健(国・県) 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
6	地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性② 地域保健(市町村) 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
7	地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性③ 職域保健 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
8	地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性④ 学校保健 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
9	地域看護・公衆衛生活動看護の場と特性⑤ 在宅療養 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
10	地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法① 個人 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
11	地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法② 家族 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川

No	内容	形式	教員
12	地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法③ 集団 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
13	地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法④ 地域集団(コミュニティ) 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
14	健康危機管理 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
15	まとめ ディスカッション 事前学修：[15分] 全講義の中で学んだことを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15分] ディスカッションでの学びをまとめる。	演習	成木

■ 教科書

神馬征峰(2019)系統看護学講座専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生. 第 14 版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

適宜、紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割発表時に提示する。

■ 他の授業科目との関連

前期に履修した「コミュニティ論 I」と関連する。2 年次以降で学習するコミュニティアクアⅡ～Ⅳなど地域関連科目及び保健師教育課程選択者の科目と関連する。

コミュニティアクア実習〔レベルⅣ〕の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10%)、2. リフレクションの内容(20%)、3. 定期試験(70%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00 成木(404 研究室)、藤川(411 研究室)

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

コミュニティケアⅡ(多職種連携)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNCC400

○永井健太、成木弘子

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

コミュニティケアⅢ(在宅看護学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNCC300

○藤川あや、永井健太、木村愛

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

コミュニティケアⅣ(公衆衛生看護活動論)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」連携 「3」コミュニティ貢献 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC251

○藤川あや、成木弘子

■ 授業の目的

あらゆるライフステージ、健康レベルにある人々とその生活をライフサイクル、健康課題別にとらえ、個人・家族・集団を対象とした公衆衛生看護活動を展開するために必要な知識と方法について具体的に理解する。

■ 到達目標

1. 母子、成人、高齢者、障害者(児)、精神、感染症など地域で生活する人々を対象とした保健活動とその活動を支える法的基盤について説明できる。
2. 地域の人々と協働して、地域の健康課題を改善し、健康増進能力を高める支援について考えることができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義のほか、資料や動画を利用し参加型学習を中心に展開し、知識と共に実践力を高める。
2. 参考資料の提示：学びを深められるよう、適宜参考資料や情報を提示する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	我が国の公衆衛生と公衆衛生看護活動の概要① 事前学修：[15分] コミュニティケアⅠで学んだ公衆衛生看護の理念・対象・場について配布資料や教科書を読み返す。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
2	我が国の公衆衛生と公衆衛生看護活動の概要② 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
3	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動① 母子保健施策 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
4	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動② 母子保健活動 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義・演習	成木
5	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動③ 成人保健施策 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
6	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動④ 成人保健活動 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義・演習	成木
7	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動⑤ 高齢者保健施策 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
8	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動⑥ 高齢者保健活動 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義・演習	藤川
9	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動① 精神保健・障害者保健施策 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
10	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動② 精神保健・障害者保健活動 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義・演習	藤川
11	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動③ 難病施策 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川

No	内容	形式	教員
12	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動④ 難病保健活動 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義・演習	藤川
13	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動⑤ 感染症対策と保健活動 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
14	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動⑥ がん対策と保健活動 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
15	まとめ：ディスカッション 事前学修：[15分] 全講義の中で学んだことを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15分] ディスカッションでの学びをまとめる。	演習	成木・藤川

■ 教科書

適宜、紹介する。

■ 参考書、参考資料等

松田正巳他(2020)標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動, 第 4 版. 医学書院., 厚生労働統計協会(2021). 国民衛生の動向.2021/2022., その他授業時に紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割発表時に提示する。

■ 他の授業科目との関連

この科目は保健師教育課程の選択必修科目であり、保健師教育課程の履修には、本科目を 2 年次で修得することが必要です。

■ 成績評価の仕方

筆記試験 70% リフレクションの内容 20% 授業への取り組み 10%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日 12:30～13:00 藤川(411 研究室)、成木(404 研究室)

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

慢性期ケア

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNHN200

○仁昌寺貴子、奥原秀盛

■ 授業の目的

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解するための概念について学ぶ。
2. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解し、慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて学ぶ。
3. 慢性疾患の病態を踏まえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を理解し、長期にわたりさまざまな療養法を行っていく人々への看護の実際について理解を深める。

■ 到達目標

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴について説明できる。
2. 慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて説明できる。
3. 慢性疾患をもつ人の病態を踏まえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を説明できる。
4. 長期にわたりさまざまな療養法を行っていく慢性疾患をもつ人への看護支援について説明できる。
5. 慢性疾患をもちながら生きる人への看護支援を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. 事前学修課題に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理する。
2. 教科書と配布資料に基づき講義を通して、基礎的な知識を学修する。
3. グループディスカッションを通して学生間で意見を共有しながら、慢性期ケアへの理解を深める。
4. 授業終了時にリアクションペーパーの記入をして振り返りを行うことで、疑問点や改善点などをクリアにして学修を深める。
5. 授業終了後、興味関心のある分野について参考資料等を活用し看護学実習等でさらに学修を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	慢性疾患と共に生きる人の療養法の特徴 事前学修：[30分] 教科書 270～276 頁を読み、慢性疾患をもちながら生きる人の特徴をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる。	講義 ディスカッション	仁昌寺
2	慢性疾患をもちながら生きるということ(病みの軌跡とケア) 事前学修：[30分] 教科書 279～284 頁を読み、病みの軌跡モデルの局面についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
3	慢性疾患をもつ人のリハビリテーション・障害受容 事前学修：[30分] 教科書 293～298 頁を読み、障害をもつ人の状況についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
4	腎・泌尿器系の慢性疾患をもつ人のケア① 事前学修：[30分] 系統看護学講座「腎・泌尿器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ資料を用いて腎・泌尿器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
5	腎・泌尿器系の慢性疾患をもつ人のケア② 事前学修：[30分] 第4回の授業内容について復習し、腎・泌尿器系の慢性疾患をもつ人への看護についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
6	運動器系の慢性疾患をもつ人のケア 事前学修：[30分] 系統看護学講座「運動器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ資料を用いて運動器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
7	脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア① 事前学修：[30分] 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ資料を用いて脳・神経系の解剖生理や病態・看護について復習した上で、系統看護学講座「脳・神経」第1章(6-16ページ)を読み、脳・神経系の慢性疾患を持つ人のケアについて自分の考えをノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原

No	内容	形式	教員
8	脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア② 事前学修：[30分] 第7回の授業内容について復習し、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる。 第7回の事前学修で記述した自分の考えについて、講義を受けて新たに分かったこと・不足していたことなどを追記する。	講義 ディスカッション	奥原
9	消化器系の慢性疾患をもつ人のケア① 事前学修：[30分] 系統看護学講座「消化器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ資料を用いて消化器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
10	消化器系の慢性疾患をもつ人のケア② 事前学修：[30分] 第9回の授業内容について復習し、消化器系機能障害をもつ患者の看護についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
11	呼吸器系の慢性疾患をもつ人のケア 事前学修：[30分] 系統看護学講座「呼吸器」第5章 A.B.C、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱおよび看護援助論Ⅱ資料を用いて呼吸器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
12	循環器系の慢性疾患をもつ人のケア 事前学修：[30分] 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱおよび看護援助論Ⅱ資料を用いて循環器系の解剖生理や病態・看護について復習した上で、系統看護学講座「循環器」第1章(6-14ページ)を読み、循環器系の慢性疾患を持つ人のケアについて自分の考えをノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる。 事前学修で記述した自分の考えについて、講義を受けて新たに分かったこと・不足していたことなどを追記する。	講義 ディスカッション	奥原
13	自己免疫系の慢性疾患をもつ人のケア 内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人のケア 事前学修：[30分] 系統看護学講座「内分泌・代謝」第1章を読み、内分泌・代謝疾患をもつ人の特徴についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
14	造血管腫瘍をもつ人のケア 事前学修：[30分] 系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 141～156頁を読み、血液の組成と機能についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
15	慢性期ケアとは 事前学修：[30分] 教科書 269～271頁を読み、急性期から慢性期への移行および、健康生活の継続への支援について、自分の考えをノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺

■ 教科書

黒江ゆり子(2018). 新体系看護学全書 成人看護学①成人看護学概論/成人保健(第6版). メヂカルフレンド社.

■ 参考書、参考資料等

小松浩子他(2018). 系統看護学講座 成人看護学1 成人看護学総論(第15版). 医学書院.

浅野浩一郎他(2019). 系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器(第15版). 医学書院.

松田直樹他(2019). 系統看護学講座 成人看護学3 循環器(第15版). 医学書院.

南川雅子他(2019). 系統看護学講座 成人看護学5 消化器(第15版). 医学書院.

井出隆文他(2019). 系統看護学講座 成人看護学7 脳・神経(第15版). 医学書院.

今井亜矢子他(2019). 系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器(第15版). 医学書院.

田中栄他(2019). 系統看護学講座 成人看護学10 運動器(第15版). 医学書院.

坂井建雄・岡田隆夫(2018). 系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学(第10版). 医学書院.

ピエール ウグ編/黒江ゆり子・市橋恵子・寛田穂詠(2003). 慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル. 医学書院.

※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する

■ フィードバックの仕方

授業の内容、ディスカッションの内容についてリアクションペーパーを提出してもらい、次回授業開始前にフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、採点基準等や解説について Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習(レベルⅢ)の履修要件科目となっている。発達看護学(成人期の看護)、急性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連している。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、2. 筆記試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30~12:50

仁昌寺(423 研究室)、奥原(406 研究室)

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

急性期ケア

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNHN201

○奥原秀盛、仁昌寺貴子

■ 授業の目的

さまざまな疾患により侵襲的治療や検査を受ける人とその家族を援助するために、生命の維持・回復に向けた看護の基礎的知識と看護支援方法について理解する。

■ 到達目標

1. 急激な身体侵襲を受けて急性期にある人とその家族の特徴について説明できる。
2. 急性期にある人と家族の生命の維持・回復の促進に必要な看護の基礎的知識について説明できる。
3. 急性期にある人とその家族の回復過程に応じた看護支援を考案できる。

■ 学習の進め方

1. 事前学修課題に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 授業の展開は、教科書・配布する資料に基づき講義を行い、基礎的知識を深める。
3. グループディスカッションの時間を設け、学生が意見交換をしながら講義内容の理解を深める。
4. 授業終了後は授業の感想や意見、質問等をリアクションペーパーに記入して授業内容の振り返りを行う。さらに、感想や意見、質問等に対する教員からのフィードバックを通して学修を深める。
5. 授業終了後、興味関心のある分野について参考資料等を活用し看護学実習等でさらに学修を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション・急性期ケアとは 事前学修：[30分] 教科書 237-243 頁を読み、急性期にある患者の特徴についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
2	周手術期ケア(手術前のケア) 事前学修：[30分] 教科書 258-264、330-335 頁を読み、手術を受ける前の患者の心情について、自分の考えをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
3	周手術期ケア(手術室のケア) 事前学修：[30分] 教科書 264-265 頁を読み、手術室での看護師の役割についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
4	周手術期ケア(手術後のケア) 事前学修：[30分] 教科書 265-268 頁を読み、術後患者の観察ポイントについてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
5	化学療法時のケア 事前学修：[30分] 教科書 335-345 ページを読み、化学療法を受ける患者の生活への影響についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
6	放射線治療時のケア 事前学修：[30分] 教科書 329-330 ページを読み、放射線療法の種類についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
7	脳神経系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[30分] 系統看護学講座「脳・神経」第5章(121-147 頁)、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの資料を用いて脳・神経系の解剖生理や病態についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
8	運動器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[30分] 系統看護学講座「運動器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの資料を用いて運動器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原

No	内容	形式	教員
9	消化器系の手術を受ける患者へのケア① 事前学修：[30分] 系統看護学講座「消化器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの資料を用いて消化器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
10	消化器系の手術を受ける患者へのケア② 事前学修：[30分] 第9回の授業内容について復習し、消化器系機能障害をもつ患者の看護についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
11	腎・泌尿器系・生殖器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[30分] 系統看護学講座「腎・泌尿器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの資料を用いて腎・泌尿器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
12	循環器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[30分] 系統看護学講座「循環器」第5章(121-145、152-161、181-201頁)、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱおよび看護援助論Ⅱの資料を用いて循環器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
13	呼吸器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[30分] 系統看護学講座「呼吸器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱおよび看護援助論Ⅱの資料を用いて呼吸器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
14	侵襲(外傷・感染等)やショックの病態・観察・治療管理 救急医療の実際 事前学修：[30分] 救急搬送される患者の症例分類について調べノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
15	救急医療の現況と急性期医療から医療全体の流れ 事前学修：[30分] 埼玉県の救急医療体制と地域包括ケアシステムについて調べノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原

■ 教科書

黒江ゆり子(2018). 新体系看護学全書 成人看護学①成人看護学概論/成人保健(第6版). メヂカルフレンド社.

■ 参考書、参考資料等

小松浩子他(2018). 系統看護学講座 成人看護学1 成人看護学総論(第15版). 医学書院.

浅野浩一郎他(2019). 系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器(第15版). 医学書院.

松田直樹他(2019). 系統看護学講座 成人看護学3 循環器(第15版). 医学書院.

南川雅子他(2019). 系統看護学講座 成人看護学5 消化器(第15版). 医学書院.

井出隆文他(2019). 系統看護学講座 成人看護学7 脳・神経(第15版). 医学書院.

今井亜矢子他(2019). 系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器(第15版). 医学書院.

田中栄他(2019). 系統看護学講座 成人看護学10 運動器(第15版). 医学書院.

坂井建雄・岡田隆夫(2018). 系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学(第10版). 医学書院.

山勢博彰編(2018). 系統看護学講座 救急看護学 第6版. 医学書院.

他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

■ フィードバックの仕方

授業の内容、ディスカッションの内容についてリアクションペーパーを提出してもらい、次回授業開始前にフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、採点基準等や解説について Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。発達看護学(成人期の看護)、慢性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連している。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、2. 筆記試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30~13:00

研究室：奥原 (406)、仁昌寺 (423)

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

緩和・終末期ケア

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNHN300

○奥原秀盛

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

健康レベル別看護学演習 I (急性期・慢性期)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNHN202

○仁昌寺貴子、奥原秀盛、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

健康レベル(急性期、慢性期)に合わせた適切な看護援助が提供できるよう、応用的な援助技術を習得する。

■ 到達目標

1. 輸液療法について理解し、管理できる。
2. 術後患者の創部の観察、ドレッシング、ドレーンの観察と管理等、一連の術後ケアを理解し、実施できる。
3. 経管栄養法について理解し、管理できる。
4. 血糖管理法を理解し、血糖自己測定ができる。
5. モニター心電図測定、12 誘導心電図測定等の循環器に関わるケアについて理解し、実施できる。
6. 気管吸引等の呼吸器ケアを理解し、実施できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 事前学修に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 患者および看護師それぞれの立場で技術演習を実施し、ペア、グループで互いにフィードバックすることで理解を深める。
3. 援助技術は自らの習得状況を把握し、オフィスアワーを活用して援助技術の習得を深める。
4. 事例を用いた技術演習を通して技術の習得をする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[60 分] シラバスと教科書・参考書を確認し、技術演習に必要な既習の知識をノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書、指定図書・教科書 web 動画を確認し、今後の演習に備える	講義	仁昌寺・全員
2	輸液療法①② 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 75-92 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	仁昌寺
3	輸液療法①② 技術演習 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 75-92 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
4	輸液療法③ (中心静脈等) / 術後ケア① (ドレッシング・ドレーン管理等) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 93-106 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	仁昌寺
5	術後ケア① (ドレッシング・ドレーン管理等) 技術演習 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術② 146-160 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
6	術後ケア② (術後の観察等) / 術後ケア③ (早期離床等) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術② 161-184 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	仁昌寺
7	術後ケア② (術後の観察等) / 術後ケア③ (早期離床等) 技術演習 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術② 185-194 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員

No	内容	形式	教員
8	経管栄養法／血糖管理法／心電図測定 (モニター心電図・12誘導心電図) 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 165-188 ページ(血糖測定、経管栄養法)、② 99-128 ページ(モニター心電図、12誘導心電図)を読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	奥原・仁昌寺
9	経管栄養法／血糖管理法／心電図測定 (モニター心電図・12誘導心電図) 技術演習① 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 165-188 ページ(血糖測定、経管栄養法)、② 99-128 ページ(モニター心電図、12誘導心電図)を読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
10	経管栄養法／血糖管理法／心電図測定 (モニター心電図・12誘導心電図) 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 165-188 ページ(血糖測定、経管栄養法)、② 99-128 ページ(モニター心電図、12誘導心電図)を読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	奥原・仁昌寺
11	経管栄養法／血糖管理法／心電図測定 (モニター心電図・12誘導心電図) 技術演習② 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 165-188 ページ(血糖測定、経管栄養法)、② 99-128 ページ(モニター心電図、12誘導心電図)を読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
12	事例を用いた技術の実践① 事前学修：[60分] 各演習内容について予習・復習した資料と授業資料を読み返し、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
13	事例を用いた技術の実践② 事前学修：[60分] 各演習内容について予習・復習したノートと授業資料を読み返し、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
14	呼吸器ケア (気管吸引法・胸腔ドレーン) 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術② 129-145 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	奥原
15	呼吸器ケア (気管吸引法・胸腔ドレーン) 技術演習 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術② 52-64 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員

■ 教科書

本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術1 アドバンス. インターメディカ.

本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術2 アドバンス. インターメディカ.

■ 参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子監修(2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術 アドバンス. インターメディカ.

その他、適宜授業で提示する。

■ フィードバックの仕方

実技試験のフィードバックは、試験終了後に実技内容を教員と共に振り返りながら行う。

筆記試験のフィードバックは、試験終了後に、返却時期、返却方法、採点基準等や解説について Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。

■ 成績評価の仕方

技術試験 40%、2. 筆記試験 40%、3. 授業への取り組み(ディスカッション、振り返り等) 20%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後の 30 分間

研究室：奥原 (406)、仁昌寺 (423)、竹山 (414)、山本 (431)、川端 (429)

適宜、技術の自主練習ができる時間を設けるので活用すること。

■ **受講上の注意事項**

実習着とナースシューズを着用し、演習にふさわしい身だしなみで受講して下さい。秒針付時計と聴診器を持参すること。主体的な参加を期待します。

健康レベル別看護学演習Ⅱ(精神保健上の問題・発達段階に伴う健康上の課題)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNHN301

○小宮敬子、松本佳子、宮本晶、喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子、吉野純、楠田智子、小田綾、太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

発達看護学概論

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNDN200

○喜多里己、吉野純、太田喜久子

■ 授業の目的

人の生涯を発達の視点で捉え、ライフステージ各期における成長・発達の過程を理解し、それぞれの発達段階に沿って家族も含めた援助の特徴を学ぶ。

■ 到達目標

1. 生涯発達の概念を説明できる。
2. 胎児期・新生児期の発達と生活、発達段階に沿った看護援助の特徴を説明できる。
3. 乳児期・幼児期・学童期・思春期の発達と生活、発達段階に沿った看護援助の特徴を説明できる。
4. 成人期・老年期の発達と生活、発達段階に沿った看護援助の特徴を説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開
・ Glexa に示す事前学修課題、講義と GW を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
2. 参考資料の提示
・ 授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要または配布資料に参考資料を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／人の成長と発達 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
2	人間のライフステージと発達 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
3	胎児・新生児と家族の生活 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
4	乳児期の子どもと家族の生活 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	吉野
5	幼児期の子どもと家族の生活 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	吉野
6	学童期の子どもと家族の生活 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	吉野
7	思春期の子どもと家族の生活 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	吉野
8	子どもの日常生活行動 事前学修：[30分] 子どもの日常生活行動について整理し、フィールドワークの準備をする 事後学修：[60分] フィールドワークの結果をまとめ、レポートを作成する	フィールドワーク	吉野
9	子どもの発達と生活のまとめ 事前学修：[30分] フィールドワークの内容を振り返り、発表の準備をする 事後学修：[15分] 発表、GW を振り返り、レポートを仕上げる	GW・発表	吉野
10	成人期の発達と特徴 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	太田

No	内容	形式	教員
11	成人期の生活と家族 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	太田
12	老年期の発達と特徴 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	太田
13	老年期の生活と家族 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	太田
14	高齢者の日常生活 事前学修：[30分] 高齢者の日常生活について整理し、フィールドワークの準備をする 事後学修：[60分] フィールドワークの結果をまとめ、レポートを作成する	フィールドワーク	太田
15	高齢者の発達と生活と援助 事前学修：[30分] レポートに基づいたGW・発表の準備 事後学修：[30分] 発表、GWを振り返り、レポートを仕上げる	GW・発表	太田

■教科書

①中野綾美編(2019). ナーシング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護. メディカ出版.
適宜、資料を配布する。

■参考書、参考資料等

舟島なをみ・望月美知代(2017). 看護のための人間発達学 第5版. 医学書院.

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、定期試験後に、口頭での解説または解説資料の配付を通じて行う。

レポート(子どもの日常生活行動)のフィードバックは、後期科目「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)」の第1回目の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

レポート(高齢者の日常生活)のフィードバックは、後期科目「発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)」第1回目の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■他の授業科目との関連

この授業は、発達看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ実習(レベルⅢ)と健康レベル別看護学実習(レベルⅢ)の履修要件です。また、2年次以降に開講される「発達看護学(成人期の看護)」、「発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護)①②」、「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)①②」、「発達看護学Ⅲ(老年期の看護)①②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱います。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み：20% 2. 定期試験：60% 3. レポート：20%(2回分)

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の12:30~12:50に各講義担当者の研究室で受け付ける。

喜多(407研究室)、吉野(409研究室)、太田(403研究室)

■受講上の注意事項

遅刻3回を欠席1回とみなします。

既習知識の確認をしながら進めますので、予習・復習をして主体的に参加することを期待します。

発達看護学(成人期の看護)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNDN201

○奥原秀盛

■ 授業の目的

成人期にある人々の理解とケアを展開するために必要な概念や理論について学び、成人期にある人への看護支援方法を検討する。

■ 到達目標

1. 成人期にある人々の特性について説明できる。
2. 成人期にある人々の理解とケアを展開するために、必要な概念や理論を説明できる。
3. 成人期にある人々に合わせた看護支援を考案することができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 授業の展開：

講義を行うとともに、事例や実習などの体験を踏まえて学生がディスカッションする時間を設け、学生が意見交換しながら具体的に理解を深められるようにする。

2. 小テストの実施

2 回～8 回の授業では前回の講義内容に関する小テストを行い、理解を深められるようにする。

3. 「感想・意見」の記入：

学生が授業終了時に「感想・意見」を記入することで、授業内容の振り返りができるようにする。また毎回の講義冒頭で、前回の「感想・意見」の紹介と補足説明によって、学修を深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション ライフサイクルからみた成人期の理解 成人期にある人々への支援(アンドラゴジーの観点から) 事前学修：[60 分] 教科書 2～40 頁、214～220 頁を読み、成人期の特徴およびアンドラゴジーについてノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原
2	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論①: 成人期に特徴的な健康問題 事前学修：[60 分] 教科書 124～153 頁を読み、成人期に特徴的な健康問題についてノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	小テスト、講義・討議	奥原
3	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論②: 自己効力(セルフエフィカシー)、健康行動理論、トランスセオレティカルモデル(理論横断モデル) 事前学修：[60 分] 教科書 209～214 頁、228～237 頁を読み、自己効力(セルフエフィカシー)、健康行動理論、トランスセオレティカルモデル(理論横断モデル)についてノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	小テスト、講義・討議	奥原
4	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論③: ストレス・コーピング理論 事前学修：[60 分] 教科書 197～205 頁を読み、ストレス・コーピングについてノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	小テスト、講義・討議	奥原

No	内容	形式	教員
5	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論④: 危機理論 事前学修：[60分] 教科書 205～208 頁を読み、危機理論についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	小テスト、講義・ 討議	奥原
6	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論⑤: 意思決定支援 事前学修：[60分] 教科書 188～197 頁を読み、意思決定支援についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	小テスト、講義・ 討議	奥原
7	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論⑤: セルフケア理論 事前学修：[60分] 事前に配布する資料と実習などの事例を思い起して、セルフケア、セルフケア能力を高める支援についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原
8	まとめ：成人期にある人々への看護支援の検討 事前学修：[60分] 1～7 回までの授業資料を読み返し、成人期にある人々への看護支援の特徴をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料とフィードバックの資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原

■ 教科書

黒江ゆり子編集(2018). 新体系看護学全集 成人看護学①成人看護学概論/成人保健 第6版. メヂカルフレンド社

■ 参考書、参考資料等

1. 本庄恵子監修(2015). セルフケア看護. ライフサポート社.
 2. 本庄恵子総監修(2018). セルフケア支援ガイド. ライフサポート社.
 3. 服部祥子(2010). 生涯人間発達論「人間への深い理解と愛情を育むために」. 第2版. 医学書院
- その他の参考資料については、随時、紹介する。

■ フィードバックの仕方

授業の中でディスカッションした事例検討内容や授業に関する感想・意見を提出してもらい、次回授業開始前にフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、採点基準等について配布資料にて解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰの授業を復習しておくこと。

本授業は、2年次の授業「慢性期ケア」「急性期ケア」と関連が深いため関連づけて学修すること。

この科目は、健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件になっている。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(提出資料(感想・意見等)、ディスカッション): 10%
2. 小テスト(5%×7回): 35%
3. 定期試験: 55%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50 奥原(406 研究室)

発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNDN250

○喜多里己、佐藤いずみ

■ 授業の目的

概論

女性の健康問題を身体的・心理社会的な観点から幅広く学習し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方をもとに女性への支援を考える。

各論：妊娠期・分娩期

女性のライフサイクルの中で、妊娠期・分娩期の母子とそのパートナーを中心とした家族の健康に焦点をあて、看護師の役割と援助を考える。

■ 到達目標

概論

1. リプロダクティブ・ヘルス領域における主な概念を説明できる。
2. 女性の性と生殖にかかわる解剖・生理を説明できる。
3. 世界と日本の母子保健の動向を説明できる。
4. 母子保健関連法規と母子保健政策を説明できる。
5. リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる倫理的課題を考察できる。
6. 女性のライフサイクル各期の健康問題と、女性および家族への支援を考察できる。

妊娠期

1. 妊娠の概念、妊娠の成立と維持のしくみが説明できる。
2. 胎児の成長・発達と、その健康状態に影響を及ぼす要因を説明できる。
3. 妊娠に伴う女性の身体的変化、心理社会的変化、妊娠期に生じやすい異常を説明できる。
4. 妊娠期にある女性・子ども・家族の看護を考察できる。

分娩期

1. 分娩の概念、分娩期の基本的用語、分娩機転を説明できる。
2. 分娩が胎児、出生直後の新生児に及ぼす影響を説明できる。
3. 分娩に伴う女性・家族の身体的変化、心理社会的変化、分娩期に生じやすい異常を説明できる。
4. 分娩期にある女性・子ども・家族の看護を考察できる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開

Glexa に示す事前学修課題、講義や演習、討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。

演習は、チーム基盤型学習 (Team Based Learning：以下、TBL) と事例検討を行う。

TBL を行うことで、修得した知識を活用し臨床実践能力の向上を目指す。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事例をより深く学修できるよう、動画、手記、新聞記事を適宜紹介する。また配布資料に参考資料を記載する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／ 概論：リプロダクティブ・ヘルス領域における主な概念、母子の健康状態の国際比較 事前学修：[30分] 授業シラバスを読み、この授業で学びたいこと、関心があることを1つ取り上げ、ノートにまとめる。共にノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業終了後、Glexa 上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義	喜多
2	概論：女性の性と生殖にかかわる解剖と生理 事前学修：[40分] 第1回授業で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[20分] 授業終了後、Glexa 上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義	喜多
3	概論：日本の母子に関する法制度 事前学修：[40分] 第2回授業で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[20分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する。	講義・討論	喜多

No	内容	形式	教員
4	概論：女性と家族の健康支援 事前学修：[40分] 第3回授業で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[20分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義・討論	喜多
5	概論：リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる倫理的課題 事前学修：[40分] 第4回授業で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[20分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義・討論	喜多
6	TBL ガイダンス・チーム結成／事例の紹介 事前学修：[30分] 第5回授業で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	演習	全員
7	妊娠期：妊娠の概念と妊娠の成立・維持機構、妊娠期の基本的用語 事前学修：[30分] 第6回授業で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義	佐藤
8	妊娠期：胎児の成長と発達過程 事前学修：[30分] 第7回授業で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義	佐藤
9	妊娠期：妊娠期の女性・家族の変化、妊娠期に生じやすい異常 事前学修：[30分] 第8回授業で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義	佐藤
10	TBL ①：妊娠期にある女性と子ども・家族のアセスメントとケア 事前学修：[50分] 第9回授業で配布した TBL ①に向けた予習資料に示した課題をノートにまとめる。 事後学修：[10分] TBL で間違った箇所を見直す。	演習	全員
11	分娩期：分娩の概念と基本用語、分娩の機序 事前学修：[30分] 第2回授業資料の女性の骨盤および生殖器について振り返り、ポイントをノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義	喜多
12	分娩期：分娩期の胎児・出生直後の新生児の変化 事前学修：[30分] 第12回で示した課題について、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義	喜多
13	分娩期：分娩期の女性・家族の変化、分娩期に生じやすい異常 事前学修：[30分] 第13回で示した課題について、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。次回授業までに終えること。	講義	喜多
14	TBL ②：分娩期にある女性と子ども・家族のアセスメントとケア 事前学修：[50分] 第13回授業で配布した TBL ②に向けた予習資料の課題についてノートにまとめる。 事後学修：[10分] TBL で間違った問題を見直す。	演習	全員
15	事例検討：妊娠期・分娩期のアセスメントとケア、まとめ 事前学修：[50分] 事例学習ガイドを参照しながら、事例学習ノートの該当ページを記載する。 事後学修：[30分] 授業終了後、Glexa上の事後課題に取り組む。	演習	全員

■ 教科書

概論：授業資料を配布する。

各論：森恵美他(2021). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 [2] 母性看護学各論. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で紹介する。

■ フィードバックの仕方

- ・各回で提出されたリアクションシートに書かれた主な質問内容を、次回授業で口頭で解説します。
- ・試験のフィードバックは、終了直後に解説資料の配付を通じて行います。
- ・事前学修課題をまとめたノートは、3年次の発達看護学Ⅰ②開始初日に返却します。

■ 他の授業科目との関連

- ・2年次前期の「発達看護学概論」と関連しています。
- ・3年次前期の発達看護学Ⅰ②と合わせて周産期一連の過程を学ぶこととなります。
- ・性と生殖にかかわる学習内容を扱うため、3年次後期の看護援助論Ⅵで学ぶセクシュアリティは関連の強い科目です。
- ・発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)の履修要件科目です。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み：30%(リアクションシート、TBL 結果含む)、事前学修課題のまとめノート：10%、定期試験：60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30- 13:00 喜多 (407 研究室)・佐藤 (422 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなします。

発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護②)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNDN300

○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNDN251

○吉野純、楠田智子

■ 授業の目的

成長・発達過程にある子どもと家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が生き生きと生活できるような援助を学ぶ。さらに、子どもの安全、安楽、自立を考慮し、最善の利益を守るための私たちの役割を考える。あわせて、子どもと家族に対する看護職者の役割を保健、医療、福祉、教育及び子どもの権利条約などの面からも考える。

■ 到達目標

1. 急性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
2. 慢性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
3. 外来・入院における子どもと家族の健康増進、健康回復のための看護について考案できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開

講義とグループワークを通して、学生同士で意見交換しながら理解を深める。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配付資料に参考資料・参考 DVD を記す。

3. 授業後のリアクションペーパー、オフィスアワー等の機会を利用し、疑問点の解決に努めるようにすること。

4. 事前・事後学修のまとめのノートは講義期間内に提出を求める(時期については講義中に告知する)。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／小児看護のめざすもの、子どもの権利 事前学修：[30分] 教科書巻末資料「子どもの権利条約」の全文を読む 事後学修：[30分] 授業の資料及び教科書の関連ページを読み返し、ノートにまとめる	講義・GW	吉野
2	子どもの感染症 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
3	子どもの急性期症状と看護(1)発熱 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
4	子どもの急性期症状と看護(2)嘔吐・下痢・脱水 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
5	子どもの急性期症状と看護(3)呼吸困難 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
6	けいれん・乳幼児突然死症候群 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
7	子どもの事故と救急 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
8	慢性期にある子どもと家族 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	楠田
9	子どもの病気と入院をめぐる現状 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
10	入院が子どもとその家族に与える影響とその看護 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野

No	内容	形式	教員
11	隔離や活動制限が必要な子どもと家族 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	楠田
12	外来における看護 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
13	健康教育 事前学修：[30分] 教科書の関連頁を読み、重要点・疑問点をノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
14	子どもへの支援としての遊び(1) 事前学修：[30分] 「発達看護学概論」の内容を復習し、遊びの意義をまとめておく 事後学修：[30分] 発表資料を作成する	演習・発表	吉野
15	子どもへの支援としての遊び(2) 事前学修：[30分] 発表資料を作成する 事後学修：[30分] 本日の発表内容を振り返り、入院児への遊びの支援についてまとめる	演習・発表	吉野

■教科書

- ①中野綾美編(2019)．ナースング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護．メディカ出版。
②中野綾美編(2019)．ナースング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術．メディカ出版。

■参考書、参考資料等

ユニセフ協会著．子どもの権利条約カードブック．日本ユニセフ協会。
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/nani/siryu/pdf/cardbook.pdf?191220>
その他、随時授業で資料を配付する。

■フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、採点后に試験問題の解説を口頭で行う、もしくは Glexa 上に提示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回授業開始時に行う。
3. 授業中のディスカッションのフィードバックは授業中に行う。

■他の授業科目との関連

この科目は、2 年次前期「発達看護学概論」の学習内容の理解に基づいている。さらに 3 年次以降に開講される「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。
発達看護学実習Ⅱ(子どもと家族の看護)[レベルⅢ]の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20%
2. プレゼンテーション 10%
3. 定期試験 70%

■オフィスアワー・研究室等

開講日の授業終了後 30 分、各講義担当者の研究室で受け付ける。
吉野(409) 楠田(421)

■受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。
既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNDN301

○吉野純、楠田智子、小田綾

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」擁護 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNDN252

○太田喜久子、住谷ゆかり

■ 授業の目的

老年期にある人を理解し、健康生活の状態を捉え、その人の強み・持てる力を活かし生活の質の維持、向上をめざす看護のあり方について学ぶ。

■ 到達目標

1. 老年期の看護がめざすことを説明できる。
2. 老年期にある人を理解し、健康生活の状態の捉え方を説明できる。
3. 高齢者の意思と尊厳を支え、強み・持てる力を活かした援助について説明できる。
4. 高齢者ケアに関わる制度、仕組みづくりについて説明できる。
5. さまざまな医療、生活の場における高齢者ケアの特徴を説明できる。

■ 学習の進め方

1. 事前学修課題に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 必要時には、授業日前に Glexa を利用して資料を配布する。
3. 講義中はグループディスカッションを行い、学生同士による意見交換を通して課題と知識の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 高齢者の理解と老年看護 事前学修：[30分] 発達看護学概論の内容を復習する 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
2	高齢化の状況と高齢者の暮らし・健康づくり 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
3	高齢者と共に生きる(旅のことば①) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	講義 GW	太田
4	高齢者と共に生きる(旅のことば②) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] GW、発表の内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW、発表	太田
5	高齢者の強み・持てる力を活かした援助 老年期看護の倫理的課題、高齢者の尊厳と意思決定を支える援助 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
6	高齢者を取り巻く家族への援助 高齢者の終末期における援助 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
7	医療保険制度、介護保険制度と高齢者ケア 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディカッション	太田
8	医療を受ける高齢者への看護－入院、退院支援、外来における支援 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
9	施設に暮らす高齢者の看護 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷

No	内容	形式	教員
10	在宅高齢者の看護 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
11	高齢者の健康生活状態の捉え方 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
12	高齢者の健康生活の状態に関わる健康レベル・生活歴・生活環境 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
13	高齢者の健康生活の状態を捉え、強み・持てる力を活かした援助(事例検討①) 事前学修：[30分] 事前に配布する事例を読み、健康生活の状態を整理する 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW	太田
14	高齢者の健康生活の状態を捉え、強み・持てる力を活かした援助(事例検討②) 事前学修：[30分] 前回GWから、事例の強み・持てる力を活かした援助を考える 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW、発表	太田
15	地域で安心して自分らしく老いるための社会づくりと看護 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] GW、発表の内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW、発表	太田

■ 教科書

適宜、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

太田喜久子編著(2017). 老年看護学 高齢者の健康生活を支える看護 第2版. 医歯薬出版株式会社.
井庭崇、岡田誠編著(2015). 旅のことは 認知症とともにによりよく生きるためのヒント. 丸善出版.
堀内ふき他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 第6版. メディカ出版.
堀内ふき他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 第5版. メディカ出版.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、定期試験後に口頭での解説、または解説資料の配布を通じて行う。
リアクションペーパーは、授業後に配布・回収し、次回授業開始時にフィードバックを行う。
授業中のディスカッション、GWのフィードバックは、授業中に行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、3年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習(レベルⅢ)の履修要件となっている。
この科目をもとに、3年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)の授業では、より具体的な看護実践について学ぶ。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッション、GWの内容) 30%
2. 定期試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30 - 12:50 に担当者の研究室で受け付ける
太田(403 研究室) 住谷(401 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回した場合は欠席 1 回の扱いとする。

発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNDN302

○太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

精神保健看護学Ⅰ(理論)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」擁護 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNMN250

○小宮敬子、松本佳子

■ 授業の目的

人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて、さらに看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から探求し、精神の健康のあらゆる面から、看護の基礎となる人間理解を深める。

■ 到達目標

1. 人格の発達と病理について理解し、看護が取り組むべき課題を見出すことができる。
2. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。
3. 看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から理解できる。
4. 関係のなかの人間という概念が理解できる。
5. 精神の健康のあらゆる面から看護の基礎となる人間理解を深め、人間理解の観点から自らの看護実践を振り返り、評価することができる。

■ 学習の進め方

講義を中心とするが、適宜、学生が討論する時間を設ける。リフレクションペーパー、次回授業の予習用ペーパーは教室にて配布する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	精神看護の現状と課題 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第1章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
2	精神障害の体験と精神看護1 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第1章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
3	精神障害の体験と精神看護2－当事者の体験に学ぶ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1]」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義	小宮・松本
4	人格の成熟① 人格、気質、アイデンティティ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
5	人格の成熟② 対象関係論としてとらえ方 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
6	人格の成熟③ 甘えと自己 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
7	心的外傷と精神障害・・・サヴァイバーの生きにくさ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第2章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
8	不安の防衛としての症状とその援助 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義	小宮

No	内容	形式	教員
9	家族のダイナミクスと家族療法 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第4章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義	小宮
10	集団のダイナミクスと集団精神療法 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第4章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	松本
11	自殺のリスクと予防 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第13章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義	松本
12	社会の中の精神障害① スティグマと精神障害者の人権 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第7章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	松本
13	社会の中の精神障害② 精神保健福祉にかかわる法制度 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第7章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	松本
14	患者-看護師関係における感情体験 事前学修：[30分] 指定の資料を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮・松本
15	感情と看護 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮

■ 教科書

武井麻子他著 (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [1] 精神看護の基礎. 第6版. 医学書院.

武井麻子他著 (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [2] 精神看護の展開. 第6版. 医学書院.

使用する教科書の発行年については改めて提示する。

■ 参考書、参考資料等

武井麻子著 (2005). 精神看護学ノート. 第2版. 医学書院.

その他の参考書については、講義の中で提示する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施から3週間以内に小宮敬子研究室(402)にて、答案用紙と解説資料の返却を通して行う。返却可能な時間はポータルにて連絡するので、受け取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習 [レベルⅢ] の履修要件となっています。また、3年次前期に開講される、「精神保健看護学Ⅱ(技法)」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)」の基盤となります。

■ 成績評価の仕方

1. 筆記試験…70%、2. 授業への取り組み…30%

■ オフィスアワー・研究室等

授業の開講日の12:20~12:50、18:00~18:30。小宮敬子研究室(402)、松本佳子研究室(412)。

■ 受講上の注意事項

精神の健康を、生活の中の人間関係の視点から捉え、人間が生きていく過程の中で精神障害の意味について考えてもらいたいです。

精神保健看護学Ⅱ(技法)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNMN300

○小宮敬子、松本佳子、宮本晶

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

国際看護学(異文化とケア含)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNVN300

○織方愛

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

国際看護学演習

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：後期 科目ナンバー：SNVN350

○織方愛

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

災害看護論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」変化 「2」連携 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNVN100

○池田稔子

■ 授業の目的

災害発生から自分や家族の身を守る防災や減災対策を習得すると同時に、災害という異常事態の中で赤十字やその他の機関が行う救護活動の全体像から災害看護の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を養う。

■ 到達目標

1. 国内および国外で発生する大災害の現状と今日的課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史的発展を理解する。
3. 災害救護活動における赤十字の果たす役割について説明できる。
4. 災害の概念、災害時の健康障害について理解する。
5. 災害時における人々の生命や健康および生活を支えるために必要な看護の基本について説明できる。
6. トリアージの基本的知識と方法について説明できる。
7. 自己防災及び地域防災の重要性とその実際について説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義形式、一部 GW 形式で行う。
2. 映像シミュレーション：災害現場や被災者の状況、災害支援活動のイメージが出来るように適宜取り入れる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション・災害発生の現状・災害看護の歴史的発展と課題 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読んでおく(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返す(指定事後課題のある場合もある)	講義	池田
2	災害の定義・災害医療・災害サイクル 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読んでおく(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返す(指定事後課題のある場合もある)	講義	池田
3	我が国の災害医療対応の整備・災害対応に関わる様々な連携・災害に関連する法律やガイドライン 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読んでおく(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返す(指定事後課題のある場合もある)	講義	池田
4	災害看護とは・災害看護活動とは・災害と健康障害 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読んでおく(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返す(指定事後課題のある場合もある)	講義	池田
5	災害の3T(トリアージ・治療・搬送)・要援護者トリアージ 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読んでおく(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返す(指定事後課題のある場合もある)	講義・演習・その他	池田
6	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 1-①急性期 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読んでおく(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返す(指定事後課題のある場合もある)	講義・GW・その他	池田
7	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 1-②急性～亜急性期 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読んでおく(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返す(指定事後課題のある場合もある)	講義・GW・その他	池田

No	内容	形式	教員
8	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 2 慢性期・復興期 事前学修：[15分] 事前に提示した教科書を読んでおく(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返す(指定事後課題のある場合もある)	講義・GW・その他	池田

■教科書

特になし。授業資料及び参考資料を活用する。

■参考書、参考資料等

浦田喜久子編(2021) 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 3 災害看護学・国際看護学 医学書院

■フィードバックの仕方

授業、提出物のフィードバックは授業時あるいは授業終了後に行う。

■他の授業科目との関連

看護技術論等で学習したことを基盤に、被災者との関わり方や災害救護に欠かせない基本的な知識を学習します。

■成績評価の仕方

1. 定期試験 60 % 2. 授業への取り組み・小テストもしくは授業後課題 40 %

■オフィスアワー・研究室等

随時、電子メールで質問を受け付ける

■受講上の注意事項

1～8回の講義をもとに、振り返りレポートを提出していただきます。

災害看護活動論 I

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」コミュニティ貢献 「3」連携 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNVN150

○織方愛、根岸京子、野口眞貴子、内木美恵、橋爪朋子、富澤真紀

■ 授業の目的

1. 災害発生時における現場救護所の設営や運営に必要な組織的な運営、各役割について理解する。
2. シミュレーションや演習を通して、災害急性期の看護活動に必要な基本的な判断力、救護技術、心構えと態度、行動力を習得する。

■ 到達目標

1. 赤十字救護班の派遣体制の基本について理解する。
2. 災害現場を想定したシミュレーションを通して、状況の情報収集から必要な救護活動のアセスメントができる。
3. 避難所の運営に必要な知識・技術を習得することができる。
4. 上落合(中央区・大宮区)地区を知り災害ハザードに気づくことができる。
5. 災害急性期に果たす役割を理解することができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 事前課題に取り組む。
2. 授業の展開：講義を行うとともに、グループワークやディスカッションといった演習・討論の時間を設ける。
3. 事後課題に取り組む。
4. 授業終了後にリフレクションペーパーに記入し、学生が考えたことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
5. 4. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
6. 授業は日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、目標設定のグループワーク 災害図上訓練(DIG)①講義 事前学修：[15分] 災害看護論I 授業資料に目を通し、A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
2	災害図上訓練(DIG)②地区探索：上落合地区 事前学修：[15分] 上落合地区の地図に目を通して災害時に危険そうな場所を3か所以上考えてくる 事後学修：[15分] 地区探索を行い、発表資料を制作する。	講義・屋外演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
3	災害図上訓練(DIG)③発表 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習・討論	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
4	避難所運営ゲーム(HUG) 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 避難所運営について看護学生の貢献できることを考え A4用紙1枚程度にまとめる	講義・演習・討論	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
5	避難所運営ゲーム(HUG) 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 避難所運営について看護学生の貢献できることを考え A4用紙1枚程度にまとめる	講義・演習・討論	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
6	赤十字救護技術演習①規律行動訓練 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 日本赤十字社の救護に関する資料を読み、A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤

No	内容	形式	教員
7	赤十字救護技術演習②通信手段：無線機の取り扱い 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
8	赤十字救護技術演習③自家発電機の取り扱い 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 発表資料の作成準備を行う 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
9	赤十字救護技術演習④担架の取り扱い 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
10	赤十字救護技術演習⑤簡易ベッドの設営 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
11	赤十字救護技術演習⑥医療救護所の設営等 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習・討論	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
12	赤十字救護技術演習⑦総合演習：医療救護所開設シミュレーション 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
13	赤十字救護技術演習⑧総合演習：医療救護所開設シミュレーション 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
14	赤十字救護技術演習⑨総合演習：医療救護所開設シミュレーションの検証 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤
15	赤十字救護技術演習⑩総合演習：振り返り・フィードバック 日本赤十字社埼玉県支部の協力を得て実施する。 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習・討論	織方・根岸・野口・内木・橋爪・富澤

■ 教科書

各プログラムに必要な資料を作成し授業中に配布する。

■ 参考書、参考資料等

浦田喜久子他(2019). 系統看護学講座 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院

■ フィードバックの仕方

- ①リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、Glexa 内や次回の講義で行う。
- ②定期試験のフィードバックは、試験実施後 3 月 31 日までに Glexa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

1 年前期の災害看護論で学んだ「災害急性期看護の基本」、2 年次後期で学ぶ災害看護活動論Ⅱによる「被災者と救援者のこころのケア」が、演習を通して災害急性期の傷病者の援助を学ぶ上で本講義に関連している。

■ 成績評価の仕方

1. 課題レポート 50 %
2. 授業内のプレゼンテーションへの取組み 40 %
3. 小テスト 10 %

※提出期限に遅れた場合は 20 % の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

- ①授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。
- ②授業開講日に随時メールで受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。

■ 受講上の注意事項

1. 災害にかかる知識の習得だけでなく、技術や心構え、行動化まで習得できるようなプログラム構成や企画を立案している。参加度、チームワーク、話し合いが重要となる。傷病者体験をすることで傷病者のこころの状態の理解にも努める。
- 2.5 コマ×3日間(2022年2月21・22・24・25日のうち3日間を今後確定する)の集中講義を予定している。特に救護技術訓練・DIG(地区探索)は屋外での演習となるため、体調管理・安全管理に十分留意すること。初回までに注意点を案内する。

災害看護活動論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」コミュニティ貢献 「3」連携 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNVN250

○織方愛、根岸京子

■ 授業の目的

災害中長期において起きやすい健康および生活に関する問題、対応について学ぶ。被災者および救護者に対する「こころのケア」の必要性と共に、時期的変化をふまえた「こころの状態」について理解し、基本的なコミュニケーションの方法について具体的に学ぶ。

■ 到達目標

1. 被災者の危機的状況と心の反応を時期的変化と共に説明できる。
2. こころのケアとは何か、こころのケアの効果と実施上の基本原則について説明できる。
3. こころのトリアージの必要性およびこころのトリアージの分類について説明できる。
4. 災害中長期における被災者の生活の場の特性と被災者のニーズについて理解する。
5. こころのケアを展開する生活の場についての具体的な方法を演習で展開できる。
6. 救護者のこころのケアについて、その必要性と具体的な方法について説明できる。
7. 遺族及び救援者のこころのケアについて討論を展開し、考察展開できる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 事前課題に取り組む。
2. 授業の展開：講義を行うとともに、グループワークやディスカッションといった演習・討論の時間を設ける。※講義：こころのケアの概論と被災者・救援者・遺族へのこころのケア；※演習・討論：被災者・救援者・遺族へのこころのケア
3. 事後課題に取り組む。
4. 授業終了後にリフレクションペーパーに記入し、学生が考えたことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
- 5.4. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースオリエンテーション 事前学修：[30分] 災害看護論Ⅰの授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
2	被災者の生活とこころの変化 事前学修：[30分] 災害看護論Ⅰ 授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
3	被災者のこころのケア 事前学修：[30分] 被災者のこころのケアについての文献を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
4	被災者のこころのケア 事前学修：[30分] 被災者のこころのケアについての文献を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
5	災害時要配慮者のこころのケア 事前学修：[30分] 災害時要配慮者の特徴を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
6	災害時要配慮者のこころのケア 事前学修：[30分] 災害時要配慮者の特徴を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸

No	内容	形式	教員
7	救援者のこころのケア 事前学修：[30分] 第3、4回目授業資料を読み、被災者のこころのケアについて復習する。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
8	救援者のこころのケア 事前学修：[30分] 第3、4回目授業資料を読み、被災者のこころのケアについて復習する。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
9	遺族のこころのケア 事前学修：[30分] 映画「遺体 明日への十日間」のあらすじを読み、遺族の心情についてA4用紙にまとめてくる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
10	遺族のこころのケア 事前学修：[30分] 映画「遺体 明日への十日間」のあらすじを読み、遺族の心情についてA4用紙にまとめてくる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
11	日本赤十字社救護班の活動：整体 ゲストスピーカー：山本富美子様、今井家子様 事前学修：[30分] 第9回、10回の授業内容を振り返り、遺族のこころのケアについて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
12	日本赤十字社救護班の活動：整体 ゲストスピーカー：山本富美子様、今井家子様 事前学修：[30分] 第9回、10回の授業内容を振り返り、遺族のこころのケアについて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
13	日本赤十字社救護班の活動：整体 ゲストスピーカー：山本富美子様、今井家子様 事前学修：[30分] 第11回、12回の授業内容を振り返り、整体について発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
14	日本赤十字社救護班の活動：整体 ゲストスピーカー：山本富美子様、今井家子様 事前学修：[30分] 第11回、12回の授業内容を振り返り、整体について発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸
15	コースサマリー 事前学修：[30分] これまでの授業内容を振り返っておく。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	織方・根岸

■ 教科書

必要な資料を作成し授業で配布する。

■ 参考書、参考資料等

浦田喜久子編(2019)．系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学．第4版．医学書院
 斉藤仁(2008)．看護師金田和子と救護班．インターメディカ
 飯塚訓(1998)．墜落遺体．講談社
 君塚良一(2013)．遺体 明日への十日間．ポニーキャニオン(DVD)

■ フィードバックの仕方

- ①リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、Glexa内や次回の講義で行う。
- ②定期試験のフィードバックは、試験実施後3月31日までにGlexa上で行う。

■ 他の授業科目との関連

災害看護活動論Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 講義内のプレゼンテーション、課題への取り組み 40%(40点)
 2. 事後課題レポート：授業内で課題レポートのテーマを提示する。60%(60点)
- 合計 100%

※提出期限に遅れた場合は 20%の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

- ①授業終了後に直接、質問を受け付ける。
- ②授業開講日に随時 Glexa のメールで受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。

看護管理学

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 科目ナンバー：SNAN350

○大和田恭子

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

看護教育学

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：後期 科目ナンバー：SNAN351

○岡田彩子

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

応用看護学特論 I (精神：看護師とメンタルヘルス／老年：ホーリスティックナーシング)隔年開講

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3・4 年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNAN300

○小宮敬子、松本佳子、住谷ゆかり

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

応用看護学特論Ⅱ(母性：リプロダクティブヘルス／小児：子どもの権利と家族)隔年開講

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3・4年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNAN301

○喜多里己、吉野純、楠田智子

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

看護援助論実習〔レベルⅠ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」擁護 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：SNNP150

○岡田彩子、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人、服部弓子、小田綾、松島史絵、宮本晶

■ 授業の目的

臨床看護の場において看護ケアを必要としている人々との直接的なかかわりを通して、個々人の援助を必要とするニーズを理解し、既習の知識・技術を活用しながら基本的な看護援助について学ぶ。

■ 到達目標

1. 対象者に積極的に関心をもつ。
2. 対象者と自分との相互作用に気づき、対象者の身になって感じ、考える。
3. 対象者を生活者として把握する。
4. 健康上の問題が対象者の生活行動に及ぼす影響を理解する。
5. 対象者の援助を必要とするニーズを理解する。
6. 既習の知識・技術を用いて対象者の健康に資するよう援助する。
7. 対象者のもつ力を活かすように援助する。
8. 行った看護を言語化し、吟味する。

■ 学習の進め方

1. 学内オリエンテーション：実習の目標、スケジュール、事前学習課題等を確認し、事前準備、実習に求められる知識や技術等について確認する。
2. 病院実習：入院中の患者を1～2名担当し、患者への関わりを通して必要なニーズを把握し、日常生活行動の援助を行う。その過程を通し、援助的な関係を深める。学生自身が看護の展開プロセスの中で気付いたり、感じ、考えたりしたことは、実習記録、カンファレンスで言語化し、グループメンバーとディスカッションできるようにする。
3. 学習体験発表・レポート：学習体験発表では、実習での学びを振り返り発表する。学習体験発表内容をさらに深めてレポートにまとめる。
4. 評価面接：学生が記録した自己評価表をもとに、学生と担当教員が評価面接を行う。実習での学びと課題について振り返る。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習日程：2022年1月17日(月)～1月28日(金)

実習場所：さいたま赤十字病院、深谷赤十字病院、小川赤十字病院

実習時間：8時30分～16時00分

*実習オリエンテーションは時間割を参照のこと。

*なお、レベルⅠ実習の一部として、2021年8月10日(火)に見学実習を行う。見学実習では、「さまざまな健康レベルにある人々への看護援助場面の見学を通して、援助の実際や場の特性を知る」ことを目的とする。詳細は実習要項を参照のこと。

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

実習オリエンテーションのときに、参考図書・資料を提示する。

■ フィードバックの仕方

- ①最終面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う。
- ②実習記録自己評価表の教員コメント欄にてフィードバックを行う。

■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰ、看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ①・Ⅲ②、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰなどの学習が土台になる。

■ 成績評価の仕方

自己評価表に基づく面接35点、学習体験発表10点、実習への取り組み姿勢(実習オリエンテーション時々の課題を含む)・カンファレンスへの参加度35点、課題レポート20点 合計100点で評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

実習オリエンテーション日の昼休み。 各施設責任者(各研究室)*各施設責任者名は別途資料を参照のこと。

■ 受講上の注意事項

実習オリエンテーションは、時間厳守で臨むこと。原則として、事前に連絡せずに実習オリエンテーションに遅刻、欠席した場合は、実習を履修できないので、注意すること。

看護援助論実習〔レベルⅡ〕

単位：4単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：SNNP200

○岡田彩子、奥原秀盛、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

健康障害をもつ人を対象とし、援助的人間関係を発展させる。

看護過程を用いて対象となる人を全体論的に捉え、対象者の健康にかかわる能力が発揮されるよう、看護援助を行うことができる。

■ 到達目標

1. 対象者との援助的人間関係を発展させる。
2. 対象者を尊重し、権利と尊厳を守るための課題に気づくことができる。
3. 看護アセスメントを行い、全体像を捉える。
4. 看護援助を計画することができる。
5. 援助を対象者の状況に合わせて実施し、考察することができる。
6. 対象者ととりまく人々と連携し、より良い方策を考えることができる。
7. 学生として責任のある行動をとり、主体的に学びを深める。

■ 学習の進め方

1. 学内学習

実習に必要な事前知識や技術を学び、病棟実習に活かすようにする。

看護過程の展開に関する個別指導やグループ指導を受けることができるため学修状況に合わせて主体的に活用する。

2. 病棟実習

入院中の患者を原則として1～2名担当し、看護過程を用いて看護援助を行う。

援助的人間関係を発展させながら、患者一人ひとりに合わせた看護を実施し振り返りを行う中で学びを深める。

毎日開催されるカンファレンスでは、グループダイナミクスを生かし、学びを共有し深める。

3. ケース発表・レポート

ケース発表では、実習での学びを振り返り考察する。

レポートでは、ケース発表を発展させる形で学びを深める。

4. 評価面接

学生が記載した実習自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行う。

実習での学びと今後の課題について振り返る機会とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2年次 8月末～10月中の4週間

実習時間：原則として8時30分～16時30分

実習場所：さいたま赤十字病院(詳細は実習要項を参照のこと)

担当教員：教員1名につき1グループ5～6名を担当し、直接実習指導を行う。

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子編著(2020). 新改訂 写真でわかる実習で使える看護技術アドバンス. インターメディカ.

川島みどり監修(2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

村上美好監修(2010). 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント. インターメディカ.

■ フィードバックの仕方

1. 全体評価のフィードバックは、最終面接にて自己評価表を確認しながら行う。
2. 実習記録やレポートのフィードバックは、コメントを付した実習記録ファイルの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅠ実習に合格していること。

レベルⅡ実習履修に必要な科目の修了試験受験資格を有していること(「学生便覧・履修の手引き」の実習に関すること：履修要件を参照のこと)。

看護援助論Ⅰ(看護過程)で用いた書式にて、受け持ち患者の看護過程を展開する。

■ 成績評価の仕方

1. 全体像発表・ケース発表 20%
2. 課題レポート 20%
3. カンファレンス参加度等の実習の取り組み 25%
4. 実習目標達成度 35% (詳細は、実習要項を参照のこと)

■ オフィスアワー・研究室等

4週間の中で、各週にオフィスアワーの時間を設ける。具体的な時間と場所は、実習開始後に担当教員より提示する。なお、実習全般に関する相談は、奥原(406 研究室) 岡田(410 研究室)まで連絡してください。

■ 受講上の注意事項

原則として、実習オリエンテーションを遅刻・欠席した者は、実習の履修ができなくなるので注意すること。

精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：通年 科目ナンバー：SNNP300

○小宮敬子、松本佳子、宮本晶

発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：通年 科目ナンバー：SNNP301

○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 科目ナンバー：SNNP302

○吉野純、楠田智子、小田綾

発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 科目ナンバー：SNNP303

○太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕

単位：3単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNNP400

○奥原秀盛、仁昌寺貴子、殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 科目ナンバー：SNNP304

○小宮敬子、松本佳子、宮本晶、喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子、吉野純、楠田智子、小田綾、太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵、成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛

看護学総合実習

単位：3単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：後期 科目ナンバー：SNNP450

○小宮敬子、岡田彩子、奥原秀盛、喜多里己、吉野純、太田喜久子、成木弘子、松本佳子、藤川あや、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、佐藤いずみ、楠田智子、住谷ゆかり、永井健太、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛

研究方法論 I

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNRE300

○遠藤公久、喜多里己、吉野純、鷹田佳典、佐藤いずみ、楠田智子、住谷ゆかり、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

研究方法論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：後期 科目ナンバー：SNRE350

○小宮敬子、遠藤公久、吉野純、鷹田佳典、佐藤いずみ、楠田智子、住谷ゆかり、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛、

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

研究 I

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講期：前期 科目ナンバー：SNRE400

○全教員

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

研究Ⅱ

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講期：後期 科目ナンバー：SNRE450

○全教員

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

公衆衛生看護活動展開論

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：前期 科目ナンバー：SPPN300

○成木弘子

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

公衆衛生看護管理論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 科目ナンバー：SPPN400

○成木弘子、藤川あや

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

公衆衛生看護方法論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：後期 科目ナンバー：SPN350

○成木弘子、藤川あや、永井健太

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

公衆衛生看護活動論演習Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 科目ナンバー：SPPN401

○成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

公衆衛生看護活動論演習Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：4年次 開講期：前期 科目ナンバー：SPPN402

○成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

公衆衛生看護学実習

単位：5 単位 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講期：前期 科目ナンバー：SPPN403

○成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛

コミュニティケア実習Ⅱ〔レベルⅣ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：4年次 開講期：通年 科目ナンバー：SNNP401

○小宮敬子、松本佳子、宮本晶、喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子、吉野純、楠田智子、小田綾、太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵、成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛

科目一覧

★赤十字概論★ (○角田敦彦)	1
★赤十字国際活動論★ (○角田敦彦)	3
★赤十字国際活動論演習★ (○角田敦彦)	4
★生命倫理★ ()	5
★哲学と倫理★ (○田村末希)	7
★心理学概論★ (○遠藤公久)	9
★臨床心理学★ (○遠藤公久)	11
★教育学概論★ (○渋谷 真樹)	13
★現代教育論★ (○山崎裕二)	15
★身体運動理論★ (○白井美穂)	16
★身体運動実技★ (○白井美穂)	18
★社会学概論★ (○鷹田佳典)	20
★臨床社会学★ (○鷹田佳典)	22
★社会保障論★ (○森山幹夫)	24
★日本国憲法★ (○川口かしみ)	25
★生活環境論★ (○永井健太)	28
★障がい論★ (○小宮敬子、吉野純、太田喜久子、松本佳子、楠田智子、住谷ゆかり)	29
★保健医療福祉行政論★ (○前田秀雄)	30
★数学★ (○岩田光弘)	31
★生物学★ (○宮崎正峰)	33
★化学★ (○三好洋)	36
★情報学概論★ (○岡田彩子、鷹田佳典、逸見 功)	39
★情報科学★ (○逸見功)	41
★保健統計学★ (○川崎洋平)	43
★日本語の表現★ (○越後敬子)	45
★英語R W I★ (○川崎修一)	47
★英語R W I★ (○遠藤花子)	49
★英語R W II★ (○川崎修一)	51
★英語R W II★ (○遠藤花子)	53
★英語R W III★ (○川崎修一)	55
★英語L S★ (○ダニエル・ヴェラスコ)	57
★英語L S★ (○キャサリン・タカスギ)	59
★英語文献を読む★ (○遠藤花子)	62
★中国語 I★ (○神谷智幸)	64
★中国語 II★ (○神谷智幸)	67
★韓国語 I★ (○高昌弘)	70
★韓国語 II★ (○高昌弘)	72
★基礎ゼミ I★ (○遠藤公久、鷹田佳典、白井美穂、角田敦彦、渋谷真樹、井上明宏、宮崎正峰、越後敬子)	74
★基礎ゼミ II★ (○遠藤公久)	76
★基礎ゼミ II★ (○鷹田佳典)	78
★基礎ゼミ II★ (○白井美穂)	80
★基礎ゼミ II★ (○角田敦彦)	82
★基礎ゼミ II★ (○渋谷 真樹)	84
★基礎ゼミ II★ (○逸見功)	86
★基礎ゼミ II★ (○宮崎正峰)	88
★基礎ゼミ II★ (○越後敬子)	90
★人体の構造と機能 I (解剖生理学・生化学①)★ (○白井美穂)	92
★人体の構造と機能 II (解剖生理学・生化学②)★ (○白井美穂)	94
★人体の構造と機能 III (解剖生理学・生化学③および微生物学) ★ (○白井美穂)	96
★疾病の成り立ちと回復の促進 I (病理学総論、疾病論：消化器、内分泌・代謝)★ (○白井美穂、安達章子、佐藤平、甲嶋洋平、中村純一、多羅尾朋子)	99
★疾病の成り立ちと回復の促進 II (疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)★ (○岡田彩子、松村穰、森田英幹、松島秀和、眞木充、雨宮守正、野呂彰)	101

★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論：運動器、脳・神経、乳腺、感覚器)★(○奥原秀盛、中村謙介、日野秀嗣、秋山茂雄、高橋俊栄、野下展生、齊藤毅、石井清、栗田昭宏、三石剛)	103
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ(疾病論：血液、アレルギー、リウマチ・膠原病、外科学、産婦人科学、小児科学、検査学)★(○岡田彩子、佐藤博之、堀越正信、加藤敬二、新村兼康、宮本純孝、佐藤有子、塚本信宏)	105
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ(さまざまな治療)★(○奥原秀盛、佐藤博之、堀越正信、塚本信宏、加藤敬二、五木田昌士、田口茂正、清田和也)	107
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)★(○林公輔)	108
★薬理学★(○町田充、高野温志、鈴木博、竹内絵美、高野明香、亀井陽子、井上朋子、小村理香)	109
★疫学★(○川崎洋平)	111
★リハビリテーション医学★(○荒尾敏弘、久保通宏、西井秋子、安西利恵)	113
★遺伝と遺伝カウンセリング★(○渡邊淳、辻恵子)	114
★栄養学★(○田中明穂)	115
★ラボラトリー・プラクティス★(○天野雅子、江口和夫)	116
★看護学概論Ⅰ★(○岡田彩子)	118
★看護学概論Ⅱ(看護倫理含)★(○岡田彩子)	120
★看護関係法規★(○安部陽子)	121
★看護技術論Ⅰ(援助的人間関係)★(○松本佳子、小宮敬子、岡田彩子、奥原秀盛、喜多里己、吉野純、太田喜久子、成木弘子、遠藤公久、宮本晶)	122
★看護技術論Ⅱ(フィジカル①)★(○中村滋子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	124
★看護技術論Ⅱ(フィジカル②)★(○中村滋子、岡田彩子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	126
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)★(○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	128
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)★(○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	131
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)★(○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	134
★看護援助論Ⅰ(看護過程)★(○岡田彩子、奥原秀盛、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	137
★看護援助論Ⅱ(生命の維持)★(○仁昌寺貴子)	140
★看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)★(○喜多里己)	142
★看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)★(○仁昌寺貴子、楠田智子、住谷ゆかり)	144
★看護援助論Ⅴ(活動と休息)★(○仁昌寺貴子、楠田智子、住谷ゆかり)	146
★看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)★(○佐藤いずみ)	148
★看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)★(○松本佳子、小宮敬子、宮本晶)	149
★コミュニティ論Ⅰ★(○鷹田佳典)	151
★コミュニティ論Ⅱ★(○成木弘子、遠藤公久、喜多里己)	153
★コミュニティ演習★(○成木弘子、小宮敬子、遠藤公久、喜多里己、吉野純、太田喜久子、松本佳子、藤川あや、鷹田佳典、白井美穂、佐藤いずみ、楠田智子、住谷ゆかり、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛)	155
★コミュニティケアⅠ(地域看護学)★(○成木弘子、藤川あや)	158
★コミュニティケアⅡ(多職種連携)★(○永井健太、成木弘子)	160
★コミュニティケアⅢ(在宅看護学)★(○藤川あや、永井健太、木村愛)	161
★コミュニティケアⅣ(公衆衛生看護活動論)★(○藤川あや、成木弘子)	162
★慢性期ケア★(○仁昌寺貴子、奥原秀盛)	164
★急性期ケア★(○奥原秀盛、仁昌寺貴子)	167
★緩和・終末期ケア★(○奥原秀盛)	170
★健康レベル別看護学演習Ⅰ(急性期・慢性期)★(○仁昌寺貴子、奥原秀盛、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	171
★健康レベル別看護学演習Ⅱ(精神保健上の問題・発達段階に伴う健康上の課題)★(○小宮敬子、松本佳子、宮本晶、喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子、吉野純、楠田智子、小田綾、太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵)	174
★発達看護学概論★(○喜多里己、吉野純、太田喜久子)	175
★発達看護学(成人期の看護)★(○奥原秀盛)	177
★発達看護学Ⅰ(リアリティ・ケアと看護①)★(○喜多里己、佐藤いずみ)	179
★発達看護学Ⅰ(リアリティ・ケアと看護②)★(○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子)	182
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)★(○吉野純、楠田智子)	183
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)★(○吉野純、楠田智子、小田綾)	185
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)★(○太田喜久子、住谷ゆかり)	186

★発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)★ (○太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵)	188
★精神保健看護学Ⅰ(理論)★ (○小宮敬子、松本佳子)	189
★精神保健看護学Ⅱ(技法)★ (○小宮敬子、松本佳子、宮本晶)	191
★国際看護学(異文化とケア含)★ (○織方愛)	192
★国際看護学演習★ (○織方愛)	193
★災害看護論★ (○池田稔子)	194
★災害看護活動論Ⅰ★ (○織方愛、根岸京子、野口眞貴子、内木美恵、橋爪朋子、富澤真紀)	196
★災害看護活動論Ⅱ★ (○織方愛、根岸京子)	199
★看護管理学★ (○大和田恭子)	202
★看護教育学★ (○岡田彩子)	203
★応用看護学特論Ⅰ(精神：看護師とメンタルヘルス/老年：ホーリスティックナーシング)隔年開講★ (○小宮敬子、松本佳子、住谷ゆかり)	204
★応用看護学特論Ⅱ(母性：リプロダクティブヘルス/小児：子どもの権利と家族)隔年開講★ (○喜多里己、吉野純、楠田智子)	205
★看護援助論実習〔レベルⅠ〕★ (○岡田彩子、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人、服部弓子、小田綾、松島史絵、宮本晶)	206
★看護援助論実習〔レベルⅡ〕★ (○岡田彩子、奥原秀盛、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	207
★精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕★ (○小宮敬子、松本佳子、宮本晶)	209
★発達看護学Ⅰ(リアリティ・ヘルスと看護)実習〔レベルⅢ〕★ (○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子)	210
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕★ (○吉野純、楠田智子、小田綾)	211
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習〔レベルⅢ〕★ (○太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵)	212
★健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕★ (○奥原秀盛、仁昌寺貴子、殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	213
★コミュニティアクティブ実習Ⅰ〔レベルⅣ〕★ (○小宮敬子、松本佳子、宮本晶、喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子、吉野純、楠田智子、小田綾、太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵、成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛)	214
★看護学総合実習★ (○小宮敬子、岡田彩子、奥原秀盛、喜多里己、吉野純、太田喜久子、成木弘子、松本佳子、藤川あや、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、佐藤いずみ、楠田智子、住谷ゆかり、永井健太、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛)	215
★研究方法論Ⅰ★ (○遠藤公久、喜多里己、吉野純、鷹田佳典、佐藤いずみ、楠田智子、住谷ゆかり、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛)	216
★研究方法論Ⅱ★ (○小宮敬子、遠藤公久、吉野純、鷹田佳典、佐藤いずみ、楠田智子、住谷ゆかり、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛)	217
★研究Ⅰ★ (○全教員)	218
★研究Ⅱ★ (○全教員)	219
★公衆衛生看護活動展開論★ (○成木弘子)	220
★公衆衛生看護管理論★ (○成木弘子、藤川あや)	221
★公衆衛生看護方法論★ (○成木弘子、藤川あや、永井健太)	222
★公衆衛生看護活動論演習Ⅰ★ (○成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛)	223
★公衆衛生看護活動論演習Ⅱ★ (○成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛)	224
★公衆衛生看護学実習★ (○成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛)	225
★コミュニティアクティブ実習Ⅱ〔レベルⅣ〕★ (○小宮敬子、松本佳子、宮本晶、喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子、吉野純、楠田智子、小田綾、太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵、成木弘子、藤川あや、永井健太、木村愛)	226